ESPER・LASER
エスパー・レーザー

EPSON

LP-1300

ユーザーズガイド

プリンタドライバの機能説明やプリンタの操作方法、各種トラブルの解決方法について記載しています。

4031880-00

ご注意

①本書の内容の一部または全部を無断転載することは固くお断りします。
②本書の内容については、将来予告なしに変更することがあります。
③本書の内容については、万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り、記載もれなど、お気づきの点がありましたらご連絡ください。
④運用した結果の影響については、③項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。
⑤本製品がお客様により不適当に使用されたり、本書の内容に従わずに取り扱われたり、またはエプソンおよびエプソン指定の者以外の第三者により修理・変更されたこと等に起因して生じた障害等につきましては、責任を負いかねますのでご了承ください。
⑥エプソン純正品および、エプソン品質認定品以外のオプションまたは消耗品を装着し、それが原因でトラブルが発生した場合には、保証期間内であっても責任を負いかねますのでご了承ください。この場合、修理などは有償で行います。

もくじ

Macintosh プリンタドライバの機能と関連情報

困ったときは

付録

本書中のマーク、画面、表記について

マークについて

本書中では、いくつかのマークを用いて重要な事項を記載しています。これらのマークが付いている記述は必ずお読みください。それぞれのマークには次のような意味があります。

⚠警告　この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

⚠注意　この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、プリンタ本体が損傷したり、プリンタ本体、プリンタドライバやユーティリティが正常に動作しなくなる場合があります。この表示は、本製品をお使いいただく上で必ずお守りいただきたい内容を示しています。

補足説明や知っておいていただきたいことを記載しています。

用語*1　用語の説明を記載していることを示しています。

☞　関連した内容の参照ページを示しています。

掲載画面について

- 本書の画面は実際の画面と多少異なる場合があります。また、OS の違いや使用環境によっても異なる画面となる場合がありますので、ご注意ください。
- 本書に掲載する Windows の画面は、特に指定がない限り Windows 98 の画面を使用しています。

Windows の表記について

Microsoft® Windows® 95 Operating System 日本語版
Microsoft® Windows® 98 Operating System 日本語版
Microsoft® Windows® Millennium Edition Operating System 日本語版
Microsoft® Windows NT® Operating System Version 4.0 日本語版
Microsoft® Windows® 2000 Operating System 日本語版
Microsoft® Windows® XP Home Edition Operating System 日本語版
Microsoft® Windows® XP Professional Operating System 日本語版
本書では、上記各オペレーティングシステムをそれぞれ、Windows 95、Windows 98、Windows Me、Windows NT4.0、Windows 2000、Windows XP と表記しています。またこれらを総称する場合は「Windows」、複数の Windows を併記する場合は「Windows 95/98」のように Windows の表記を省略することがあります。

使用可能な用紙と給紙 / 排紙

ここでは、印刷できる用紙とできない用紙、用紙のセット方法や特殊紙へ印刷する際の諸注意などについて説明しています。

用紙について

印刷できる用紙の種類

本機は、ここで紹介する用紙に印刷することができます。これ以外の用紙は使用しないでください。特殊紙への印刷の際は、用紙別にご注意いただく事項が異なりますので以下のページを参照ください。

本書 18 ページ「特殊紙への印刷」

普通紙	普通紙 再生紙[*1]	複写機などで使用する一般のコピー用紙や上質紙または再生紙です。 紙厚は 60～90g/m^2 の範囲内のものをお使いください。
	レターヘッド[*2] （プレプリント紙）	罫線や会社のロゴなどが印刷された紙です。モノクロレーザープリンタ、またはカラーレーザープリンタやインクジェットプリンタで一度印刷した用紙をプレプリント紙として使用することはできません。
	ボンド紙	印刷適性、耐久性に優れた、かたく締まった厚目の用紙です。紙厚が 90 ～ 163g/m^2[*5] のものを使用する場合は、印刷前に用紙種類を［厚紙（大）］または［厚紙（小）］に設定してください。
	色つき[*2]	色上質紙など用紙全体が染められている用紙です。カラーレーザープリンタやインクジェットプリンタで印刷された用紙や表面にコーティングされている用紙は使用しないでください。
特殊紙	官製ハガキ[*3]	官製ハガキが使用可能です。往復ハガキの場合は、中央に折り跡のないものをお使いください。
	封筒[*4]	使用できる定形サイズの封筒は洋形 0 号 /4 号 /6 号、長形 3 号 /4 号、角形 3 号です。紙厚が 85g/m^2 のものをお勧めします。
	ラベル紙	モノクロレーザープリンタ用またはモノクロコピー機用のラベル紙で、台紙全体がラベルで覆われているものをお使いください。
	OHP シート	モノクロレーザープリンタ用またはモノクロコピー機用の OHP シートをお使いください。
	不定形紙	用紙幅が 90 ～ 216mm、用紙長が 148 ～ 356mm、紙厚が 60 ～ 163g/m^2 の範囲内のものをお使いください。
	厚紙[*5]	紙厚が 90～ 163g/m^2 の範囲内の用紙(ケント紙を含む) をお使いください。

[*1] 再生紙は、一般の室温環境下 (温度 15 ～25 度、湿度 40 ～60% の環境) 以外でご使用になると、印刷品質が低下したり、紙詰まりなどの不具合が発生することがありますのでご注意ください。また、再生紙の使用において給紙不良や紙詰まりが発生しやすい場合は、用紙を裏返して使用することにより症状が改善されることがあります。

[*2] 耐熱温度 200 度以下でインクなどが変質・変色する用紙は使用しないでください。

[*3] 絵入りのハガキなどを給紙すると、絵柄裏移り防止用の粉が給紙ローラに付着して給紙できなくなる場合がありますので、ご注意ください。また、四面連刷ハガキは使用できません。

本書217 ページ「給紙ローラのクリーニング」

[*4] 封筒の紙種、保管および印刷環境、印刷方法によっては、しわが目立つ場合がありますので、事前に試し印刷をすることをお勧めします。

[*5] 厚紙の用紙厚は 90g/m^2 を超えて 163g/m^2 以下のものを指しますが、本書では「90 ～163g/m^2」という記載をしています。また、厚紙の用紙サイズによって、プリンタドライバでの設定が異なります。

厚紙（大）：用紙の横幅が 188mm 以上（A4、Letter（LT）など）

厚紙（小）：用紙の横幅が 188mm 未満（A5、B5、Half-Letter（HLT）Executive（EXE）など）

本書21 ページ「厚紙への印刷」

- 紙の種類によっては特に印刷面の指定がない場合でも、印刷する面によって排紙後の用紙の状態に差が出ることがあります。
- 用紙がカールなどしてきれいに排紙されない場合は印刷面を替えて用紙をセットしてください。
- 用紙を大量に購入する場合は、必ず事前に試し印刷をして印刷の状態をご確認ください。

印刷できない用紙

プリンタ（給紙ローラ、感光体、定着器）の故障の原因となる用紙

- インクジェットプリンタ用特殊紙（スーパーファイン紙、光沢紙、光沢フィルム、官製ハガキなど）
- アイロンプリント紙
- モノクロレーザープリンタ、カラーレーザープリンタ、熱転写プリンタ、インクジェットプリンタなどのプリンタや、複写機で印刷したプレプリント紙
- モノクロレーザープリンタ、カラーレーザープリンタ、熱転写プリンタ、インクジェットプリンタなどのプリンタや、複写機で一度印刷した後の裏紙
- カラーレーザープリンタやカラー複写機専用OHPシート
- モノクロレーザープリンタ用またはモノクロコピー機用以外のラベル紙
- 一度印刷した後の裏紙
- カーボン紙、ノンカーボン紙、感熱紙、感圧紙、酸性紙、和紙
- 糊、ホチキス、クリップなどが付いた用紙
- 表面に特殊コートが施された用紙、表面加工されたカラー用紙
- バインダ用の穴が開いている用紙

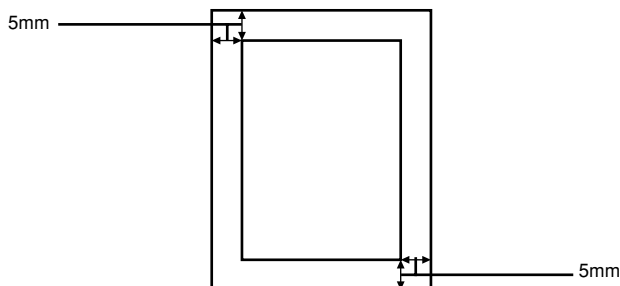
給紙不良、紙詰まりを起こしやすい用紙

- 薄すぎる用紙（59g/m^{2}以下の用紙）、厚すぎる用紙（官製ハガキ（190g/m^2）以外で164g/m^{2}以上の用紙）
- 濡れている（湿っている）用紙
- 表面が平滑すぎる（ツルツル、スベスベしすぎる）用紙、粗すぎる用紙
- 表と裏で粗さが大きく異なる用紙
- 折り跡、カール、破れのある用紙
- 形状が不規則な用紙、裁断角度が直角でない用紙
- ミシン目のある用紙
- 簡単にはがれてしまうラベル紙

耐熱温度200度以下で変質、変色する用紙

- 表面に特殊コート（またはプレプリント）が施された用紙
- アイロンプリント紙

印刷できる領域

用紙の各端面から 5mm を除く領域に印刷できます。

アプリケーションソフトによっては印刷可能領域が上記より小さくなる場合があります。

用紙の保管

用紙は以下の点に注意して保管してください。

- 直射日光を避けて保管してください。
- 湿気の少ない場所に保管してください。
- 用紙を濡らさないでください。
- 用紙を立てたり、斜めにしないで、水平な状態で保管してください。
- ほこりがつかないよう、包装紙などに包んで保管してください。

給紙装置と用紙のセット方法

セットできる用紙サイズと容量

使用できる用紙	容量[*1]	用紙サイズ （　）内は、プリンタドライバでの表記です。
普通紙	180 枚[*2]	A4、A5、B5、Letter（LT）、Half-Letter（HLT）、Legal（LGL）、Executive（EXE）、Government Legal（GLG）、Government Letter（GLT）、F4、不定形紙
厚紙	10 枚[*3]	
ラベル紙	10 枚	
OHP シート	5 枚	
封筒	10 枚	洋形 0 号、洋形 4 号、洋形 6 号、長形 3 号、長形 4 号、角形 3 号
官製ハガキ	50 枚[*4]	100mm × 148mm
官製往復ハガキ		148mm × 200mm

*1　用紙トレイにセットできる用紙の高さは用紙ガイドの最大枚数（三角マーク表示）までです。三角マークを超えてセットした場合は、給紙不良などの原因となります。

*2　64g/m² の場合です。

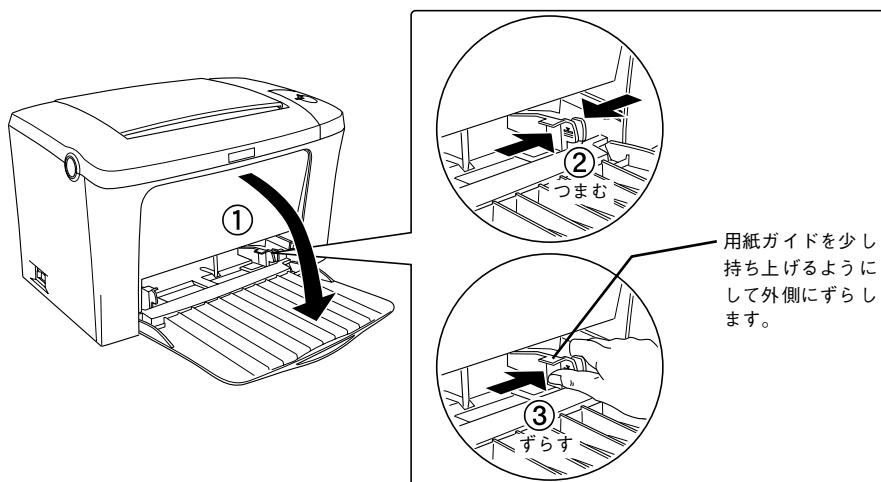
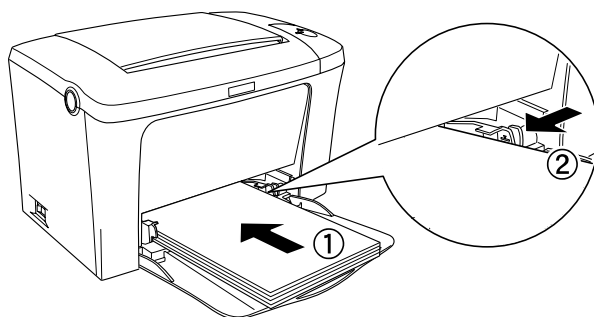
*3　90 〜 163g/m² の場合です。

*4　190g/m² の場合です。四面連刷ハガキは使用できません。

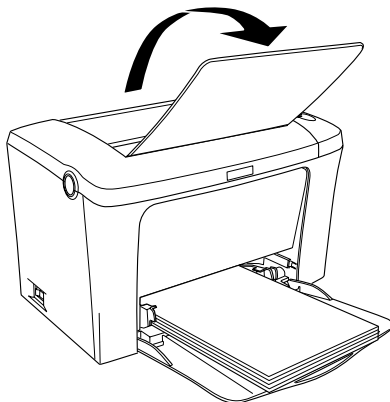
用紙トレイへの用紙のセット

用紙トレイへの用紙のセット方法を説明します。

> **ポイント**
> 用紙トレイにセットできる用紙についての詳細は、以下のページを参照してください。
> 本書 13 ページ「セットできる用紙サイズと容量」

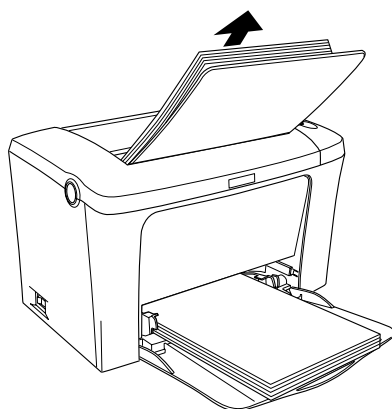
1 **用紙トレイを開き、右側の用紙ガイドをつまんで（ロックを解除して）、外側へずらします。**

2 **用紙を縦長にセットし、用紙ガイドを用紙サイズに合わせます。**

> **注意**
> 用紙をセットするときは用紙の側面で手をこすってけがをしないように注意してください。薄い用紙の側面は鋭利な状態になっていて危険です。

- 用紙の四隅をそろえ、印刷する面を上に向けてセットします。
- 用紙は最大 180 枚（普通紙 64g/m^2）までセットできます。最大枚数（三角マーク表示）を超えて用紙をセットすると、正常に給紙できない場合があります。

3 排紙トレイを開けます。

排紙方法について

印刷した用紙を排紙する標準方法とオプションのフェイスアップトレイ（排紙装置）について説明します。

標準（フェイスダウン）排紙

本機はお買い求めいただいた状態でお使いになると、印刷面を下（フェイスダウン）にしてプリンタ上部の排紙部に排紙します。普通紙（用紙厚 64g/m^2 の場合）の場合で100 枚まで排紙できます。

フェイスアップトレイ（オプション）への排紙

本機は、通常ご使用いただくプリンタ上面前方の排紙経路の他に、用紙のカールを防ぐための排紙経路が、プリンタ上面後方に設けられています。後部排紙経路をご使用いただくには、オプションのフェイスアップトレイ（LPA4FUT3）が必要です。後部排紙経路からの用紙を20枚（普通紙64g/m²）まで保持することができます。ハガキや封筒など厚手の紙に印刷する場合にご使用ください。

取り付け方法については、以下のページを参照してください。
本書198ページ「フェイスアップトレイの取り付け」

プリンタ側面の排紙切り替えレバーを押し下げます。印刷を実行すると印刷面を上に向けて装着したオプションのフェイスアップトレイへ排紙します。

排紙切り替えレバーを元の位置に戻すと、フェイスアップトレイを装着したままでも標準のフェイスダウン排紙に切り替わります。

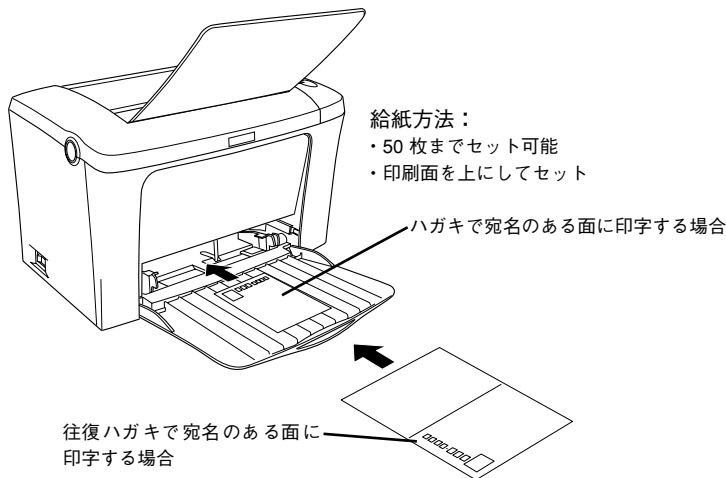
特殊紙への印刷

ここでは、ハガキや封筒など、特殊紙への印刷方法について説明します。

ハガキへの印刷

ハガキに印刷する前に、同じサイズの用紙で試し印刷をして印刷位置や印刷方向などの確認をしてください。

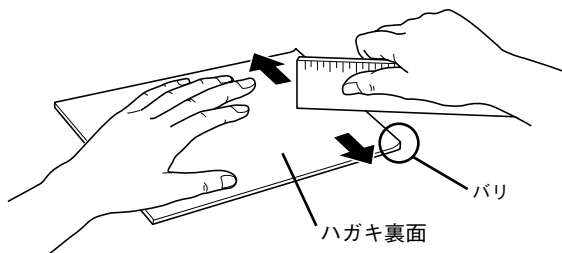
下のハガキは使用しないでください。プリンタの故障や印刷不良などの原因になります。

- インクジェットプリンタ用ハガキ
- 表面に特殊コート、糊付けが施されたハガキ、圧着ハガキ
- 熱転写プリンタ、インクジェットプリンタで一度印刷したハガキ
- カラーレーザープリンタやカラー複写機で印刷した後のハガキ
- 私製ハガキ、絵ハガキ、四面連刷ハガキ
- 箔押し、エンボス加工など表面に凹凸のあるハガキ
- 中央に折り跡のある往復ハガキ
- 大きく反っているハガキ（反りを修正してご使用ください）
- 絵入りハガキを給紙すると、絵柄裏移り防止用の粉が給紙ローラに付着し給紙できなくなる場合があります。万一給紙できなくなった場合は、以下のページを参照して給紙ローラをクリーニングしてください。
  本書 217 ページ「給紙ローラのクリーニング」

プリンタドライバの設定		ダイアログ	項目	設定値
官製ハガキ	Windows	基本設定	用紙サイズ	[ハガキ 100mm × 148mm]
	Macintosh	用紙設定	用紙サイズ	[ハガキ]
官製往復ハガキ	Windows	基本設定	用紙サイズ	[往復ハガキ 148mm × 200mm]
	Macintosh	用紙設定	用紙サイズ	[往復ハガキ]

- [ハガキ]あるいは[往復ハガキ]を選択した場合、プリンタドライバの[用紙種類]の設定に関係なく、プリンタ内部では厚紙として印刷を行います。
- 官製往復ハガキは用紙に折り跡がないものを使用してください。
- 奥までしっかりセットしても給紙されなかった場合は、先端を数ミリ上に反らせてセットしてください。
- 裏面(または表面)に印刷したハガキの反対面に印刷する場合は、ハガキの反りを直してからプリンタにセットしてください。また、反対面に印刷する場合のセット可能枚数は 20 枚になります。

ハガキの「バリ」除去について

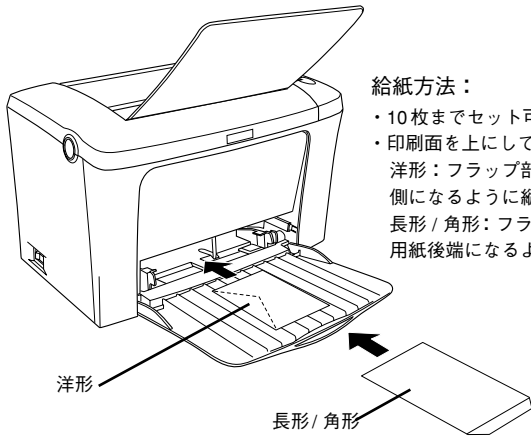
ハガキによっては、裏面に「バリ」(裁断時のかえり)が大きいために、給紙できない場合があります。印刷する前にハガキ裏面を確認し「バリ」がある場合には以下の方法に従って除去してください。

ハガキを水平な所に置いて、定規などを「バリ」がある部分に垂直にあてて矢印方向に 1 〜 2 回こすり、「バリ」を除去します。

「バリ」除去の際に発生した紙粉をよく払ってから給紙してください。ハガキに紙粉が付着したまま給紙すると、用紙が給紙できなくなるおそれがあります。万一用紙を給紙しなくなった場合は、給紙ローラをクリーニングしてください。
☞本書 217 ページ「給紙ローラのクリーニング」

封筒への印刷

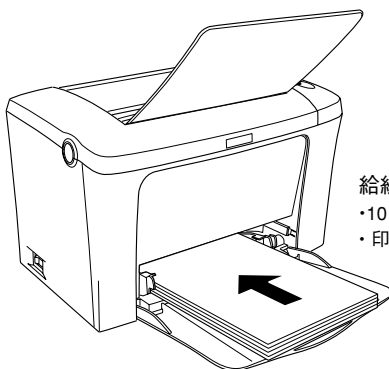
封筒の品質は、製造メーカーによって異なります。封筒の紙種、保管および印刷環境、印刷方法によっては、しわが目立つ場合がありますので、事前に試し印刷をすることをお勧めします。また、大量の封筒を購入する前にも、必ず試し印刷をして、印刷の状態を確認してください。

以下の封筒は使用しないでください。プリンタの故障や印刷不良などの原因になります。

- 熱転写プリンタ、インクジェットプリンタで一度印刷した封筒
- 封の部分に糊付け加工が施されている封筒
- 箔押し、エンボス加工など表面に凹凸のある封筒
- リボン、フックなどが付いている封筒
- 宛名用窓付きの封筒

プリンタドライバの設定	ダイアログ	項目	設定値
Windows	基本設定	用紙サイズ	［洋形 0 号］［洋形 4 号］［洋形 6 号］［長形 3 号］［長形 4 号］［角形 3 号］
Macintosh	用紙設定	用紙サイズ	［洋形 0 号］［洋形 4 号］［洋形 6 号］［長形 3 号］［長形 4 号］［角形 3 号］

- ［封筒］を選択した場合、プリンタドライバの［用紙種類］の設定に関係なく、プリンタ内部では厚紙として印刷を行います。
- 本機で使用可能な封筒のサイズは、洋形0号/4号/6号、長形3号/4号、角形3号のみです。紙厚は 85g/m^2 のものをお勧めします。
- 奥までしっかりセットしても給紙されなかった場合は、先端を数ミリ上に反らせてセットしてください。
- 印刷効果が思う向きにならない場合は、［逆方向から印刷］（Windows プリンタドライバの［レイアウト］ダイアログ）／［180 度回転印刷］（Macintosh プリンタドライバの［用紙設定］ダイアログ）をご利用ください。

厚紙への印刷

厚紙の品質は、製造メーカーによって異なります。大量の厚紙を購入する前には、必ず試し印刷をして、印刷の状態を確認してください。

プリンタドライバの設定	ダイアログ	項目	設定値
Windows	基本設定	用紙サイズ	印刷データで設定した用紙のサイズを設定
		用紙種類	［厚紙（小）］、［厚紙（大）］*
Macintosh	用紙設定	用紙サイズ	印刷データで設定した用紙のサイズを設定
	プリント	用紙種類	［厚紙（小）］、［厚紙（大）］*

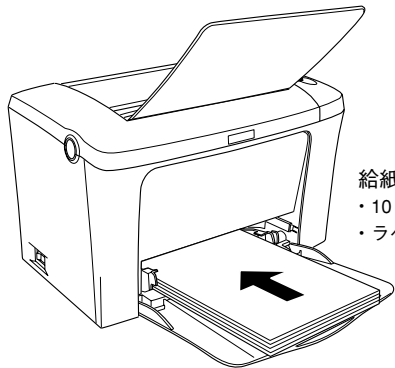
* 厚紙の用紙サイズによって、設定が異なります。
厚紙（大）：用紙の横幅が 188mm 以上（A4、Letter（LT）など）
厚紙（小）：用紙の横幅が 188mm 未満（A5、B5、Half-Letter（HLT）、Executive（EXE）など）

163g/m^2 以下の厚紙を使用してください。

ラベル紙への印刷

ラベル紙の品質は、製造メーカーによって異なります。大量のラベル紙を購入する前には、必ず試し印刷をして、印刷の状態を確認してください。

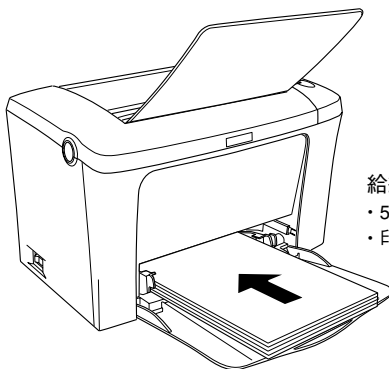
以下のラベル紙は使用しないでください。故障の原因になります。

- 簡単にはがれてしまうラベル紙
- 一部がはがれているラベル紙
- 糊がはみ出しているラベル紙
- インクジェットプリンタ用のラベル紙
- 台紙全体がラベルで覆われていないラベル紙
- モノクロレーザープリンタ用またはモノクロコピー機用以外のラベル紙

プリンタドライバの設定	ダイアログ	項目	設定値
Windows	基本設定	用紙サイズ	印刷データで設定した用紙のサイズを設定
Macintosh	用紙設定	用紙サイズ	印刷データで設定した用紙のサイズを設定

- モノクロレーザープリンタ用またはモノクロコピー機用のラベル紙を使用してください。
- 紙が厚い（90 ～ 163g/m^2）場合は、プリンタドライバの［用紙種類］を［厚紙（大）］または［厚紙（小）］に設定してください。設定については、以下のページを参照してください。
  本書 21 ページ「厚紙への印刷」

OHP シートへの印刷

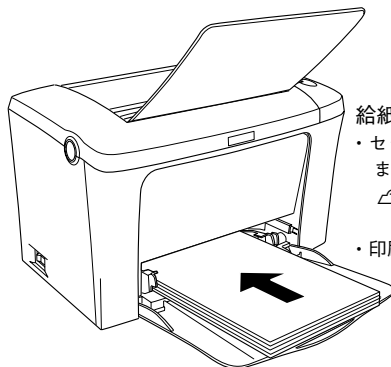
OHP シートの品質は、製造メーカーによって異なります。大量の OHP シートを購入する前には、必ず試し印刷をして印刷の状態を確認してください。

- OHP シートは、手の脂が付かないように、手袋をはめるなどしてお取り扱いください。OHP シートに手の脂が付着すると、印刷不良の原因になる場合があります。
- 印刷直後の OHP シートは熱くなりますのでご注意ください。
- カラー複写機やカラーページプリンタ / インクジェットプリンタ専用のOHP シートは使用しないでください。故障の原因となります。

プリンタドライバの設定	ダイアログ	項目	設定値
Windows	基本設定	用紙サイズ	印刷データで設定した用紙のサイズを設定
		用紙種類	[OHP シート]
Macintosh	用紙設定	用紙サイズ	印刷データで設定した用紙のサイズを設定
	プリント	用紙種類	[OHP シート]

- モノクロレーザープリンタ用またはモノクロコピー機用の OHP シートを使用してください。
- OHPシートに付属している説明書などで裏表を確認してください。裏表がある場合は、表面を上に向けてセットしてください。
- OHP シートは、種類によって用紙厚が異なります。給紙が正常に行われない場合や、エラーが発生する場合は、セットする枚数を減らしてください。

不定形紙への印刷

本機で使用できる不定形紙のサイズは以下の通りです。

- 用紙幅：9.00 ～ 21.60cm
- 用紙長：14.80 ～ 35.60cm

プリンタドライバの設定	ダイアログ	項目	設定値
Windows	基本設定	用紙サイズ	ユーザー定義サイズで設定
Macintosh	用紙設定	用紙サイズ	カスタム用紙で設定

- アプリケーションソフトで任意の用紙サイズを指定できない場合は、不定形紙への印刷はできません。
- 紙が厚い（90 ～ 163g/m^2）場合は、プリンタドライバの［用紙種類］を［厚紙（大）］または［厚紙（小）］に設定してください。設定については、以下のページを参照してください。
  本書 21 ページ「厚紙への印刷」
- 用紙のセット方向は、ユーザー定義サイズで設定した通りにプリンタにセットしてください。

＜例＞ユーザー定義サイズを「150mm x210mm」に設定した場合

150

210　セット方向

＜例＞ユーザー定義サイズを「210mm x 150mm」に設定した場合

210

150　セット方向

Windows プリンタドライバの機能と関連情報

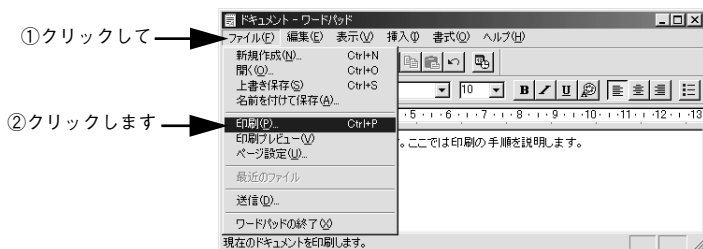
プリンタドライバの詳細説明と、Windows でお使いの際に関係する情報について説明しています。

プロパティの開き方

印刷に関する各種の設定は、プリンタドライバのプロパティを開いて変更します。プロパティの開き方は、大きく分けて 2 通りあります。この開き方によって、設定できる項目が異なります。異なる点については、各設定項目の説明を参照してください。

アプリケーションソフトからの開き方

通常の印刷時は、アプリケーションソフトからプリンタドライバのプロパティを開いて設定します。アプリケーションソフトからプリンタドライバのプロパティを開く方法は、ソフトウェアによって異なります。各ソフトウェアの取扱説明書を参照してください。以下 Windows 98 に添付の「ワードパッド」の場合を説明します。

1 **アプリケーションソフトの［ファイル］メニューから［印刷］をクリックして［印刷］ダイアログを表示させます。**

2 **プリンタ名に EPSON LP-1300 が選択されていることを確認して［プロパティ］（Windows XP の場合は［詳細設定］）ボタンをクリックします。**

Windows 2000 の「ワードパッド」のように、［印刷］ダイアログ内で直接プリンタのプロパティを操作できる場合があります。

［プリンタ］/［プリンタと FAX］フォルダからの開き方

［プリンタ］（Windows XP の場合は［プリンタと FAX］）フォルダでは、コンピュータにインストールされているプリンタの設定・管理と、新しいプリンタの追加が実行できます。

［プリンタ］/［プリンタと FAX］フォルダからプリンタドライバのプロパティを開いた場合の設定値は、アプリケーションソフトから開いた際の初期値になります。日常的に使う設定値は以下の手順であらかじめ設定しておいてください。

［プリンタ］/［プリンタと FAX］フォルダからプリンタドライバのプロパティを開いて、プリンタドライバを設定する方法はいくつもあります。以下代表的な手順を説明します。

1 Windows の［スタート］メニューから［プリンタ］/［プリンタと FAX］を開きます。

- **Windows 95/98/Me/NT4.0/2000 の場合**

  ［スタート］ボタンをクリックして［設定］にカーソルを合わせ、［プリンタ］をクリックします。

- **Windows XP の場合**

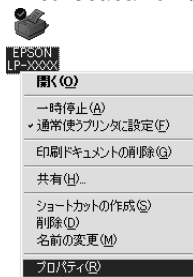
① ［スタート］ボタンをクリックして［コントロールパネル］をクリックします。
［スタート］メニューに［プリンタと FAX］が表示されている場合は、［プリンタと FAX］をクリックして、❷ へ進みます。

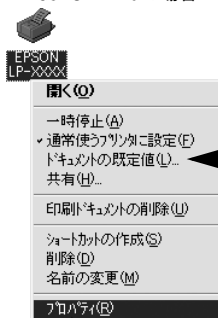
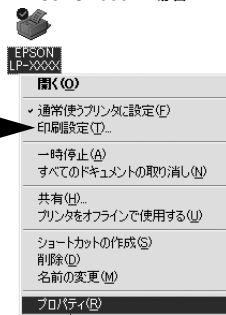
② ［プリンタとその他のハードウェア］をクリックします。

③ ［プリンタと FAX］をクリックします。

LP-1300のプリンタアイコンを右クリックして、表示されたメニューで［プロパティ］をクリックします。

Windows NT4.0 の場合は［ドキュメントの既定値］または［プロパティ］を、Windows 2000/XP の場合は［印刷設定］または［プロパティ］をクリックでき、設定できる機能が異なります。異なる点については、各設定項目の説明を参照してください。

Windows XP の場合

プリンタと FAX
ファイル(F) 編集(E) 表示(V) お気に入り(A) ツール(T) ヘルプ(H)
戻る 検索 フォルダ
アドレス(D) プリンタと FAX
プリンタのタスク
プリンタのインストール
印刷ジョブの表示
印刷設定の選択
印刷の一時停止
このプリンタの共有
このプリンタの名前変更
このプリンタの削除
プリンタのプロパティの設定
EPSON LP-XXXX 0 準備完了
開く(O)
印刷設定(E)...
一時停止(G)
共有(H)...
プリンタをオフラインで使用する(U)
ショートカットの作成(S)
削除(D)
名前の変更(M)
プロパティ(R)

プリンタに対するタスクリストから［印刷設定の選択］または［プリンタのプロパティの設定］をクリックして実行することもできます。

印刷の基本的な設定（プリンタドライバの設定）を行います。

Windows のプリンタ使用環境を設定します。

ポイント

- プリンタを選択して、［ファイル］メニューから操作することもできます。
- Windows NT4.0/2000/XP の場合、接続先のポートを変更するときには、［プロパティ］を選択します。プリンタドライバの設定値を変更するときは、［ドキュメントの既定値］または［印刷設定］を選択します。

プリンタドライバで設定できる項目

プリンタドライバで設定できる項目の概要は以下の通りです。詳細は参照先のページをご覧ください。

< 例 > Windows 98 でアプリケーションソフトから開いた場合

① 印刷の基本設定

用紙サイズ、給紙方法、印刷方法など、印刷に関わる基本的な設定を行います。

本書 30 ページ「[基本設定] ダイアログ」

② レイアウトの設定

拡大 / 縮小印刷や割り付け印刷など、レイアウトに関する設定を行います。

本書 36 ページ「[レイアウト] ダイアログ」

③ ページ装飾

スタンプマークを重ねて印刷したり、日付やユーザー名を入れて印刷します。

本書 41 ページ「[ページ装飾] ダイアログ」

④ プリンタの環境設定

プリンタの動作環境を設定したり、ステータスシートを印刷します。

本書 49 ページ「[環境設定] ダイアログ」

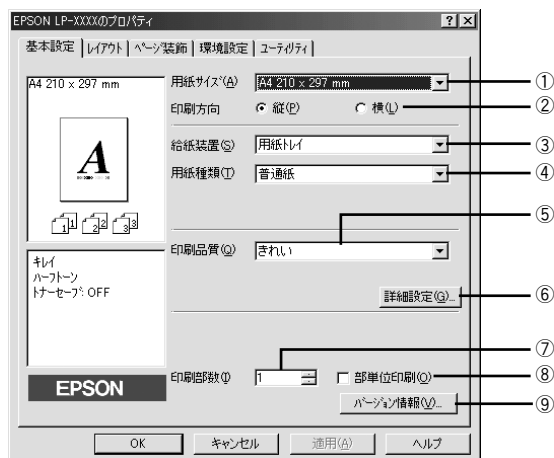
⑤ ユーティリティの起動

プリンタの状態をモニタする EPSON プリンタウィンドウ !3 を起動します。

本書 58 ページ「[ユーティリティ] ダイアログ」

［基本設定］ダイアログ

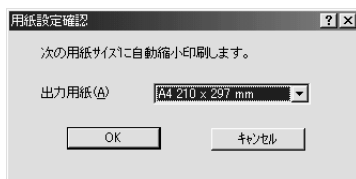
プリンタドライバの［基本設定］ダイアログでは、印刷に関わる基本的な設定を行います。

< 例 > Windows 98 でアプリケーションソフトから開いた場合

①用紙サイズ

アプリケーションソフトで設定した印刷データの用紙サイズを選択します。目的の用紙サイズが表示されていない場合は、スクロールバーの矢印［▲］［▼］をクリックして表示させてください。

- アプリケーションソフトで設定した用紙サイズとプリンタドライバの［用紙サイズ］は必ず一致させてください。サイズが異なる場合、アプリケーションソフトによっては、間違ったサイズで印刷したり、印刷できない場合があります。
- Windows NT4.0/2000/XP の場合は、本機がサポートしていないサイズも表示されます。本機がサポートしないサイズは選択しないでください。
本書 13 ページ「セットできる用紙サイズと容量」

自動縮小印刷：

プリンタがサポートしていない大きい用紙サイズ（A4、Letter を超えるサイズ）を選択した場合、［用紙設定確認］ダイアログが開きます。このダイアログの［出力用紙］で選択した用紙サイズに合わせて、自動縮小して印刷します。

ユーザー定義サイズ：

［用紙サイズ］リストにない用紙サイズを、［ユーザー定義サイズ］として設定できます。設定できるサイズは以下の通りです。

用紙幅：9.00 ～ 21.60cm（3.54 ～ 8.50 インチ）

用紙長：14.80 ～ 35.60cm（5.83 ～ 14.02 インチ）

本書 34 ページ「任意の用紙サイズを登録するには」

② 印刷方向

印刷する用紙の方向を、［縦］・［横］のいずれかをクリックして選択します。アプリケーションソフトで設定した印刷の向きに合わせてください。

③ 給紙装置

本機は常に用紙トレイから給紙しますので、設定は変更できません。

④ 用紙種類

用紙の種類を選択します。

項目	説明
普通紙	普通紙タイプの用紙（レターヘッド、再生紙、色つきを含む）に印刷する場合に選択します。
厚紙（大）、厚紙（小）	厚紙に印刷する場合に選択します。使用する用紙サイズによって設定は以下のように異なります。 • 厚紙（大）： 用紙の横幅が 188mm 以上（A4、Letter（LT）など）の厚紙を使用する場合に選択します。 • 厚紙（小）： 用紙の横幅が 188mm 未満（A5、B5、Half-Letter（HLT）、Executive（EXE）など）の厚紙を使用する場合に選択します。
OHP シート	OHP シートに印刷する場合に選択します。

用紙サイズをハガキ、往復ハガキ、または封筒サイズにした場合、プリンタドライバの［用紙種類］の設定に関係なく、プリンタ内部では厚紙として印刷を行います。

⑤印刷品質

本機は印刷品質（解像度）の設定を常に［きれい］（600dpi）の状態で印刷します。設定は変更できません。

ポイント

印刷できない場合や、メモリ関連のエラーメッセージが表示される場合は、以下のいずれかの方法で対処してください。

- 印刷データの容量や色数を減らす。
- ［環境設定］ダイアログの［拡張設定］内にある［メモリ不足回避］を有効にする。

☞本書 54 ページ「［拡張設定］ダイアログ」

⑥［詳細設定］ボタン

グラフィックの印刷方法、トナーセーブなどを設定するには、［詳細設定］ボタンをクリックして、［詳細設定］ダイアログを開きます。

☞ 本書 33 ページ「［詳細設定］ダイアログ」

⑦印刷部数

印刷する部数（1 ～ 999）を設定します。

⑧部単位印刷

2 部以上印刷する場合に 1 ページ目から最終ページまでを 1 部単位にまとめて印刷します。印刷する部数は、⑦の［印刷部数］で指定します。

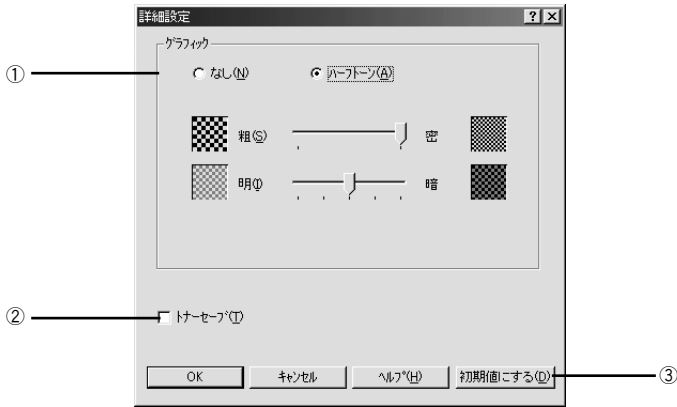
ポイント

アプリケーションソフト側で部単位印刷の設定ができる場合は、アプリケーションソフトでの設定をオフ（部単位印刷しない）にして、プリンタドライバの［部単位印刷］で設定してください。

⑨［バージョン情報］ボタン

プリンタドライバのバージョン情報を示すダイアログが開きます。

［詳細設定］ダイアログ

［基本設定］ダイアログで［詳細設定］ボタンをクリックすると、［詳細設定］ダイアログが開きます。印刷条件の詳細な設定ができます。

①グラフィック

グラフィックの印刷方法を設定します。

項目	説明
なし	グラフィックの印刷処理を行いません。グレイスケールや中間色を表現せず、濃淡や色調のない画像になります。
ハーフトーン	グラフィックイメージのハーフトーン処理を行います。グラデーションなどの無段階に階調が変化する画像をハーフトーン処理してきれいに印刷できます。

粗密：

［ハーフトーン］選択時の印刷粗密度を、スライドバーで２段階に調整できます。［密］側にスライドするとより細かく、［粗］側にスライドするとより粗くグラフィックを印刷します。

明暗：

［ハーフトーン］選択時の印刷明度をスライドバーで調整できます。［明］側にスライドするとより明るく、［暗］側にスライドするとより暗くグラフィックが印刷されます。

②トナーセーブ

文字の輪郭はそのままに黒ベタ部分の濃度を抑えることでトナーを節約します。試し印刷をするときなど、印刷品質にこだわらない場合にご利用ください。

③［初期値にする］ボタン

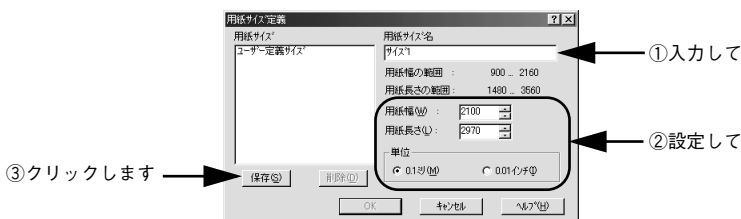
［詳細設定］ダイアログの設定を初期値に戻します。

任意の用紙サイズを登録するには

［用紙サイズ］リストにあらかじめ用意されていない用紙サイズを［ユーザー定義サイズ］として独自に登録することができます。

1 プリンタドライバの［基本設定］ダイアログを開き、［用紙サイズ］リストから［ユーザー定義サイズ］を選択します。

2 登録名を［用紙サイズ名］に入力し、登録したい［用紙幅］と［用紙長さ］を入力してから［保存］ボタンをクリックします。

- 数値の単位は、［0.1 ミリ］または［0.01 インチ］のどちらかを選択します。
- 設定できるサイズの範囲は以下の通りです。
  用紙幅：9.00 ～ 21.60cm（3.54 ～ 8.50 インチ）
  用紙長：14.80 ～ 35.60cm（5.83 ～ 14.02 インチ）

- 用紙サイズは 20 件まで登録することができます。
- すでに登録している用紙サイズを変更する場合は、［用紙サイズ］リストから変更したい用紙サイズを選択して保存し直します。
- すでに登録されている用紙サイズを削除する場合は、［用紙サイズ］リストからサイズ名をクリックして選択し、［削除］ボタンをクリックします。
- プリンタドライバを再インストールした場合でも、登録された用紙サイズは保持されます。

3 ［OK］ボタンをクリックします。

定義した用紙サイズが［用紙サイズ］リストから選択できるようになります。

不定形紙への印刷は、いくつかご注意いただく点があります。以下のページを参照してから印刷を実行してください。
本書 24 ページ「不定形紙への印刷」

［レイアウト］ダイアログ

プリンタドライバの［レイアウト］ダイアログでは、印刷するページのレイアウトに関わる設定を行います。

<例 > Windows 98 でアプリケーションソフトから開いた場合

① 拡大 / 縮小

拡大または縮小して印刷することができます。

☞ 本書 37 ページ「拡大 / 縮小して印刷するには」

② 割り付け

2 ページまたは 4 ページ分の連続したデータを 1 枚の用紙に自動的に縮小割り付けして印刷します。割り付けるページ数と順序を設定するには、［割り付け設定］ボタンをクリックします。

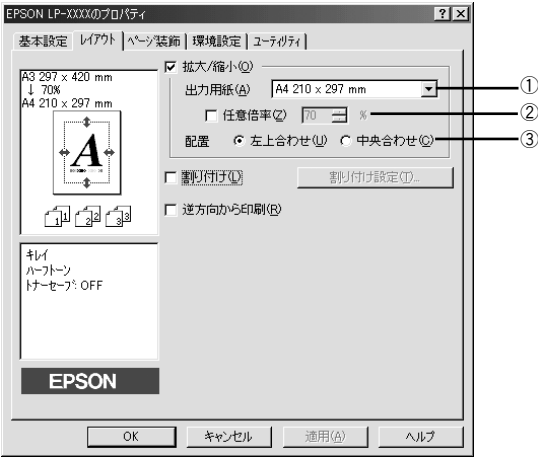
☞ 本書 39 ページ「1 ページに複数ページのデータを印刷するには」

③ 逆方向から印刷

印刷データを 180 度回転して印刷します。

拡大 / 縮小して印刷するには

［レイアウト］ダイアログで［拡大 / 縮小］のチェックボックスをチェックすると、拡大 / 縮小機能が有効になり、以下の項目が設定できます。［基本設定］ダイアログで設定した用紙サイズの原稿を、指定したサイズに拡大または縮小して印刷します。

<例> Windows 98でアプリケーションソフトから開いた場合

① 出力用紙

［基本設定］ダイアログで設定した用紙サイズを、ここで指定した用紙サイズに拡大または縮小して印刷します。なお、縮小拡大率は、画面の左側に表示されます。

② 任意倍率

50 ～ 200% までの任意の倍率を 1% 単位で設定できます。この場合は、フィットページ印刷は行われません。

③ 配置

フィットページ印刷する場合、ページのどこに印刷するかを選択します。

項目	説明
左上合わせ	用紙の左上を基準にしてフィットページ印刷を行います。
中央合わせ	用紙の中央を基準にしてフィットページ印刷を行います。

フィットページ印刷の手順

フィットページ機能を使って用紙サイズA4の印刷データをハガキサイズに縮小印刷する手順は以下の通りです。

1. プリンタにハガキサイズの用紙がセットされていることを確認します。

2. [基本設定] ダイアログを開いて、[用紙サイズ] が [A4] になっていることを確認します。

3. [レイアウト] ダイアログを開いて、各項目を設定します。

4. [OK] ボタンをクリックして [レイアウト] ダイアログを閉じ、[OK] ボタンをクリックして印刷を実行します。

1 ページに複数ページのデータを印刷するには

［レイアウト］ダイアログで［割り付け］のチェックボックスをチェックして［割り付け設定］ボタンをクリックすると、［割り付け設定］ダイアログが開いて以下の項目が設定できます。

①割り付けページ数

1 枚の用紙に割り付けるページ数を選択します。

②割り付け順序

割り付けたページを、どのような順番で配置するのか選択します。［印刷方向］（縦・横）と［割り付けページ数］によって、選択できる割り付け順序は異なります。

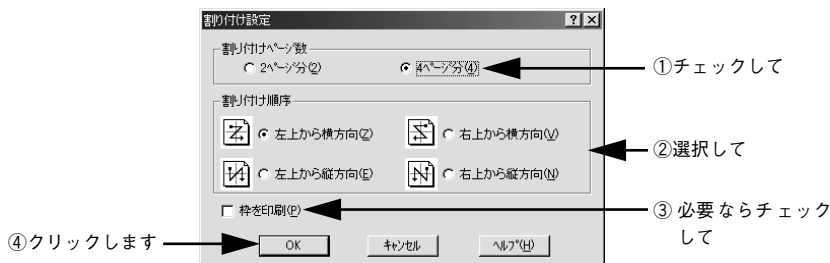
③枠を印刷

割り付けたページの周りに枠線を印刷するときにチェックマークを付けます。

割り付け印刷の手順

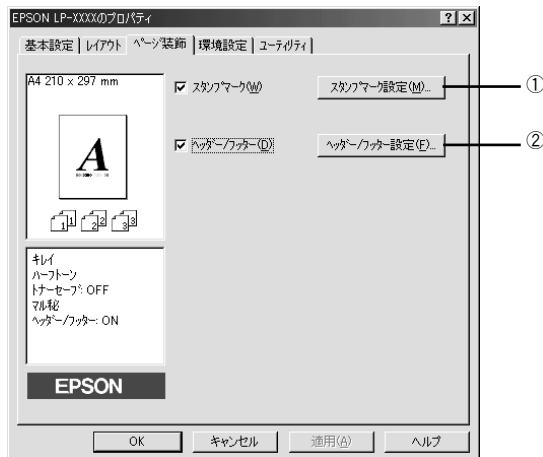
4 ページ分の連続したデータを 1 枚の用紙に印刷する場合の手順は以下の通りです。

1. ［レイアウト］ダイアログを開いてから［割り付け設定］ダイアログを開きます。

2. ［割り付けページ数］の［4 ページ分］をクリックしてから、［割り付け設定］ダイアログの各項目を設定します。

3. ［OK］ボタンをクリックして［レイアウト］ダイアログを閉じ、［OK］ボタンをクリックして印刷を実行します。

［ページ装飾］ダイアログ

［ページ装飾］ダイアログは、スタンプマーク印刷、ヘッダー / フッター印刷を行う場合に設定するダイアログです。

<例 > Windows 98 でアプリケーションソフトから開いた場合

①スタンプマーク
印刷データに㊙などの画像や「重要」などのテキストを重ね合わせて印刷します。
本書 42 ページ「スタンプマークを印刷するには」

②ヘッダー / フッター
ユーザー名や印刷日時など、印刷に関する情報を用紙のヘッダー（上部）/ フッター（下部）に印刷します。印刷するヘッダー / フッターを設定するには、［ヘッダー / フッター設定］ボタンをクリックします。

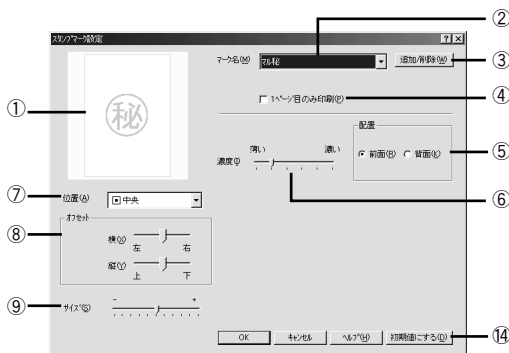
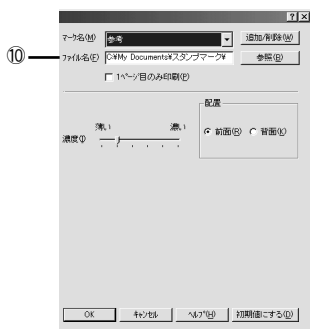
［ヘッダー / フッター設定］ダイアログでは、印刷位置に対応するリストから印刷したい項目（なし・ユーザー名・コンピュータ名・日付・日付 / 時刻・部番号*）を選択して、［OK］ボタンをクリックします。

* ［部番号］が選択されると、プリンタドライバによる部単位印刷が行われ、印刷部数に応じた番号が部単位に印刷されます。

ポイント

Windows NT4.0/2000/XP では、［動作環境設定］ダイアログでの［ドキュメント設定］の設定によって［ヘッダー/ フッター］の設定が変更できなくなります。
本書 56 ページ「［動作環境設定］ダイアログ」

スタンプマークを印刷するには

［ページ装飾］ダイアログで［スタンプマーク］のチェックボックスをチェックして［スタンプマーク設定］ボタンをクリックすると、［スタンプマーク］ダイアログが開きます。

登録したビットマップマーク選択時

登録したテキストマーク選択時

①プレビュー部

選択しているスタンプマークが表示されます。

②マーク名

印刷するスタンプマークをリストボックスから選択します。

③［追加 / 削除］ボタン

オリジナルのビットマップ (BMP[*1] 画像) マークやテキスト（文字）マークを登録したり削除します。

*1　BMP：画像データを保存する際のファイル形式の 1 つ。

本書 45 ページ「オリジナルスタンプマークの登録方法」

④1 ページ目のみ印刷

用紙の 1 ページ目のみにスタンプマークを印刷します。この項目が選択されていない場合は、すべてのページにスタンプマークが印刷されます。

⑤配置
スタンプマークを文書の［前面］または［背面］どちらに配置するかを選択します。［前面］に配置すると、印刷データの文字やグラフィックスがスタンプマークにかくれてしまう場合がありますので、注意してください。

⑥濃度
スタンプマークの印刷濃度（薄い・濃い）を調整します。

⑦位置
スタンプマークの印刷位置をリストボックスから選択します。

⑧オフセット
スタンプマークの印刷位置をスライドバーで調整できます。

⑨サイズ
印刷するスタンプマークのサイズを調整します。スライドバーを［－］側に移動するとより小さく、［＋］側に移動するとより大きくスタンプマークが印刷されます。

［位置］、［オフセット］、［サイズ］を設定する場合、スタンプマークが印刷可能領域を超えないように注意してください。

⑩ファイル名（登録したビットマップマーク選択時のみ）
登録したビットマップマークを［マーク名］で選択した場合は、登録したビットマップのファイル名が表示されます。登録したビットマップファイルを変更する場合は、［参照］ボタンをクリックしてファイルを選択し直してください。

⑪テキスト（登録したテキストマーク選択時のみ）
登録したテキストマークを［マーク名］で選択した場合は、登録した文字列が表示されます。一時的に文字を追加して変更することもできます。登録した文字を変更する場合は、［追加 / 削除］ボタンをクリックして同一マーク名で上書きしてください。

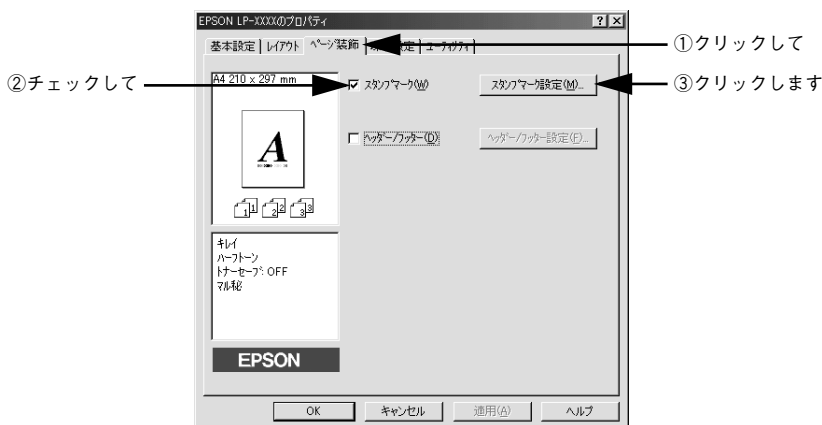
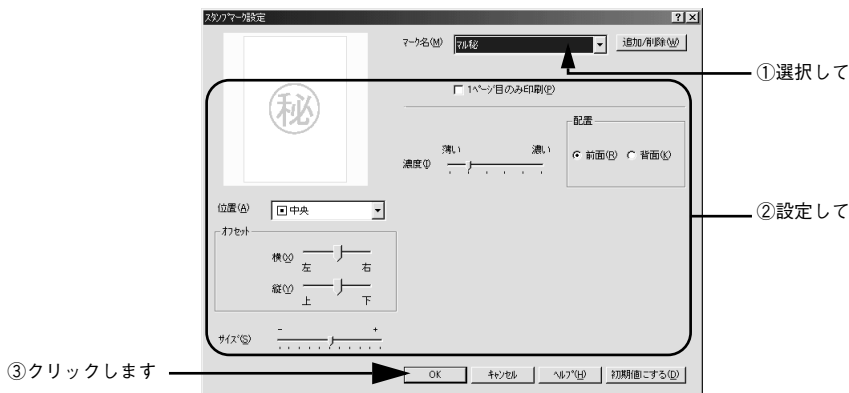
⑫フォント設定（登録したテキストマーク選択時のみ）
登録したテキストマークを選択した場合は、登録したテキストのフォントおよびスタイル（形状）を、リストボックスの中から選択することができます。

⑬回転（登録したテキストマーク選択時のみ）
登録したテキストマークを選択した場合は、テキストマークの角度を設定できます。入力欄に角度を直接入力するか、スライドバーをスライドしてください。

⑭［初期値にする］ボタン
［スタンプマーク］ダイアログの設定を初期値に戻します。

スタンプマーク印刷の手順

スタンプマークを印刷する場合の手順は以下の通りです。

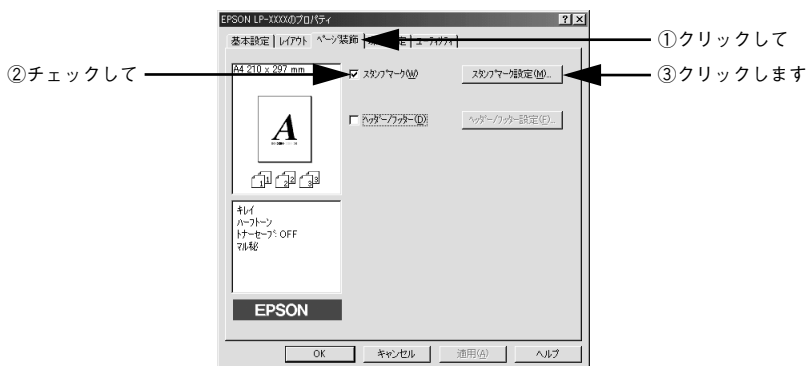
1. [ページ装飾] ダイアログを開いてから、[スタンプマーク設定] ダイアログを開きます。

2. 印刷したいスタンプマークを選択して、各項目を設定します。

3. [OK] ボタンをクリックして [ページ装飾] ダイアログを閉じ、[OK] ボタンをクリックして印刷を実行します。

オリジナルスタンプマークの登録方法

すでに登録されているスタンプマークのほかに、テキスト（文字）マークやビットマップ（画像）マークが登録できます。登録するマークの種類に合わせて、それぞれの手順をお読みください。

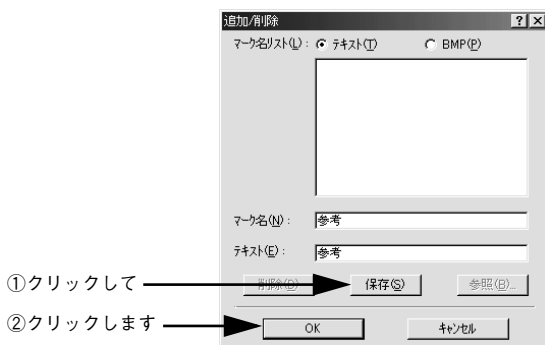
- オリジナルスタンプマークは 10 件まで登録することができます。
- プリンタドライバを再インストールした場合でも、登録されたスタンプマークは保持されます。

テキストマークの登録方法

1. ［ページ装飾］ダイアログを開いてから、［スタンプマーク設定］ダイアログを開きます。

2. ［追加 / 削除］ボタンをクリックします。

3 ［テキスト］をクリックし、［マーク名］に任意の登録名を入力してから、［テキスト］に登録したい文字を入力します。

直接［テキスト］に文字を入力すると、同じ文字が自動的に［マーク名］に入力されます。入力した文字と同じマーク名を付けたい場合に便利です。

4 ［保存］ボタンをクリックして、［OK］ボタンをクリックします。

これで［スタンプマーク設定］ダイアログの［マーク名］リストにオリジナルのテキストマークが登録されました。

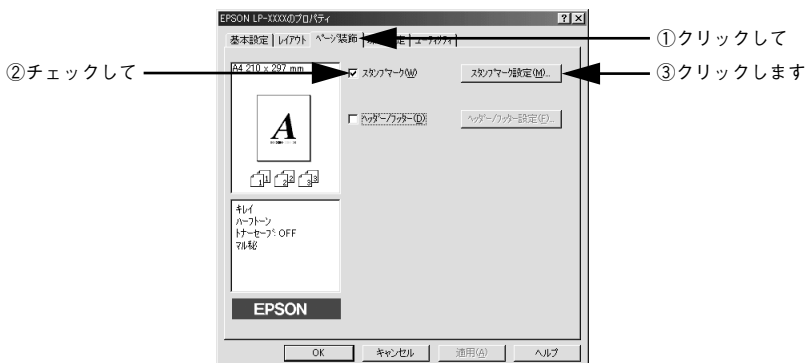
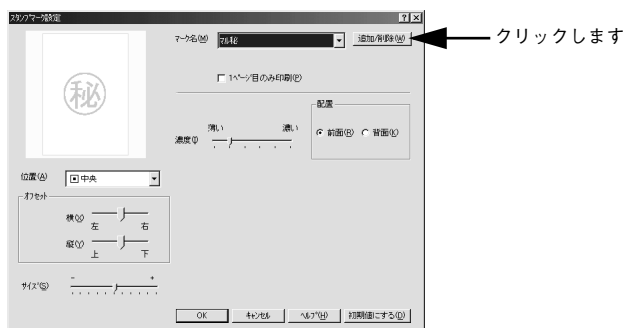
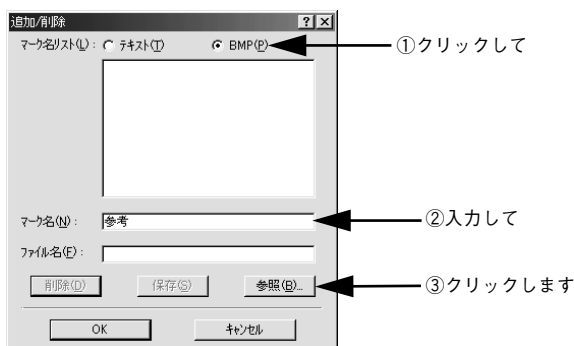
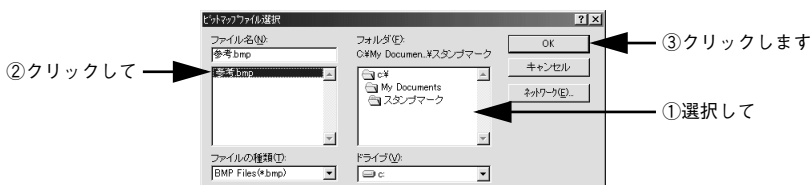
登録したスタンプマークを削除するには、削除したいスタンプ名を［マーク名リスト］から選んで［削除］ボタンをクリックします。［削除］ボタンをクリックした後、［スタンプマーク設定］ダイアログとプリンタプロパティのダイアログを、［OK］ボタンをクリックして必ず一旦閉じてください。

5 ［スタンプマーク設定］ダイアログで［OK］ボタンをクリックします。

画面左側のプレビュー部で、登録したスタンプマークを確認できます。

ビットマップマークの登録方法

1. アプリケーションソフトを使ってスタンプマークを作成し、BMP 形式で保存します。

2. ［ページ装飾］ダイアログを開いてから、［スタンプマーク設定］ダイアログを開きます。

3. ［追加 / 削除］ボタンをクリックします。

4. ［BMP］をクリックし、［マーク名］に任意の登録名を入力してから、［参照］ボタンをクリックします。

5 ❶ でスタンプマークを保存したフォルダを選択し、登録するスタンプマークのファイル名をクリックしてから、［OK］ボタンをクリックします。

6 ［保存］ボタンをクリックして、［OK］ボタンをクリックします。

これで［スタンプマーク設定］ダイアログの［マーク名］リストにオリジナルのビットマップマークが登録されました。

登録したスタンプマークを削除するには、削除したいスタンプ名を［マーク名リスト］から選んで［削除］ボタンをクリックします。［削除］ボタンをクリックした後、［スタンプマーク設定］ダイアログとプリンタプロパティのダイアログを、［OK］ボタンをクリックして必ず一旦閉じてください。

7 ［スタンプマーク設定］ダイアログで［OK］ボタンをクリックします。

画面左側のプレビュー部で、登録したスタンプマークを確認できます。

［環境設定］ダイアログ

［環境設定］ダイアログは、お使いの OS や機種または開き方によって画面のイメージや設定できる項目が異なります。

［プリンタ］フォルダから開いた場合

設定項目	Windows 95/98/Me	Windows NT4.0/2000/XP 管理者	Windows NT4.0/2000/XP 管理者以外	Windows NT4.0/2000/XP 管理者	Windows NT4.0/2000/XP 管理者以外
		ドキュメントの既定値 / 印刷設定		プロパティ	
ステータスシート印刷	○	○	○	○	○
プリンタ設定	○	−	−	○	×
拡張設定	○	○	○	−	−
動作環境設定	○	△	△	○	△

アプリケーションソフトから開いた場合

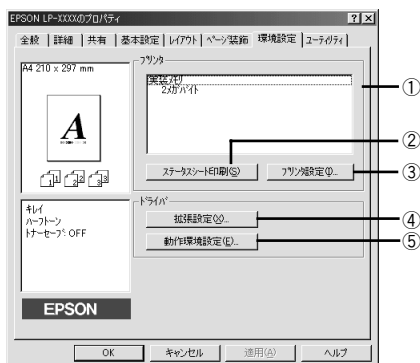
設定項目	Windows 95/98/Me	Windows NT4.0/2000/XP 管理者	Windows NT4.0/2000/XP 管理者以外
ステータスシート印刷	○	○	○
プリンタ設定	−	−	−
拡張設定	○	○	○
動作環境設定	△	△	△

○ :選択可（ダイアログを開いて設定できます）
△ :確認のみ（選択できますが、設定できません）
× :選択不可（グレー表示して選択・設定できません）
− :非表示（選択・設定できません）

Windows NT4.0/2000 の場合は管理者権限（Power Users 以上の権限）のあるユーザーまたはアクセス許可を与えられた Users のみが、Windows XP の場合は「コンピュータの管理者」アカウントのユーザーが設定を変更できます。［プロパティ］または［ドキュメントの既定値］/［印刷設定］のどちらで［環境設定］ダイアログを開くかによって、設定できる項目（［拡張設定］または［動作環境設定］）が異なります。ダイアログの開き方については、以下のページを参照してください。

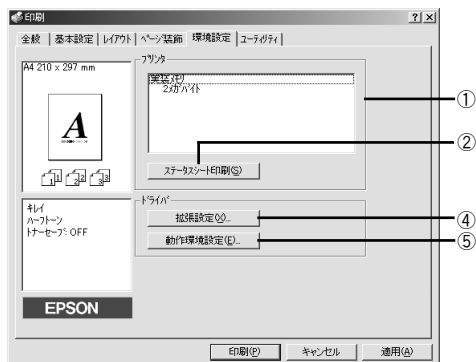
☞本書 26 ページ「プロパティの開き方」

以下に代表的な画面を掲載して、項目の説明をします。

<例>Windows 95/98/Me

［プリンタ］フォルダから［プロパティ］を選択して開いた場合

アプリケーションソフトから開いた場合

<例>Windows NT4.0/2000/XP

［プリンタ］/［プリンタとFAX］フォルダから［プロパティ］を選択して開いた場合

［プリンタ］/［プリンタとFAX］フォルダから［ドキュメントの既定値］または［印刷設定］を選択して開いた場合
（アプリケーションソフトから開いた場合）

①プリンタ（オプション情報）

［プリンタ］フォルダから［環境設定］ダイアログを開くと、プリンタに装着しているオプションの最新情報を自動的に検知して表示します。本機では、実装しているメモリ容量を表示します。

②［ステータスシート印刷］ボタン

プリンタの状態や設定値を記載したステータスシートを印刷します。

③［プリンタ設定］ボタン

クリックすると［プリンタ設定］ダイアログが開き、プリンタのさまざまな機能が設定できます。

本書 52 ページ「［プリンタ設定］ダイアログ」

④［拡張設定］ボタン

印刷位置のオフセット値、印刷濃度、白紙節約機能などの設定を行うときにクリックします。

本書 54 ページ「［拡張設定］ダイアログ」

⑤［動作環境設定］ボタン

［プリンタ］フォルダからプリンタドライバのプロパティを開き、［環境設定］ダイアログを開くと、［動作環境設定］ボタンがあります。クリックすると、［動作環境設定］ダイアログが開きます。

本書 56 ページ「［動作環境設定］ダイアログ」

［プリンタ設定］ダイアログ

［プリンタ］フォルダ内の本機のプリンタアイコンを右クリックして、表示されたメニューから［プロパティ］をクリックします。［環境設定］ダイアログを開き、［プリンタ設定］ボタンをクリックすると、［プリンタ設定］ダイアログが開きます。

ポイント

Windows NT4.0 の［ドキュメントの既定値］と Windows 2000/XP の［印刷設定］から［環境設定］ダイアログを開いた場合は、［プリンタ設定］ボタンは表示されません。また、［プロパティ］から［環境設定］ダイアログを開いた場合でも、管理者権限（Power Users 以上の権限）のあるユーザー以外には、［プリンタ設定］ボタンが表示されません。

① 節電

節電状態に入るまでの時間*1（5 分、15 分、30 分、60 分、120 分、180 分）を設定します。頻繁に印刷することがない場合は、本機能により印刷待機時の消費電力を節約することができます。最後の印刷が終了してから、指定した時間（初期設定 15 分）が経過すると節電状態になります。節電状態のときは、印刷するデータを受け取るとまず数秒間ウォーミングアップを行ってから、印刷を開始します。

*1　OFF（節電しない）の設定はできません。

② トナー交換エラー表示

トナーがなくなった場合の対応を設定できます。

- ［しない］に設定した場合、トナーがなくなっても交換を促すメッセージを表示しません。（初期設定）
- ［する］に設定した場合、トナーがなくなると印刷を停止し、交換を促すメッセージを表示します。

③［設定実行］ボタン

［節電］や［トナー交換エラー表示］の設定を変更した場合に、設定した内容を有効にするときにクリックします。

ポイント

- 設定を変更しただけでは有効になりません。設定を有効にするには、［設定実行］ボタンをクリックしてください。
- 印刷中に［設定実行］ボタンをクリックしないでください。

④［トナー残量リセット］ボタン

クリックすると［トナー残量リセット］ダイアログが表示されます。ET カートリッジのトナー残量カウンタをリセットする場合に［OK］ボタンをクリックします。

ポイント

- 新しいETカートリッジと交換したときのみ、カウンタをリセットしてください。不必要にリセットすると、EPSON プリンタウィンドウ !3 はトナー残量を正しく表示できなくなります。
- 印刷中に［トナー残量リセット］ボタンをクリックしないでください。

⑤［感光体ライフリセット］ボタン

クリックすると［感光体ライフリセット］ダイアログが表示されます。感光体ユニットのライフ（寿命）カウンタをリセットする場合に［OK］ボタンをクリックします。

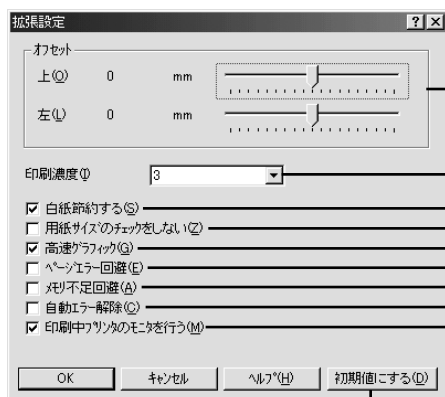
ポイント

- 新しい感光体ユニットと交換したときのみ、カウンタをリセットしてください。不必要にリセットすると、EPSON プリンタウィンドウ !3 は感光体ライフを正しく表示できなくなります。
- 印刷中に［感光体ライフリセット］ボタンをクリックしないでください。

［拡張設定］ダイアログ

［環境設定］ダイアログで［拡張設定］ボタンをクリックすると、［拡張設定］ダイアログが開きます。

ポイント

Windows NT4.0/2000/XP で、［プリンタ］フォルダ（XP の場合は［プリンタと FAX］フォルダ）からプリンタドライバのプロパティを開いた場合は表示されません。［プリンタ］フォルダ（XP の場合は［プリンタと FAX］フォルダ）の［ファイル］メニューから［ドキュメントの既定値］/［印刷設定］を選択するか、アプリケーションソフトからプリンタドライバのプロパティを開いてください。

①オフセット

印刷開始位置のオフセット値を［上］（垂直位置）と［左］（水平位置）で設定します。1mm単位で、次の範囲で設定できます。

上（垂直位置）: -9mm（上方向）～ 9mm（下方向）
左（水平位置）: -9mm（左方向）～ 9mm（右方向）

②印刷濃度

印刷濃度を、1（薄い）から 5（濃い）までの 5 段階で調整します。

③白紙節約する

白紙ページを印刷するかしないかを選択します。白紙ページを印刷しないことで用紙を節約することができます。

④用紙サイズのチェックをしない

プリンタドライバで設定した用紙サイズとプリンタにセットしてある用紙のサイズが合っているか確認しません。それぞれの用紙サイズが異なっていてもエラーを発生することなく印刷します。

⑤高速グラフィック

グラフィック（円や矩形などを重ねて描いた図形）を高速に印刷する機能です。

グラフィックが正常に印刷されなかった場合はチェックボックスのチェックを外してください。

⑥ページエラー回避

印刷データに問題が発生した場合にチェックしてください。ページエラーが発生しにくくなります。

⑦メモリ不足回避

プリンタにメモリ不足が発生した場合にチェックしてください。チェックすると印刷品質を落として印刷するため、メモリ不足エラーが発生しにくくなります。

⑧自動エラー解除

以下の状態のときに発生するエラーを自動的に解除して印刷を続行します。

- プリンタにセットしてある用紙のサイズと印刷データの用紙のサイズが異なる場合
- 印刷データの用紙サイズがプリンタのサポートしていないサイズの場合
- 印刷に必要なメモリが足りない場合

⑨印刷中プリンタのモニタを行う

必ずチェックマークを付けてください。印刷時にプリンタを監視して、プリンタがエラー状態になるとポップアップウィンドウを表示します。

チェックマークを外すと、印刷に影響が出る可能性があります。

⑩OS のスプールを使用する（Windows NT4.0/2000/XP）

チェックマークを付けると、OS のスプール機能を使用します。

アプリケーションソフトによっては、画面と異なる印刷結果になったり、印刷に要する時間が長くなるなどの問題が発生することがあります。このような場合は、チェックマークを外してお使いください。

⑪［初期値にする］ボタン

［拡張設定］ダイアログの設定を初期値に戻します。

［動作環境設定］ダイアログ

［環境設定］ダイアログで［動作環境設定］ボタンをクリックすると、［動作環境設定］ダイアログが開きます。

ポイント

Windows NT4.0 の［ドキュメントの既定値］と Windows 2000/XP の［印刷設定］から［動作環境設定］ダイアログを開いた場合は、現在の設定状態を表示するだけで設定はできません。設定を変更する場合は、プリンタフォルダから表示する［プロパティ］の［動作環境設定］ダイアログを開いてください。

①中間スプールフォルダ選択

スプールファイルや部数印刷する際の印刷データを一時的に保存するフォルダを指定します。通常は、設定を変更する必要はありません。

ポイント

- Windows NT4.0/2000/XP で中間スプールフォルダを選択する場合は、すべての権限において選択するフォルダのアクセス権（またはアクセス許可）の設定が「変更」または「フルコントロール」になっていることを確認してから選択してください。
- 印刷データを一時的に保存するフォルダの空き容量が少ないと、扱うデータによっては印刷できない場合があります。このようなときに空き容量の大きなドライブにある任意のフォルダを選択することにより印刷ができるようになります。

② ドキュメント設定（Windows NT4.0/2000/XP）

［ヘッダー / フッターの設定を許可しない］と［ヘッダー / フッターの印刷］両方をチェックして［標準設定］ボタンをクリックすると、ヘッダー / フッターをここで設定できます。

［ページ装飾］ダイアログのヘッダー / フッターの設定は、ここでの設定によって下表のように影響を受けます。

本書 41 ページ「［ページ装飾］ダイアログ」

	［ヘッダー / フッターの設定を許可しない］		
	チェックなし	チェックあり	
	ー	［ヘッダー / フッターの印刷］	
		チェックなし	チェックあり
［ページ装飾］ダイアログの［ヘッダー / フッター］チェックボックス	［ページ装飾］ダイアログで設定を変更できます。	［ページ装飾］ダイアログの［ヘッダー / フッター］チェックボックスはチェックなしのままで、設定は変更できません。	［ページ装飾］ダイアログの［ヘッダー / フッター］チェックボックスはチェックありのままで、設定は変更できません。
［ページ装飾］ダイアログの［ヘッダー / フッター設定］ボタン	［ページ装飾］ダイアログで設定を変更できます。	［ページ装飾］ダイアログの［ヘッダー / フッター設定］ボタンはクリックできません（設定変更不可）。	［ページ装飾］ダイアログの［ヘッダー / フッター設定］ボタンをクリックしてヘッダー / フッターの印刷内容を確認できますが、設定は変更できません。
説明	ヘッダー / フッターの印刷は［ページ装飾］ダイアログで設定できます。管理者権限のないユーザー（Windows NT4.0/2000）または「コンピュータの管理者」アカウントではないユーザー（Windows XP）でも自由にヘッダー / フッターの印刷を設定できます。	ヘッダー / フッターは印刷できません。	ヘッダー / フッターの印刷は［動作環境設定］ダイアログで設定します。［標準設定］ボタンをクリックして［ヘッダー / フッター設定］ダイアログを開き、印刷位置に対応するリストから印刷したい項目（なし・ユーザー名・コンピュータ名・日付・日付 / 時刻・部番号）を選択してください。

ポイント

- Windows NT4.0 の［ドキュメントの既定値］と Windows 2000/XP の［印刷設定］から［動作環境設定］ダイアログを開いた場合は設定できません。設定を変更する場合は、［プロパティ］から［動作環境設定］ダイアログを開いてください。
- 管理者権限のあるユーザー（Windows NT4.0/2000）または「コンピュータの管理者」アカウントのユーザー（Windows XP）しか設定できません。ヘッダー / フッター印刷を管理する必要がある場合はここで設定してください。

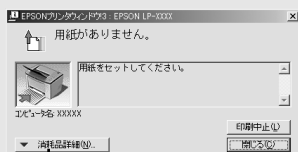
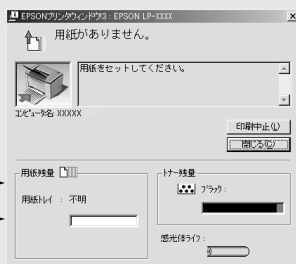
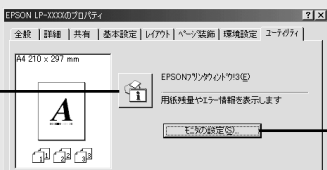
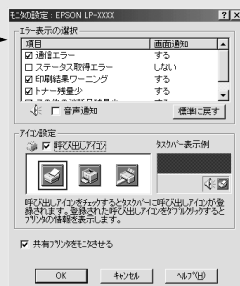
［ユーティリティ］ダイアログ

プリンタドライバの［ユーティリティ］ダイアログでは、ユーティリティソフトのEPSON プリンタウィンドウ!3 に関わる設定を行います。

①EPSON プリンタウィンドウ !3
中央のアイコンボタンをクリックすると、プリンタの状態やトナー残量がモニタできるEPSONプリンタウィンドウ !3 が起動します。
本書 59 ページ「EPSON プリンタウィンドウ !3 とは」

②［モニタの設定］ボタン
EPSON プリンタウィンドウ !3 の動作環境を設定する場合にクリックします。
本書 60 ページ「モニタの設定」

EPSON プリンタウィンドウ !3 とは

EPSON プリンタウィンドウ !3 は、プリンタの状態をコンピュータ上でモニタできるユーティリティです。

EPSON プリンタウィンドウ !3 をお使いいただく前に

EPSON プリンタウィンドウ !3 をお使いいただく上での注意事項と制限事項について説明します。

- **Windows 95/98/Me で共有プリンタを監視する場合の注意事項**
  サーバ側とクライアント側において、コントロールパネルのネットワークおよび現在のネットワーク構成に、IPX/SPX 互換プロトコルあるいは TCP/IP プロトコルが設定されている必要があります。

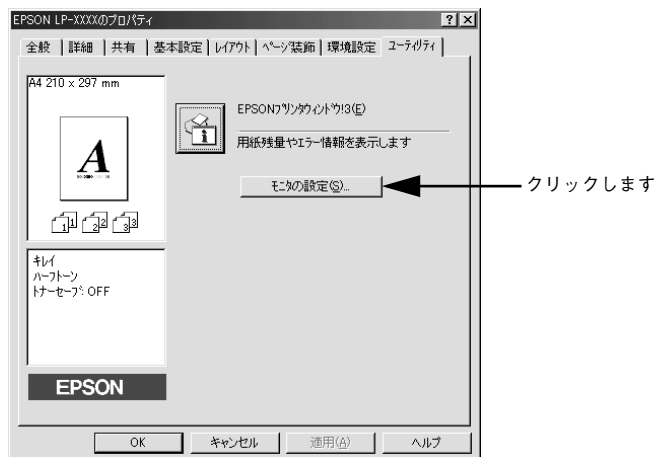
- **Windows XP をご使用時の制限事項**
  Windows XP のリモートデスクトップ機能 *1 を利用して、移動先のコンピュータに直接接続されたプリンタへ印刷することはできません。EPSON プリンタウィンドウ !3 に通信エラーが発生します。

  *1 移動先のモバイルコンピュータなどからオフィスネットワーク内のコンピュータ上にあるアプリケーションやファイルへアクセスし、操作することができる機能

モニタの設定

EPSON プリンタウィンドウ !3 のモニタ機能を設定します。どのような状態を画面表示するか、音声通知するか、共有プリンタをモニタするかなどを設定します。［モニタの設定］ダイアログを開く方法は、2 通りあります。

［方法 1］

プリンタのプロパティを開き、［ユーティリティ］の［モニタの設定］ボタンをクリックします。

［方法 2］

上記［方法 1］の［モニタの設定］から EPSON プリンタウィンドウ!3 の呼び出しアイコンを Windows のタスクバーに設定することができます。タスクバーにある呼び出しアイコンを、マウスの右ボタンでクリックして、メニューから［モニタの設定］をクリックします。

［モニタの設定］ダイアログ

<例> Windows XP の場合

①エラー表示の選択

選択項目にあるエラーまたはワーニング（警告）を、画面通知するかどうかを選択します。クリックしてチェックマークを付けると、チェックマークを付けたエラーまたはワーニングが発生したときにポップアップウィンドウが現われ、対処方法が表示されます。

②音声通知

エラー発生時に音声でも通知します。

お使いのコンピュータにサウンド機能がない場合、音声通知機能は使用できません。

③［標準に戻す］ボタン

［エラー表示の選択］を標準（初期）設定に戻します。

④アイコン設定

[呼び出しアイコン] をクリックしてチェックマークを付けると、EPSON プリンタウィンドウ !3 の呼び出しアイコンをタスクバーに表示します。表示するアイコンは、お使いのプリンタや好みに合わせてクリックして選択できます。

タスクバーに設定したアイコンをマウスで右クリックすると、メニューが表示されて［モニタの設定］ダイアログを開くことができます。

⑤共有プリンタをモニタさせる

ほかのコンピュータ（クライアント）から共有プリンタをモニタさせることができます。

本書 68 ページ「プリンタを共有するには」

共有プリンタに設定した場合は、必ずチェックマークを付けてください。チェックしないと、印刷に支障が出る場合があります。

⑥複数のユーザーでプリンタをモニタする（Windows XP）

Windows XP のマルチユーザー機能を使用してプリンタをモニタする場合は、この機能を有効にする必要があります。

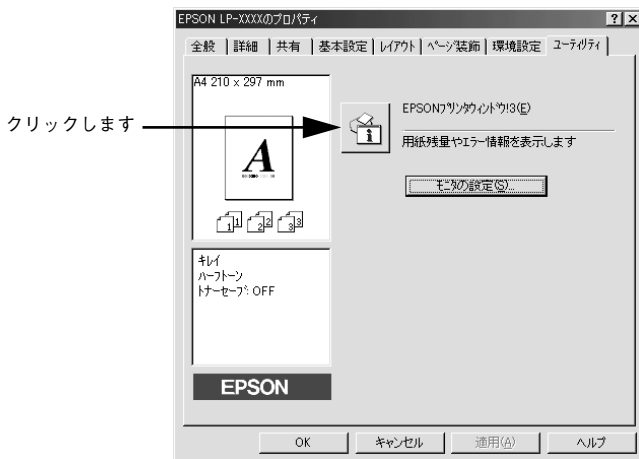
プリンタの状態を確かめるには

EPSON プリンタウィンドウ!3 でプリンタの状態を確かめるために、次の 2 通りの方法で［プリンタ詳細］ウィンドウを開くことができます。この［プリンタ詳細］ウィンドウは、消耗品などの詳細な情報も表示します。さらに、印刷中にエラーが発生した場合も［プリンタ詳細］ウィンドウを表示することができます。

本書 65 ページ「［プリンタ詳細］ウィンドウ」

［方法 1］

プリンタのプロパティを開き、［ユーティリティ］の［EPSON プリンタウィンドウ !3］アイコンをクリックします。プリンタプロパティの開き方は、次のページをご覧ください。

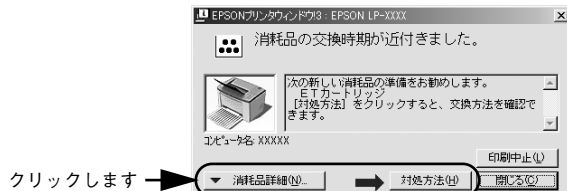
本書 26 ページ「プロパティの開き方」

［方法 2］

［方法 1］の画面にある［モニタの設定］から、EPSONプリンタウィンドウ !3 の呼び出しアイコンを、Windows のタスクバーに設定することができます。タスクバー上の呼び出しアイコンをダブルクリックするか、マウスの右ボタンで呼び出しアイコンをクリックしてからプリンタ名をクリックします。

本書 60 ページ「モニタの設定」

ポイント

アプリケーションソフトから印刷を実行中にエラーが発生した場合、プリンタの状態を示すポップアップウィンドウがコンピュータの画面上に表示されます。

- ［消耗品詳細］ボタンをクリックすると［プリンタ詳細］ウィンドウに切り替わります。
- エラーが発生して［対処方法］ボタンが表示された場合は、ボタンをクリックすると対処方法を説明するダイアログが表示されます。

［プリンタ詳細］ウィンドウ

EPSON プリンタウィンドウ !3 の［プリンタ詳細］ウィンドウは、プリンタの詳細な情報を表示します。

①アイコン / メッセージ

プリンタの状態に合わせてアイコンが表示され、状況をお知らせします。

②プリンタ / メッセージ

プリンタの状態を知らせたり、エラーが発生した場合にその状況や対処方法をメッセージでお知らせします。

☞ 本書 66 ページ「対処が必要な場合は」

③コンピュータ名

現在印刷中のコンピュータ名を表示します。

④［印刷中止］ボタン

現在処理中の印刷を中止して、データを削除します。プリンタが印刷動作を続行している時にクリックすると、他の印刷データを削除する場合がありますので注意してください。

⑤［閉じる］ボタン

ウィンドウを閉じるときにクリックします。

⑥用紙残量

給紙装置にセットされている用紙サイズと用紙残量の目安を表示します。

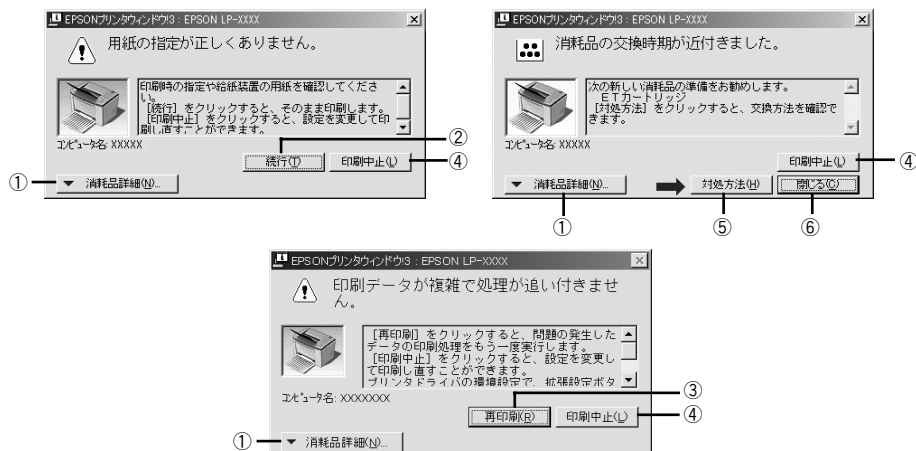
⑦トナー残量

ET カートリッジのトナー残量の目安を表示します。

⑧感光体ライフ

感光体ユニットがあとどれくらい使用できるか、寿命（ライフ）の目安を表示します。

対処が必要な場合は

プリンタに何らかの問題が起こった場合は、EPSON プリンタウィンドウ !3 のポップアップウィンドウがコンピュータのモニタに現れ、メッセージを表示します。メッセージに従って対処してください。エラーが解除されると自動的にウィンドウが閉じます。

ポップアップウィンドウの下側に、いくつかのボタンがあります。

①［消耗品詳細］ボタン

クリックすると、［プリンタ詳細］ウィンドウに切り替わり、消耗品の詳細な情報を表示します。

本書 65 ページ「［プリンタ詳細］ウィンドウ」

②［続行］ボタン

表示されているエラーを無視して印刷を続行します。続行すると画面と異なる状態で印刷されたり、エラーの発生したページが印刷されないことがあります。

③［再印刷］ボタン

問題の発生したページから印刷処理をもう一度行います。［環境設定］ダイアログの［ページエラー回避］が選択されていない（チェックマークを付けない）ときのみ表示される場合があります。

④［印刷中止］ボタン

現在処理中の印刷を中止して、データを削除します。プリンタが印刷動作を続行している時にクリックすると、他の印刷データを削除する場合がありますので注意してください。

⑤［対処方法］ボタン

順を追って対処方法を詳しく説明します。

⑥［閉じる］ボタン

ポップアップウィンドウを閉じます。メッセージを読んでからウィンドウを閉じてください。

共有プリンタを監視できない場合は

Windows 共有プリンタを監視できない場合は、以下の設定がされているかを確認してください。

- 共有プリンタを提供しているコンピュータ（プリントサーバ）上のネットワークコンピュータのプロパティを開き、ネットワークコンポーネントに Microsoft ネットワーク共有サービスが設定されていること。
- 共有プリンタを提供しているコンピュータ（プリントサーバ）上に、対応するプリンタのドライバがインストールされ、かつ、そのプリンタの共有設定がされていて、プリンタドライバの［ユーティリティ］ダイアログ内の［モニタの設定］で［共有プリンタをモニタさせる］にチェックマークが付いていること。

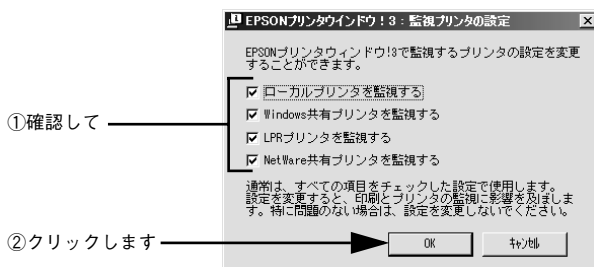
監視プリンタの設定

［監視プリンタの設定］ユーティリティは、EPSON プリンタウィンドウ !3 で監視するプリンタの設定を変更するためのユーティリティで、EPSON プリンタウィンドウ !3 とともにインストールされます。通常は設定を変更する必要はありません。何らかの理由で監視するプリンタの設定を変更したい場合のみご使用ください。

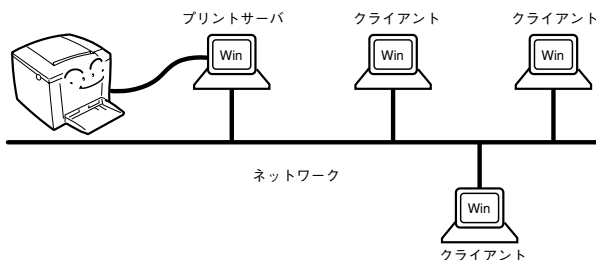
1 監視プリンタの設定ユーティリティを起動します。

Windows の［スタート］ボタンをクリックし、［プログラム］から［Epson］にカーソルを合わせてから、［監視プリンタの設定］をクリックします。

2 監視しないプリンタのチェックボックスをクリックしてチェックマークを外し、［OK］ボタンをクリックして、ダイアログを閉じます。

［キャンセル］ボタンをクリックすると設定した内容をキャンセルします。

以上で設定は終了です。

プリンタを共有するには

Windows のネットワーク環境では、コンピュータに直接接続したプリンタをほかのコンピュータから共有することができます。ネットワークで共有するプリンタをネットワークプリンタと呼びます。プリンタを直接接続するコンピュータは、プリンタの共有を許可するプリントサーバの役割をはたします。ほかのコンピュータはプリントサーバに印刷許可を受けるクライアントになります。クライアントは、プリントサーバを経由してプリンタを共有することになります。

Windows のバージョンとアクセス権（Windows NT4.0/2000/XP）によって、ネットワークプリンタの設定方法（プリンタドライバのインストール方法）が異なります。設定を始める前に、必ず以下のページを参照してください。

☞ スタートアップガイド 19 ページ「Windows のプリンタ共有機能を使用したネットワークプリンタのセットアップ」

ここでは、プリンタを共有させるためのプリントサーバと、共有プリンタを利用するクライアントそれぞれの設定方法を説明します。お使いの Windows のバージョンに応じた設定手順に従ってください。また、ここではプリントサーバにはすでに本機のプリンタドライバがインストールされているものとして説明します。

- プリントサーバ側の設定

☞ 本書 69 ページ「Windows 95/98/Me プリントサーバの設定」
☞ 本書 72 ページ「Windows NT4.0/2000/XPプリントサーバの設定と代替/追加ドライバのインストール」

- クライアント側の設定

☞ 本書 85 ページ「Windows 95/98/Me クライアントでの設定」
☞ 本書 89 ページ「Windows NT4.0 クライアントでの設定」
☞ 本書 91 ページ「Windows 2000/XP クライアントでの設定」

- 共有プリンタのプリントサーバ側で必ず共有プリンタをモニタできるようにEPSON プリンタウィンドウ !3 を設定してください。
  ☞ 本書 60 ページ「モニタの設定」
- 本章の設定方法は、ネットワーク環境が構築されていること、プリントサーバとクライアントが同一ネットワーク管理下にあることが前提となります。
- 画面は Microsoft ネットワークの場合です。

プリントサーバの設定

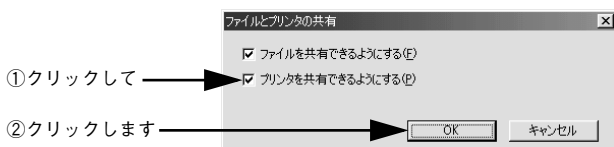
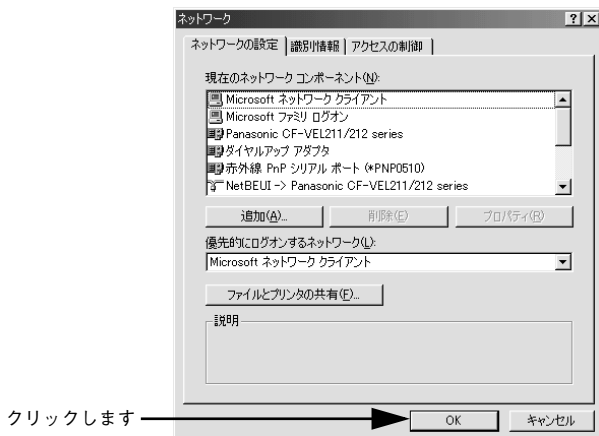
Windows 95/98/Me プリントサーバの設定

Windows 95/98/Me が稼働するプリントサーバを設定する場合は、以下の手順に従ってください。

1. Windows の［スタート］ボタンをクリックして、カーソルを［設定］に合わせ、［コントロールパネル］をクリックします。

2. ［ネットワーク］アイコンをダブルクリックします。

3. ［ファイルとプリンタの共有］ボタンをクリックします。

4 ［プリンタを共有できるようにする］のチェックボックスをクリックしてチェックマークを付け、［OK］ボタンをクリックします。

5 ［OK］ボタンをクリックします。

ポイント

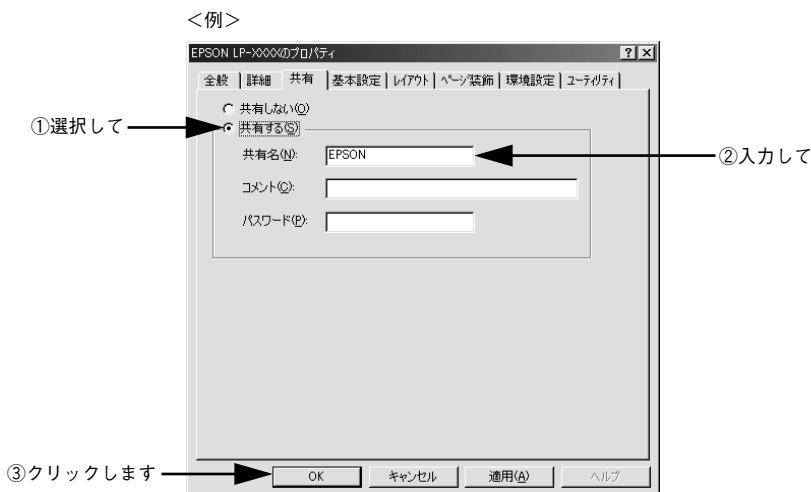
- ［ディスクの挿入］メッセージが表示された場合は、Windows 95/98/Me のCD-ROM をコンピュータにセットし、［OK］ボタンをクリックして画面の指示に従ってください。
- 再起動を促すメッセージが表示された場合は、再起動してください。その後、1 の手順でコントロールパネルを開いて 6 から設定してください。

6 コントロールパネル内の［プリンタ］アイコンをダブルクリックします。

7 LP-1300のアイコンを選択して、［ファイル］メニューの［共有］をクリックします。

8 ［共有する］を選択して、［共有名］を入力し、［OK］ボタンをクリックします。

必要に応じて、［コメント］と［パスワード］を入力します。

<例>

エラーが発生する場合がありますので共有名には□（スペース）やー（ハイフン）を使用しないでください。

9 EPSONプリンタウィンドウ!3の［モニタの設定］ダイアログで［共有プリンタをモニタさせる］をチェックします。

本書60ページ「モニタの設定」

これでプリンタを共有させるためのプリントサーバの設定が完了しました。続いて各クライアント側の設定を行ってください。

本書85ページ「クライアントの設定」

Windows NT4.0/2000/XP プリントサーバの設定と代替 / 追加ドライバのインストール

Windows NT4.0/2000/XPが稼働するコンピュータをプリントサーバとして設定する場合は、以下の手順に従ってください。また、代替 / 追加ドライバをプリントサーバにインストールする手順も同時に説明します。

- 代替/追加ドライバは、クライアントのプリンタドライバインストール作業を簡略化するためのものです。クライアント用の代替/追加ドライバをプリントサーバにインストールしておくと、クライアントごとにEPSON プリンタソフトウェア CD-ROM を用意しなくてもプリンタドライバのインストールが、自動的に行えるようになります。
- Windows NT4.0/2000 の場合は管理者権限（Administrators）のあるユーザーとして、Windows XP の場合は「コンピュータの管理者」アカウントのユーザーとしてログオンする必要があります。
- Windows NT4.0で代替/追加ドライバ機能を使用する場合は、Windows NT4.0 Service Pack 4 以降が対象となります。
- クライアントとサーバが同じ OS の場合は、代替 / 追加ドライバをインストールする必要がありません。
- 代替 / 追加ドライバ機能は、Windows NT4.0 では「代替ドライバ」、Windows 2000/XP では「追加ドライバ」と表示されます。

1 Windows の［スタート］メニューから［プリンタ]/［プリンタと FAX］を開きます。

- **Windows NT4.0/2000 の場合**

［スタート］ボタンをクリックして［設定］にカーソルを合わせ、［プリンタ］をクリックします。

- **Windows XP の場合**

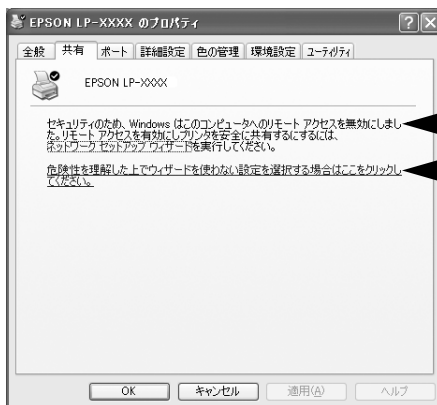
① ［スタート］ボタンをクリックして［コントロールパネル］をクリックします。
［スタート］メニューに［プリンタと FAX］が表示されている場合は、［プリンタと FAX］をクリックして、**2** へ進みます。

② ［プリンタとその他のハードウェア］をクリックします。

③ ［プリンタと FAX］をクリックします。

2 LP-1300のアイコンを選択して、［ファイル］メニューの［共有］をクリックします。

ポイント

Windows XPで以下のダイアログが表示された場合は、どちらかを選択し、画面の指示に従ってプリンタ共有の準備をします。

3 **［共有する］/［このプリンタを共有する］を選択して、［共有名］を入力します。**

Windows XP の場合は、［このプリンタを共有する］を選択して［共有名］を入力します。

<例>Windows NT4.0

エラーが発生する場合がありますので共有名には□（スペース）や－（ハイフン）を使用しないでください。

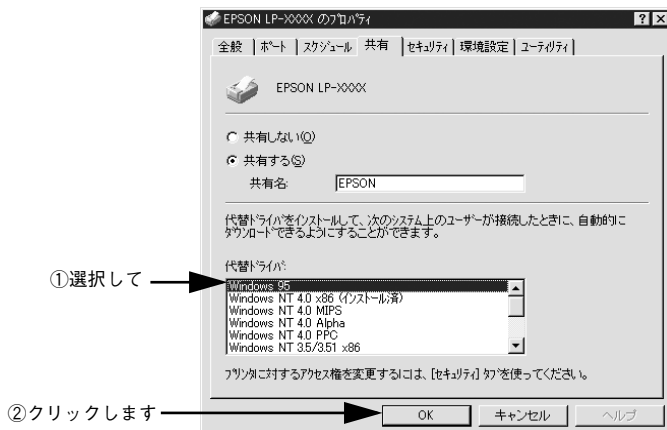
- 代替 / 追加ドライバをインストールする場合は、次の **4** へ進んでください。
- 代替 / 追加ドライバをインストールしない場合は、［OK］ボタンをクリックして、以下のページへ進んで各クライアント側の設定を行ってください。

☞ 本書 85 ページ「Windows 95/98/Me クライアントでの設定」
☞ 本書 89 ページ「Windows NT4.0 クライアントでの設定」
☞ 本書 91 ページ「Windows 2000/XP クライアントでの設定」
☞ 本書 97 ページ「クライアントでEPSONプリンタソフトウェアCD-ROMが必要な場合　（インストールの続き）」

4 **クライアント用にインストールする代替 / 追加ドライバを選択します。**

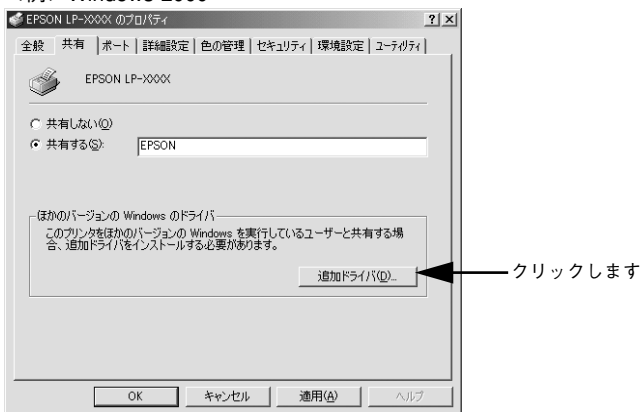
- **Windows NT4.0 プリントサーバの場合：**

① クライアントの Windows バージョンを選択します（クリックして、ハイライトさせます）。
Windows 95/98/Me クライアント用の代替 / 追加ドライバをインストールする場合は、[Windows 95] をクリックして選択します。

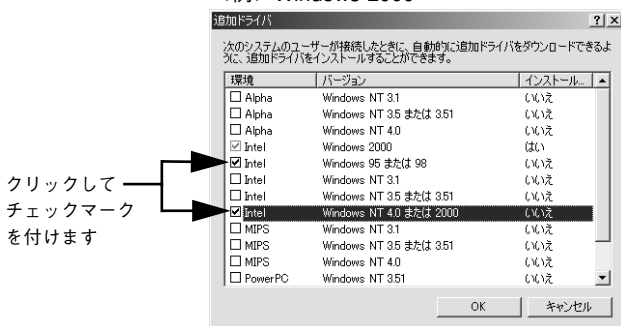
② [OK] ボタンをクリックします。

- Windows NT4.0 クライアント用の代替 /追加ドライバ[Windows NT 4.0 x86] はインストール済みのため、選択する必要はありません。
- [Windows 95] 以外の代替 / 追加ドライバは選択しないでください。本機のプリンタドライバが対応していない OS の代替ドライバはインストールできません。

- **Windows 2000/XP サーバの場合：**

① ［追加ドライバ］ボタンをクリックします。

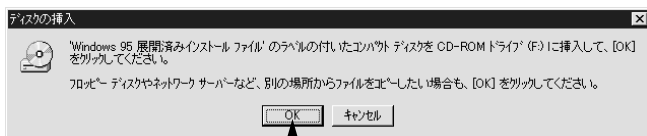
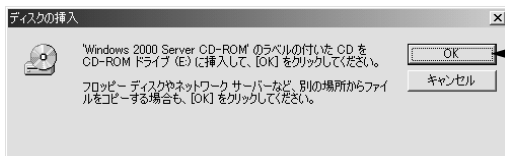
＜例＞Windows 2000

② クライアントの Windows バージョンを選択します（チェックボックスをクリックしてチェックマークを付けます）。

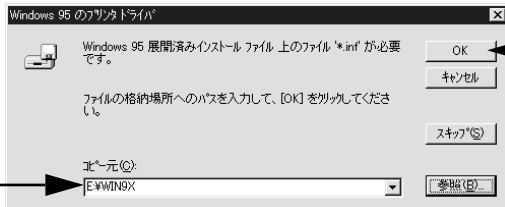
サーバ OS	クライアント OS	選択項目
Windows 2000	Windows 95/98/Me	Intel Windows 95 または 98
	Windows NT4.0	Intel Windows NT 4.0 または2000
Windows XP	Windows 95/98/Me	Intel Windows 95、98、および Me
	Windows NT4.0	Intel Windows NT4.0 または 2000

＜例＞Windows 2000

- Windows 2000/XP 専用のプリンタドライバ［Intel Windows 2000］/［Intel Windows 2000 または XP］はインストール済みのため、選択する必要はありません。
- 指定以外の追加ドライバは選択しないでください。本機のプリンタドライバが対応していない OS の追加ドライバはインストールできません。

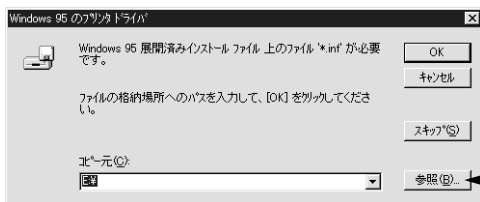
③ ［OK］ボタンをクリックします。

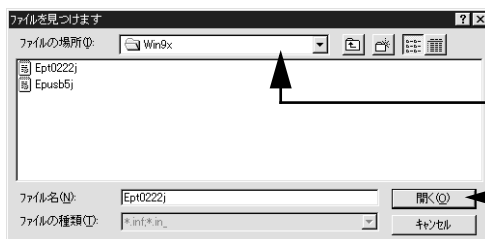
5 以下のメッセージが表示されたら、本機のEPSONプリンタソフトウェアCD-ROMをコンピュータにセットして［OK］ボタンをクリックします。

<例> Windows NT4.0 の場合

<例> Windows 2000 の場合

*CD-ROM ドライブの記号は環境によって異なります。

6 メッセージに表示されたクライアント用のプリンタドライバが収録されているドライブ名とディレクトリ名を半角文字で入力し、［OK ］ボタンをクリックします。
4 で複数のクライアントを選択した場合は、5 へ戻ります。

* クライアント OS によってメッセージは多少異なります。

クライアントの OS	Windows 95/98/Me	Windows NT4.0	Windows 2000/XP
セット先ドライブ例	D ドライブ E ドライブ		
入力例	D:¥WIN9X E:¥WIN9X	D:¥WINNT40 E:¥WINNT40	D:¥WIN2000 E:¥WIN2000

ポイント

- 入力方法がわからない場合は、以下の手順で指定することができます。
①［参照］ボタンをクリックします。

②入力例に記載されているご利用の OS フォルダを［ファイルの場所］から選択します。

- Windows 2000/XP をご使用の場合は［デジタル署名が見つかりませんでした］といったメッセージを表示するダイアログが表示されることがあります。この場合は［はい］または［続行］をクリックして、そのままインストール作業を進めてください。本機に添付のプリンタドライバであれば問題なくお使いいただけます。

7 Windows 2000/XP の場合は、[閉じる] ボタンをクリックしてプロパティを閉じます。

Windows NT4.0 の場合は、代替 / 追加ドライバがインストールされるとプロパティは自動的に閉じます。

ポイント

ネットワークプリンタに対するセキュリティ（クライアントのアクセス許可）を設定してください。印刷が許可されないクライアントは、プリンタを共有できません。詳しくは Windows のヘルプを参照してください。

8 EPSON プリンタウィンドウ !3 の［モニタの設定］ダイアログで［共有プリンタをモニタさせる］をチェックします。

☞ 本書 60 ページ「モニタの設定」

これでプリンタを共有させるためのプリントサーバの設定が完了しました。続いて各クライアント側の設定を行ってください。ただし Windows XP の場合は、その前に中間スプールフォルダを必ず設定してください。

☞ 本書 79 ページ「Windows XP 中間スプールフォルダの設定」
☞ 本書 85 ページ「クライアントの設定」

Windows XP 中間スプールフォルダの設定

プリントサーバに Windows XP を使ってプリンタを共有する場合は、プリンタの中間スプールフォルダを以下のように設定する必要があります。
① 任意のフォルダを作成します
② そのフォルダを、どのユーザーの印刷データでも処理できるようにします
③ そのフォルダを、中間スプールフォルダとして設定します

これにより、クライアントから送られた印刷データをプリントサーバでスプール（一時的に保存）して共有プリンタで印刷できるようになります。なお、Windows XP Professional と Home Edition とでは、設定の手順が異なります。Home Edition では、上記①、②の操作は不要です。お使いの OS に合った手順に従ってください。

ポイント

次の操作は、Windows XP の「コンピュータの管理者」アカウントのユーザーとしてログオンする必要があります。

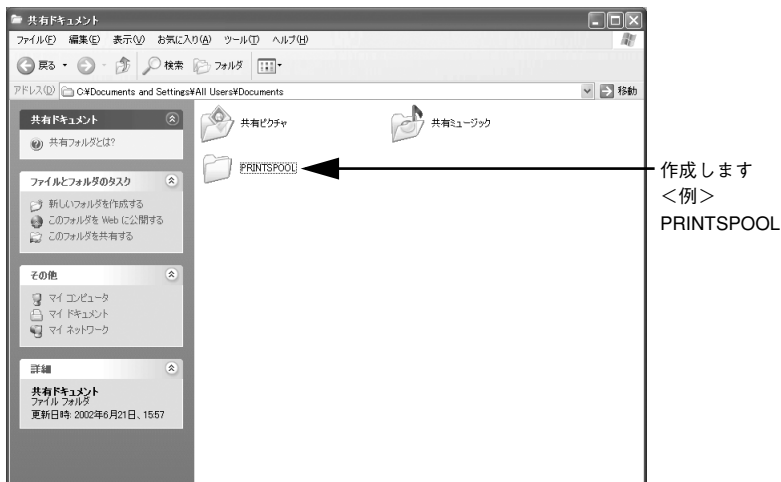
Windows XP Professionalでの中間スプールフォルダ設定

Windows XP Professional をプリントサーバにする場合は、以下の手順に従って中間スプールフォルダを設定してください。中間スプールフォルダは、任意の場所に、任意の名称で作成可能ですが、ここでは例として共有ドキュメントフォルダに作成する方法を説明します。

1. **Windows の［スタート］－［マイコンピュータ］の順にクリックします。**

2. **画面に表示された共有ドキュメントをダブルクリックして、共有ドキュメントフォルダを開きます。**

3 画面左側の［新しいフォルダを作成する］をクリックし、フォルダを作成します。

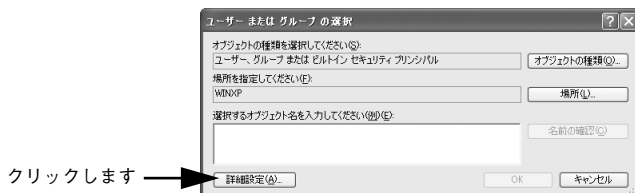
フォルダ名は任意に設定できます。14 で中間スプールフォルダに設定するとき、ここで設定したフォルダ名を指定します。

4 3 で作成したフォルダを右クリックして、［プロパティ］を選択します。

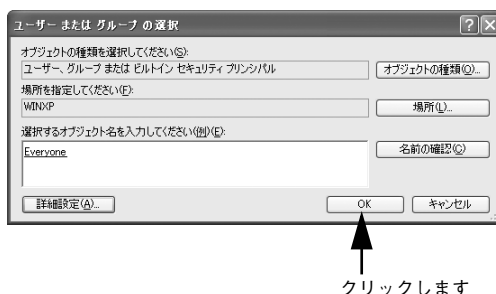
5 ［セキュリティ］タブをクリックします。

ここで、［グループ名またはユーザー名］に［Everyone］がすでに表示されている場合は、9へ進みます。［Everyone］がない場合、画面中央の［追加］ボタンをクリックします。

ポイント

［セキュリティ］タブが表示されない場合は、3 の［共有ドキュメント］ウィンドウに戻り［ツール］－［フォルダオプション］をクリックします。フォルダオプションウィンドウの［表示］タブをクリックし、［簡易ファイルの共有を使用する］のチェックマークを外してから、再度 4 でフォルダのプロパティを開きます。

6 ［詳細設定］ボタンをクリックします。

7 ［今すぐ検索］ボタンをクリックし、表示される名前の中から［Everyone］を選択して［OK］ボタンをクリックします。

8 ［OK］ボタンをクリックしてダイアログを閉じます。

9. ［セキュリティ］タブの［グループ名またはユーザー名］から［Everyone］を選択して、［Everyone のアクセス許可］の中から［読み取り］と［書き込み］の項目を［許可］に設定します。

［Everyone］の［読み取り］と［書き込み］がすでに許可（チェック）されていれば、設定を変更しないでそのまま ⑩ へ進みます。

10. ［OK］ボタンをクリックしてダイアログを閉じます。

11. ［スタート］－［コントロールパネル］－［プリンタとその他のハードウェア］－［プリンタと FAX］の順にクリックします。

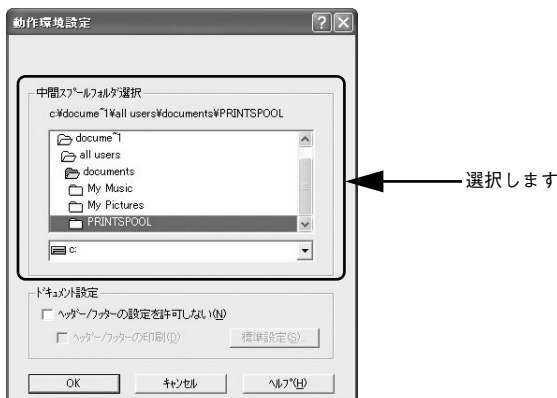
12. お使いのプリンタのアイコンを右クリックして、［プロパティ］を選択します。

13. ［環境設定］タブをクリックし、［動作環境設定］ボタンをクリックします。

14. ❸ で作成したフォルダを、中間スプールフォルダに設定します。

＜例＞

動作環境設定
中間スプールフォルダ選択
c:¥docume~1¥all users¥documents¥PRINTSPOOL
docume~1
all users
documents
My Music
My Pictures
PRINTSPOOL
c:
ドキュメント設定
ヘッダー/フッターの設定を許可しない(N)
ヘッダー/フッターの印刷(D)
標準設定(S)...
OK
キャンセル
ヘルプ(H)

選択します

15. ［OK］ボタンをクリックします。

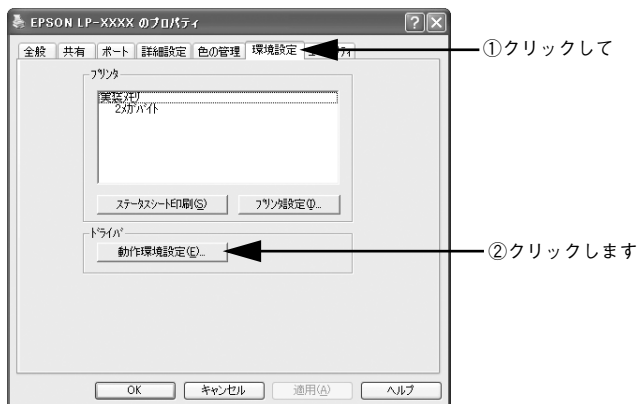
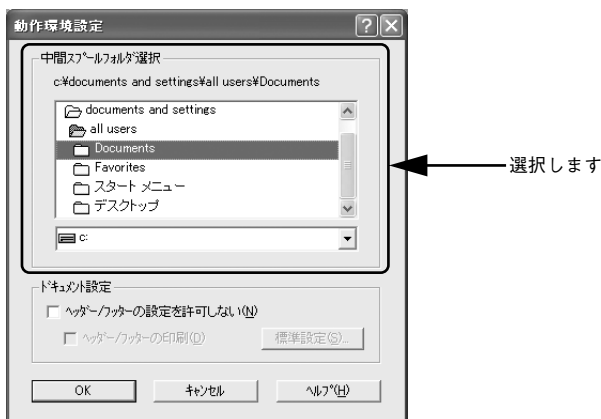
以上で中間スプールフォルダの設定は終了です。続いて各クライアント側の設定を行ってください。
本書 85 ページ「クライアントの設定」

Windows XP Home Editionでの中間スプールフォルダ設定

Windows XP Home Editionをプリントサーバにする場合は、以下の手順に従って中間スプールフォルダを設定してください。

1. ［スタート］－［コントロールパネル］－［プリンタとその他のハードウェア］－［プリンタと FAX］の順にクリックします。

2. お使いのプリンタのアイコンを右クリックして、［プロパティ］を選択します。

3 ［環境設定］タブをクリックし、［動作環境設定］ボタンをクリックします。

4 中間スプールフォルダを［c:¥documents and settings¥all users ¥Documents (Windows XP が C ドライブにインストールされている場合)］に設定します。

5 ［OK］ボタンをクリックします。

以上で中間スプールフォルダの設定は終了です。続いて各クライアント側の設定を行ってください。

本書 85 ページ「クライアントの設定」

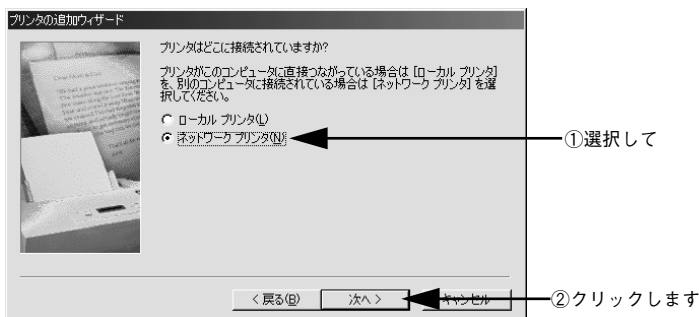
クライアントの設定

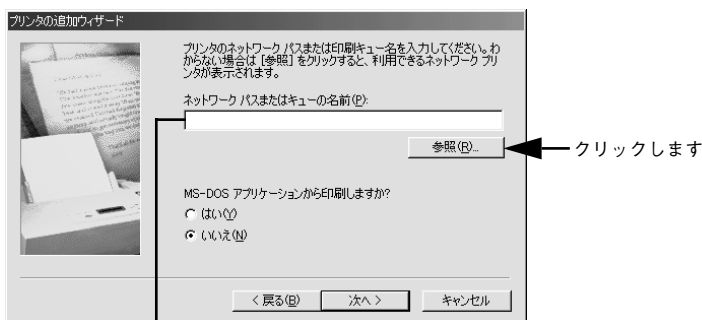
ここでは、ネットワーク環境が構築されている状態で、ネットワークプリンタに接続してプリンタドライバをインストールする方法を説明します。

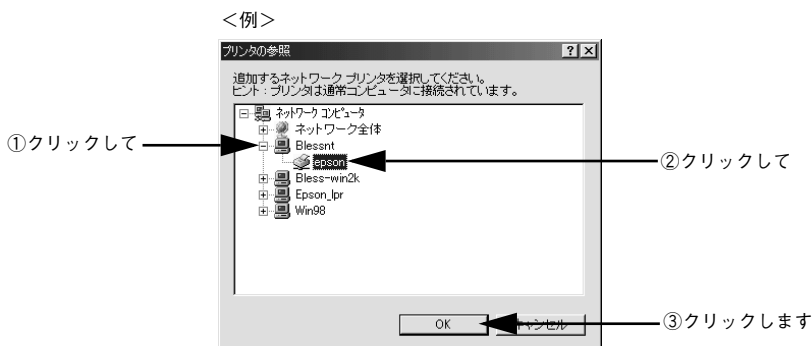
- Windowsでプリンタを共有する場合は、プリントサーバを設定する必要があります。プリントサーバ側の設定については、以下のページを参照してください。
  スタートアップガイド19ページ「Windowsのプリンタ共有機能を使用したネットワークプリンタのセットアップ」
  本書69ページ「プリントサーバの設定」
- ここでは、サーバを使用した環境での一般的な（Microsoft ワークグループ）接続方法について説明します。ご利用の環境によっては以下の手順で接続できない場合もあります。その場合は、ネットワーク管理者にご相談ください。
- ここでは、［プリンタ］フォルダからネットワークプリンタに接続してプリンタドライバをインストールする方法を説明します。Windowsデスクトップ上の［ネットワークコンピュータ］や［マイネットワーク］からネットワークプリンタへ接続してプリンタドライバをインストールすることもできます。最初の接続方法が異なるだけで、基本的な設定方法はここでの説明と同じです。

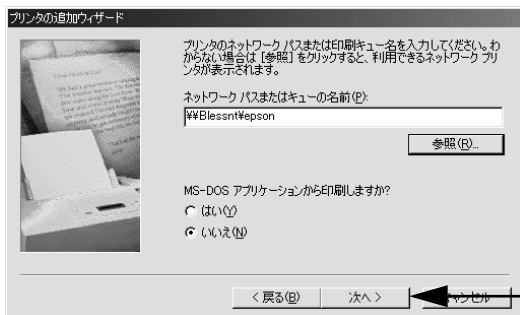
Windows 95/98/Me クライアントでの設定

Windows 95/98/Meが稼働するクライアントを設定する場合は、以下の手順に従ってください。

1. Windowsの［スタート］ボタンをクリックし、［設定］にカーソルを合わせ［プリンタ］をクリックします。
2. ［プリンタの追加］アイコンをダブルクリックし、［次へ］ボタンをクリックします。
3. ［ネットワークプリンタ］を選択してから、［次へ］ボタンをクリックします。

4 ［参照］ボタンをクリックします。

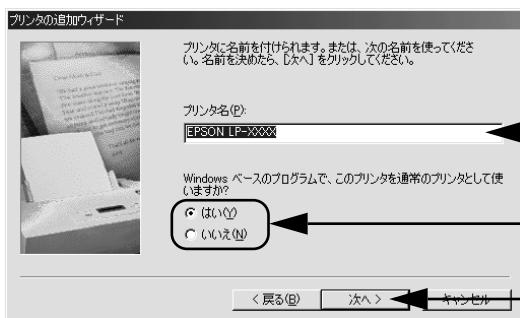
ご利用のネットワーク構成図が表示されます。

5 プリンタが接続されているコンピュータ（またはサーバ）の［+］をクリックし、ネットワークプリンタの名前をクリックして［OK］ボタンをクリックします。

<例>

プリンタが接続されているコンピュータ（またはサーバ）が、プリンタの名称を変更している場合があります。ご利用のネットワークの管理者にご確認ください。

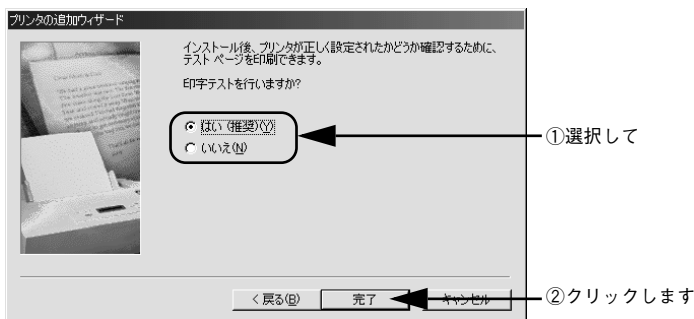
6 ［次へ］ボタンをクリックします。

すでに該当機種のプリンタドライバがインストールされている場合は、既存のプリンタドライバを使用するか、新しいプリンタドライバを使用するか選択する必要があります。選択を促すダイアログが表示されたら、メッセージに従って選択してください。

- プリントサーバが Windows 95/98/Me の場合や、Windows NT4.0/2000/XP プリントサーバに Windows 95/98/Me 用の代替 / 追加ドライバをインストールしている場合は、次の 7 へ進みます。
- Windows NT4.0/2000/XPプリントサーバに代替/ 追加ドライバをインストールしていない場合は、以下のページへ進みます。

本書97 ページ「クライアントでEPSONプリンタソフトウェアCD-ROM が必要な場合 （インストールの続き）」

7 接続するネットワークプリンタ名を確認し、通常使うプリンタとして使用するかどうかを選択して、［次へ］ボタンをクリックします。

プリンタ名を変更することができます。変更したプリンタ名は、クライアントコンピュータ上での名前となります。

8 **テストページを印刷するかどうかを選択して［完了］ボタンをクリックします。**

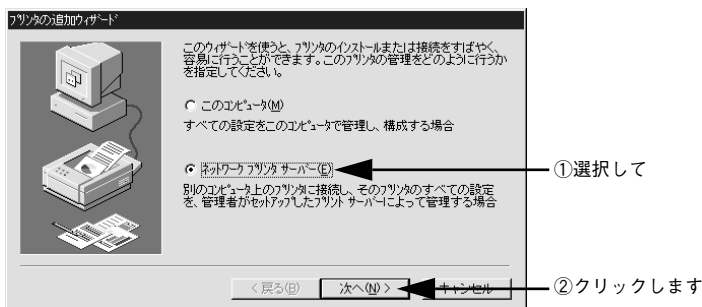
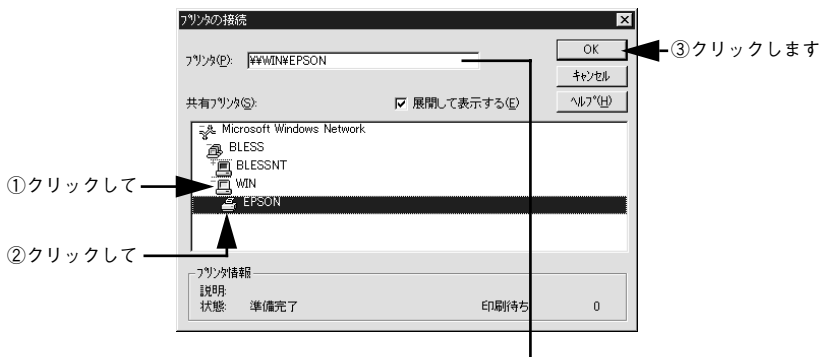
印字テストを行う場合は、プリンタドライバのインストールが終了すると自動的に印字テストを行います。印字テストの終了ダイアログが表示されたら、正しくテストページが印刷されたかどうか確認して、［はい］または［いいえ］ボタンをクリックして対処してください。

以上でクライアントの設定は終了です。

Windows NT4.0 クライアントでの設定

Windows NT4.0 が稼働するクライアントを設定する場合は、以下の手順に従ってください。

1. Windows の［スタート］ボタンをクリックし、［設定］にカーソルを合わせ［プリンタ］をクリックします。

2. ［プリンタの追加］アイコンをダブルクリックします。

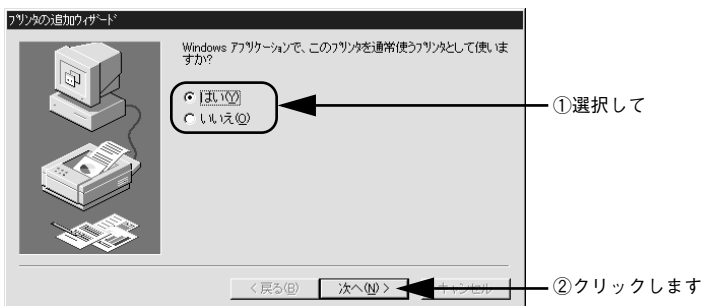
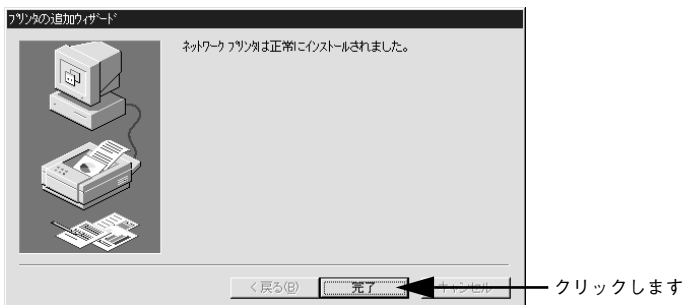
3. ［ネットワークプリンタサーバ］を選択してから、［次へ］ボタンをクリックします。

4. プリンタが接続されているコンピュータ（またはサーバ）をクリックし、ネットワークプリンタの名前をクリックして［OK］ボタンをクリックします。

入力欄に以下の書式で直接入力（半角文字）することもできます。
¥¥ 目的のプリンタが接続されているコンピュータ名 ¥ 共有プリンタ名

ポイント

- プリンタが接続されているコンピュータ（またはサーバ）が、プリンタの名称を変更している場合があります。ご利用のネットワークの管理者にご確認ください。
- すでに該当機種のプリンタドライバがインストールされている場合は、既存のプリンタドライバを使用するか、新しいプリンタドライバを使用するか選択する必要があります。選択を促すダイアログが表示されたら、メッセージに従って選択してください。

- プリントサーバOS がWindows NT4.0/2000/XP で代替/追加ドライバ機能が使用できる場合は、次の 5 へ進みます。
- 代替 / 追加ドライバ機能が使用できない場合は、以下のページへ進みます。

本書97 ページ「クライアントでEPSONプリンタソフトウェアCD-ROM が必要な場合 （インストールの続き）」

5 通常使うプリンタとして使用するかどうかを選択して、［次へ］ボタンをクリックします。

6 ［完了］ボタンをクリックします。

以上でクライアントの設定は終了です。

Windows 2000/XP クライアントでの設定

Windows 2000/XP が稼働するクライアントを設定する場合は、以下の手順に従ってください。

ポイント

クライアント OS にログオンするユーザーのアクセス権によって、インストール方法が異なります。詳しくは以下のページを参照してください。

スタートアップガイド 19 ページ「クライアント側でのインストール方法」

1 Windows の［スタート］メニューから［プリンタ]/［プリンタと FAX］を開きます。

- **Windows 2000 の場合**

［スタート］ボタンをクリックして［設定］にカーソルを合わせ、［プリンタ］をクリックします。

- **Windows XP の場合**

① ［スタート］ボタンをクリックして［コントロールパネル］をクリックします。
［スタート］メニューに［プリンタと FAX］が表示されている場合は、［プリンタと FAX］をクリックして、2 へ進みます。

② ［プリンタとその他のハードウェア］をクリックします。

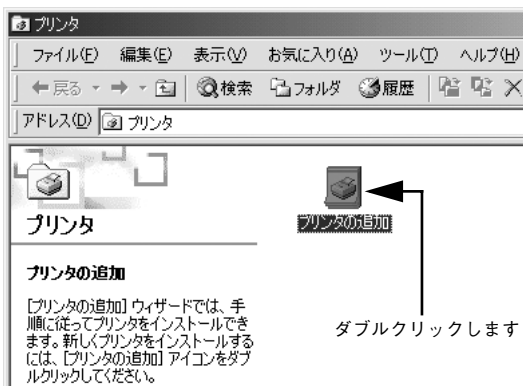
③ ［プリンタと FAX］をクリックします。

ポイント

Windows XP の場合は［プリンタとその他のハードウェア］画面で［プリンタを追加する］をクリックしてプリンタの追加ウィザードを起動することもできます。起動後最初に表示された［プリンタの追加ウィザードの開始］画面で［次へ］をクリックして、3 へ進んでください。

2 プリンタの追加ウィザードを起動します。

- Windows 2000 の場合

①［プリンタの追加］アイコンをダブルクリックします。

②［プリンタの追加ウィザードの開始］画面で［次へ］ボタンをクリックします。

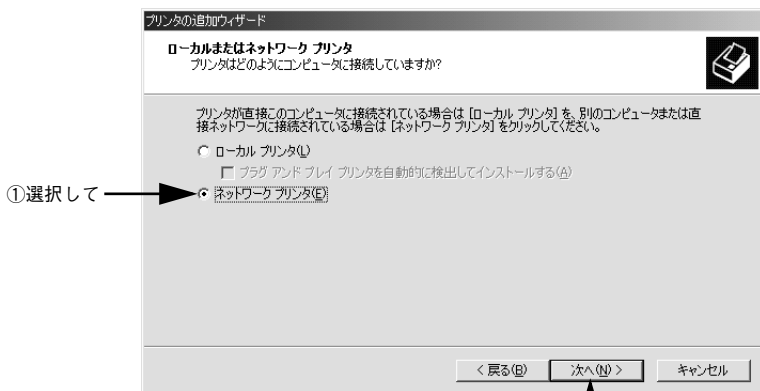
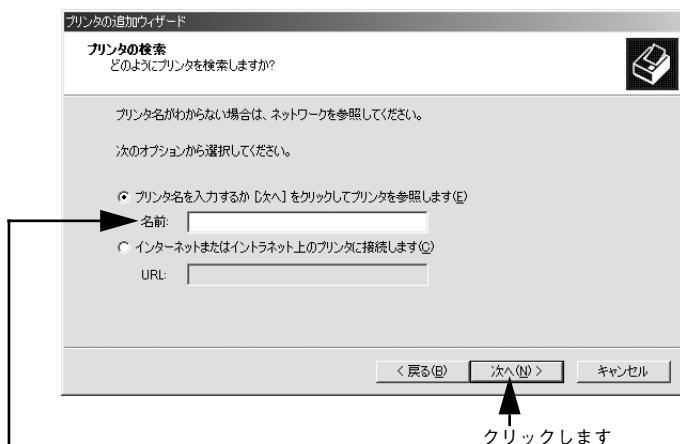
- Windows XP の場合

①［プリンタのタスク］の［プリンタのインストール］をクリックします。

②［プリンタの追加ウィザードの開始］画面で［次へ］ボタンをクリックします。

3 **使用する共有プリンタを探します。**

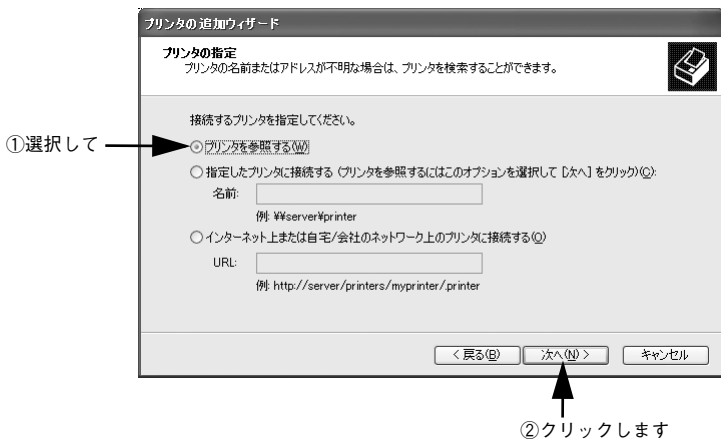
- **Windows 2000の場合**

①［ネットワークプリンタ］を選択して［次へ］ボタンをクリックします。

②［プリンタ名を入力するか［次へ］をクリックしてプリンタを参照します］が選択されていることを確認して、［次へ］ボタンをクリックします。

入力欄に以下の書式で直接入力（半角文字）することもできます。
¥¥目的のプリンタが接続されているコンピュータ名¥共有プリンタ名

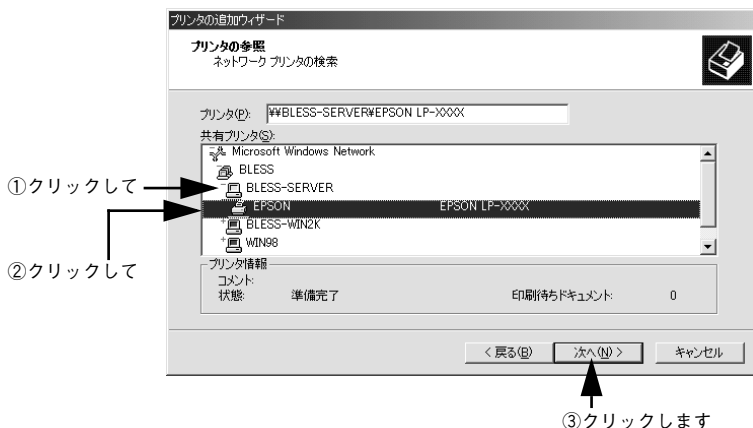
ネットワーク上のプリンタの位置がわかっている場合は、［名前］ボックスに直接入力できますが、ここではわからないことを前提に説明を進めます。

• Windows XP の場合

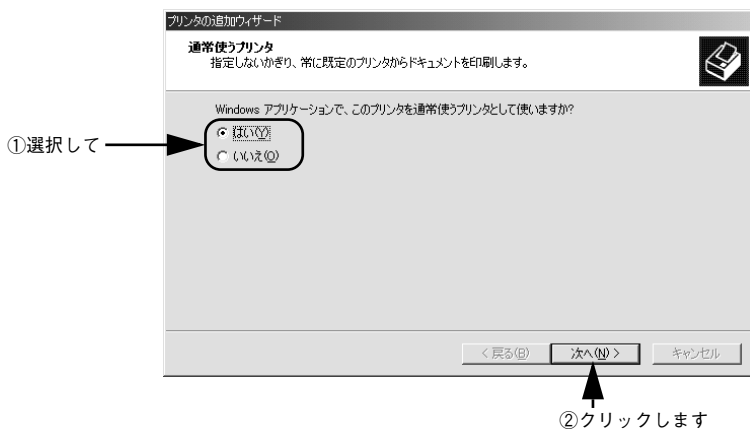
① [ネットワークプリンタ、またはほかのコンピュータに接続されているプリンタ] を選択し、[次へ] ボタンをクリックします。

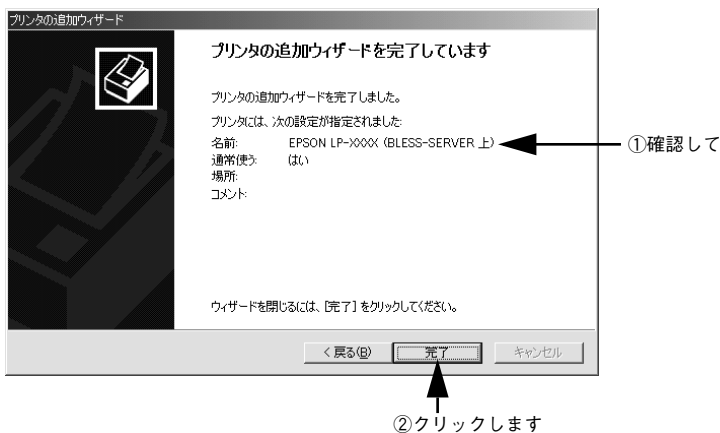
② [プリンタを参照する] を選択し、[次へ] ボタンをクリックします。

ネットワーク上のプリンタの位置がわかっている場合は、[指定したプリンタに接続する] をクリックして [名前] ボックスに直接入力できますが、ここではわからないことを前提に説明を進めます。

4 プリンタが接続されているコンピュータ（またはサーバ）をクリックし、ネットワークプリンタの名前をクリックして［次へ］ボタンをクリックします。

<例>Windows 2000

- プリンタが接続されているコンピュータ（またはサーバ）が、プリンタの名称を変更している場合があります。ご利用のネットワークの管理者にご確認ください。
- すでに該当機種のプリンタドライバがインストールされている場合は、既存のプリンタドライバを使用するか、新しいプリンタドライバを使用するか選択する必要があります。選択を促すダイアログが表示されたら、メッセージに従って選択してください。

- プリントサーバOSがWindows 2000/XPで、代替/追加ドライバ機能が使用できる場合は、次の 5 へ進みます。
- 代替/追加ドライバ機能が使用できない場合は、以下のページへ進みます。
  ☞ 本書97ページ「クライアントでEPSONプリンタソフトウェアCD-ROMが必要な場合 （インストールの続き）」

5 Windows 2000/XP の場合、通常使うプリンタとして利用するかどうかを選択して、［次へ］ボタンをクリックします。

6 設定内容を確認して［完了］ボタンをクリックします。

<例> Windows 2000

以上でクライアントの設定は終了です。

クライアントで EPSON プリンタソフトウェア CD-ROM が必要な場合（インストールの続き）

Windows NT4.0/2000/XPプリントサーバに代替 / 追加ドライバをインストールしていない場合や、Windows 95/98/Me プリントサーバと Windows NT4.0/2000/XP クライアントの組み合わせの場合は、クライアントでネットワークプリンタに接続してから以下の手順を続けてください。Windows のバージョンによって画面が多少異なりますが、基本的な手順は同じです。

- Windows NT4.0/2000 の場合は管理者権限（Administrators）のあるユーザーとして、Windows XP の場合は「コンピュータの管理者」アカウントのユーザーとしてログオンする必要があります。
- 代替/追加ドライバをインストールしている場合や、プリントサーバとクライアントで稼働する Windows が同じバージョンの場合は、プリンタドライバは自動的にインストールされますので、以降の手順は必要ありません。

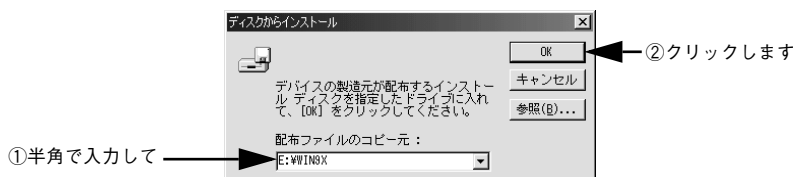
1 **ネットワークプリンタに接続して以下のような画面が表示されたら、［OK］ボタンをクリックします。**

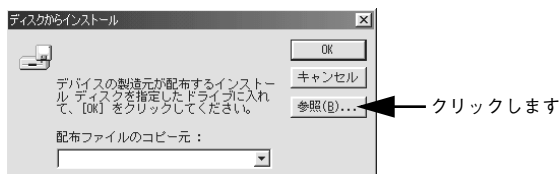
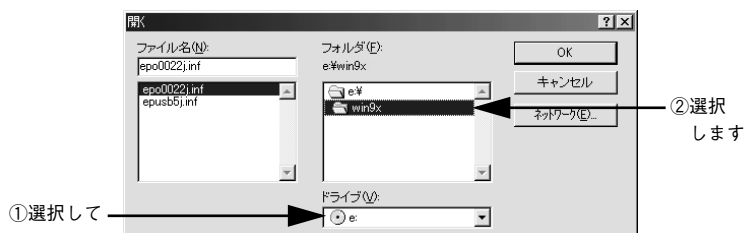
<例> Windows NT4.0 の場合

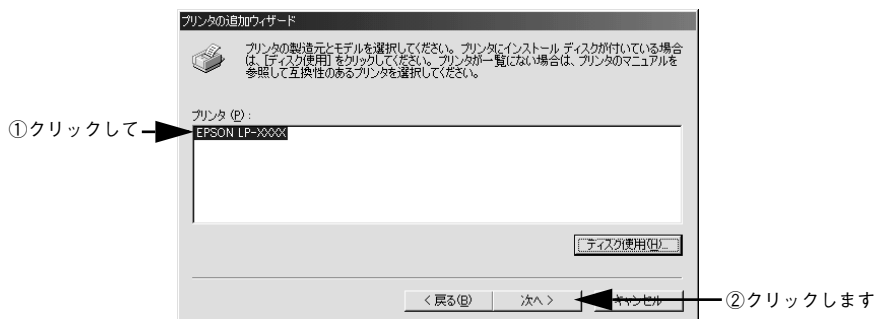
2 **［ディスク使用］ボタンをクリックします。**

同梱の EPSON プリンタソフトウェア CD-ROM からプリンタドライバをインストールします。

3 **EPSON プリンタソフトウェア CD-ROM をコンピュータにセットします。**

4 プリンタドライバが収録されているドライブ名とディレクトリ名を半角文字で入力し、［OK ］ボタンをクリックします。

クライアントの OS	Windows 95/98/Me	Windows NT4.0	Windows 2000/XP
セット先ドライブ例	D ドライブ E ドライブ		
入力例	D:¥WIN9X E:¥WIN9X	D:¥WINNT40 E:¥WINNT40	D:¥WIN2000 E:¥WIN2000

- 入力方法がわからない場合は、以下の手順で指定することができます。
  ①［参照］ボタンをクリックします。

  ②［ドライブ］または［ファイルの場所］から［CD-ROM］のアイコンを選択し、入力例に記載されているご利用の OS フォルダを選択します。

- Windows 2000/XP をご使用の場合は［デジタル署名が見つかりませんでした］というメッセージを表示するダイアログが表示されることがあります。この場合は［はい］をクリックして、そのままインストール作業を進めてください。本機に添付のプリンタドライバであれば問題なくお使いいただけます。

5 お使いのプリンタの機種名（LP-1300）をクリックして、［次へ］ボタンをクリックします。

6 この後は、画面の指示に従って設定してください。

プリンタ接続先の変更

プリンタを接続しているコンピュータ側のポートを、必要に応じて追加または変更できます。コンピュータにローカル接続している場合は、プリンタドライバをインストールしたままの設定で使用できますので変更は不要です。

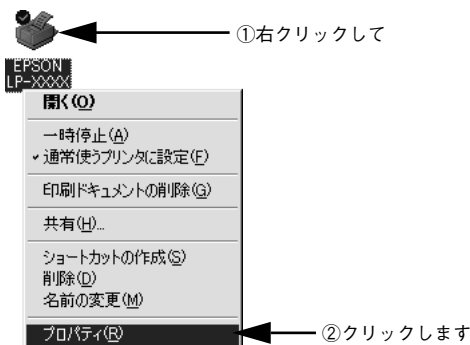
Windows NT4.0/2000/XP プリントサーバに代替 / 追加ドライバをインストールしていない場合や、Windows 95/98/Me プリントサーバと Windows NT4.0/2000/XP クライアントの組み合わせの場合は、クライアントにプリンタドライバをインストールしてから以下の手順を続けてください。

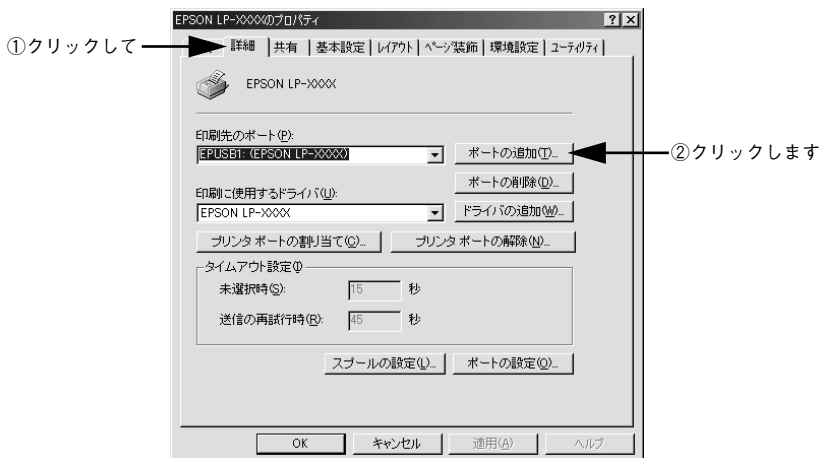
プリンタの接続先を変更すると、プリンタの機能設定が変更されることがあります。プリンタの接続先を変更した場合は、必ず各機能の設定を確認してください。

Windows 95/98/Me の場合

ネットワークパスを指定してポートを追加することで、ネットワーク上に接続された本機に接続することができます。

1. **Windows の［スタート］ボタンをクリックし、［設定］にカーソルを合わせ［プリンタ］をクリックします。**

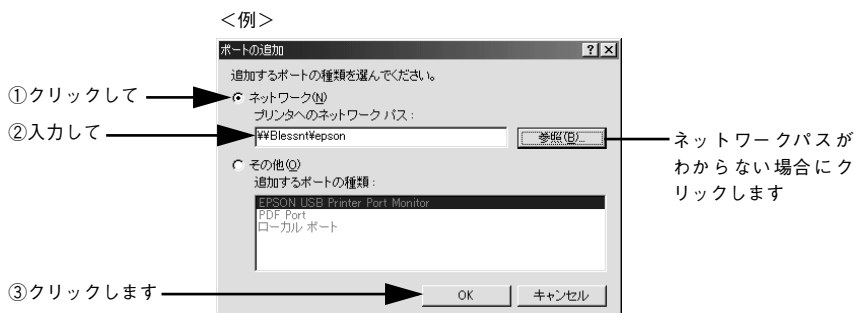
2. **LP-1300 のアイコンを右クリックして、［プロパティ］をクリックします。**

3 ［詳細］タブをクリックして［ポートの追加］ボタンをクリックします。

- すでに登録されているポートを指定する場合は、［印刷先のポート］から選択します。USB 接続の場合は［EPUSBx］を、パラレル接続の場合は［LPT1］を選択して、［OK］ボタンをクリックします。
- ネットワークプリンタのポートを追加する場合は 4 に進みます。

［印刷先のポート］はポート名をリスト表示します。必要なポートがすでにあれば、リストからポート名を選択して、［OK］ボタンをクリックします。表示されるポートの種類はご利用のコンピュータによって異なります。以下に代表的なポートを説明します。

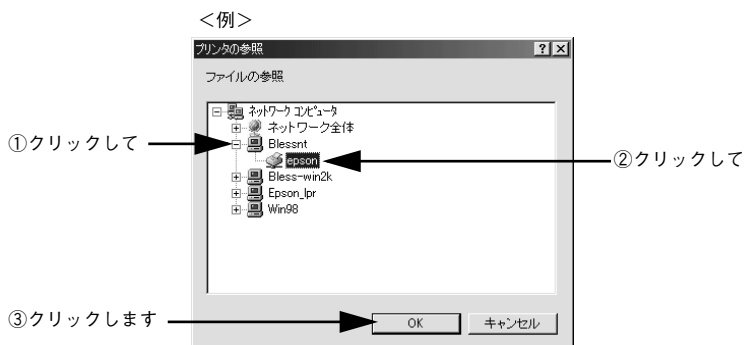
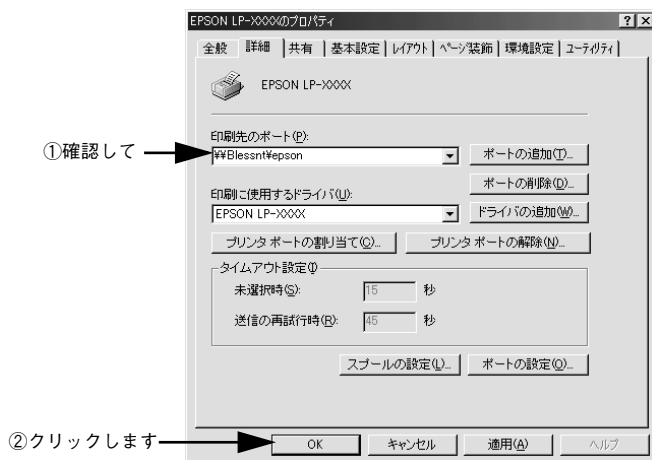
- PRN：EPSON PCシリーズ/NEC PCシリーズ標準の14ピンプリンタポートに接続している場合の設定です。PRN が表示されない場合は LPT1 を選択します。
- LPTx：通常のプリンタポートの設定です。DOS/V シリーズなどの標準パラレルプリンタポートに接続している場合は、この中の「LPT1」を選択します（最後の x には数字が表示されます）。
- EPUSBx：USB ポートです。Windows 98/Me をご利用で本機を USB ケーブルで接続した場合に選択します。EPSON プリンタ用の USB デバイスドライバがインストールされているときのみ表示されます（最後の x には数字が表示されます）。
- FILE：印刷データをプリンタではなくファイルに出力します。

4 ［ネットワーク］をクリックし、［プリンタへのネットワーク パス］を入力して［OK］ボタンをクリックします。

［プリンタへのネットワーク パス］は以下のように入力します。
¥¥ 目的のプリンタが接続されたコンピュータ名 ¥ 共有プリンタ名

<例>

ポイント

ネットワークプリンタへのパスがわからない場合は、［参照］ボタンをクリックして、以下のダイアログで目的のプリンタをクリックして［OK］ボタンをクリックします。

<例>

5 追加したポート名が［印刷先のポート］で選択されていることを確認してから、［OK］ボタンをクリックします。

以上でプリンタ接続先の変更は終了です。

Windows NT4.0/2000/XP の場合

ネットワークパスを指定してポートを追加することで、ネットワーク上に接続された本機に接続することができます。

1 Windows の［スタート］メニューから［プリンタ］/［プリンタと FAX］を開きます。

- Windows NT4.0/2000 の場合

  ［スタート］ボタンをクリックして［設定］にカーソルを合わせ、［プリンタ］をクリックします。

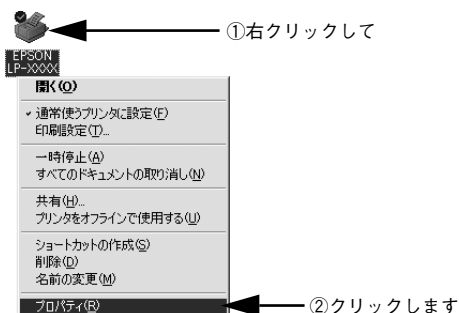
- Windows XP の場合

① ［スタート］ボタンをクリックして［コントロールパネル］をクリックします。
［スタート］メニューに［プリンタと FAX］が表示されている場合は、［プリンタと FAX］をクリックして、2 へ進みます。

② ［プリンタとその他のハードウェア］をクリックします。

③ ［プリンタと FAX］をクリックします。

2 LP-1300のアイコンを右クリックして、［プロパティ］をクリックします。

＜例＞ Windows 2000 の場合

3 ［ポート］タブをクリックして［ポートの追加］ボタンをクリックします。

すでに登録されているポートを指定する場合は、リスト内から選択してチェックマークを付けます。

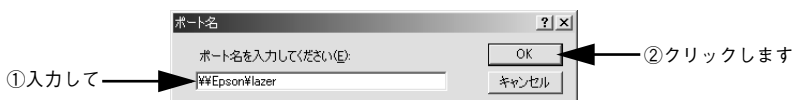
［印刷するポート］はポート名をリスト表示します。必要なポートがすでにあれば、リストからポート名を選択して、［OK］ボタンをクリックします。表示されるポートの種類はご利用のコンピュータによって異なります。以下に代表的なポートを説明します。

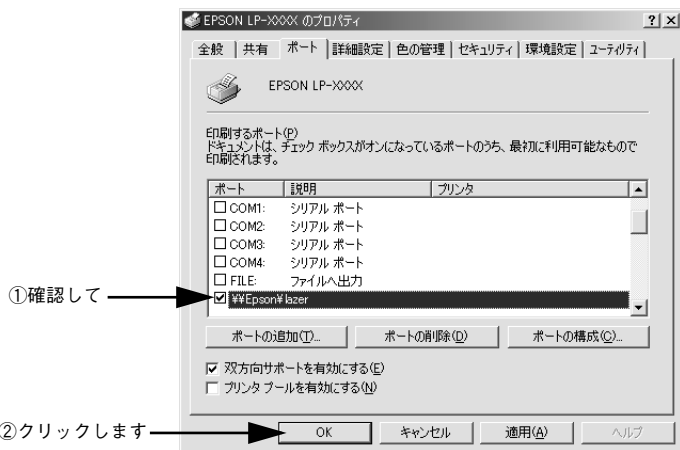
- LPTx：通常のプリンタポートの設定です。DOS/V シリーズなどの標準パラレルプリンタポートに接続している場合は、この中の「LPT1」を選択します（最後の x には数字が表示されます）。
- USBx：USB ポートです。Windows 2000/XP をご利用で本機を USB ケーブルで接続した場合に選択します（最後の x には数字が表示されます）。
- FILE：印刷データをプリンタではなくファイルに出力します。

4 ［プリンタポート］ダイアログが表示されたら、［Local Port］を選択して［新しいポート］ボタンをクリックします。

5 ポート名を入力して［OK］ボタンをクリックします。

ポート名は以下のように入力します。

¥¥ 目的のプリンタが接続されたコンピュータ名 ¥ 共有プリンタ名

6 ［プリンタポート］ダイアログの画面に戻りますので、［閉じる］ボタンをクリックします。

7 ポートに設定した名前が追加され、選択されていることを確認してから［OK］ボタンをクリックします。

以上でプリンタ接続先の変更は終了です。

印刷を高速化するには

本機をパラレル接続している場合、印刷データの転送方法としてDMA 転送を利用することで、印刷を高速化することができます。

DMA 転送とは

通常、印刷データはコンピュータのCPU（Central Processing Unit）を経由してプリンタへ送られます。しかし、CPU は同時にいくつもの処理をこなしているため、この方法ではCPU に負担がかかり、効率よくプリンタへ印刷データを送れません。

ECP[*1] コントローラチップを搭載したコンピュータの場合は、印刷データの流れを変更することで、CPU を経由しないでプリンタへ直接印刷データを送ることができます。その結果印刷速度が向上することになります。このような、データ転送の方法をDMA（Direct Memory Access）転送と呼びます。

*1 ECP：Extended Capability Port の略。パラレルポートの拡張仕様の一つ。

DMA 転送を設定する前に

プリンタドライバでDMA 転送を行う前に、以下の項目の確認と設定が必要です。

- **ご利用のコンピュータはDOS/V機でECPコントローラチップが搭載されていますか？**
  ご利用のコンピュータの取扱説明書を参照いただくか、コンピュータメーカーにお問い合わせください。
- **ご利用のコンピュータでDMA 転送が可能ですか？**
  ご利用のコンピュータの取扱説明書を参照していただくか、コンピュータメーカーにお問い合わせください。
- **BIOS[*1] セットアップでパラレルポートの設定が［ECP］または［ENHANCED］になっていますか？**
  ご利用のコンピュータの取扱説明書を参照していただき、BIOS を設定してください。

*1 BIOS：Basic Input/Output System の略。パソコンを動作させるための基本的なプログラム群のこと。

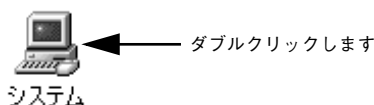
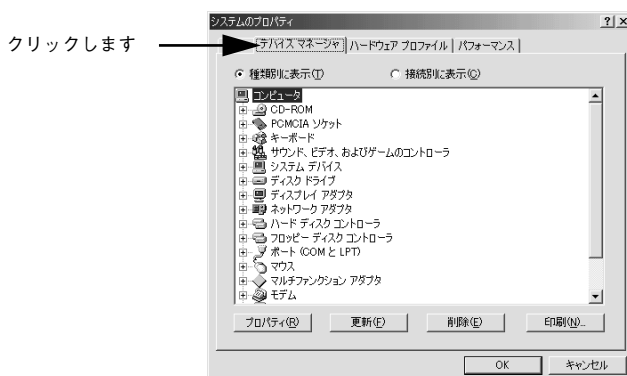
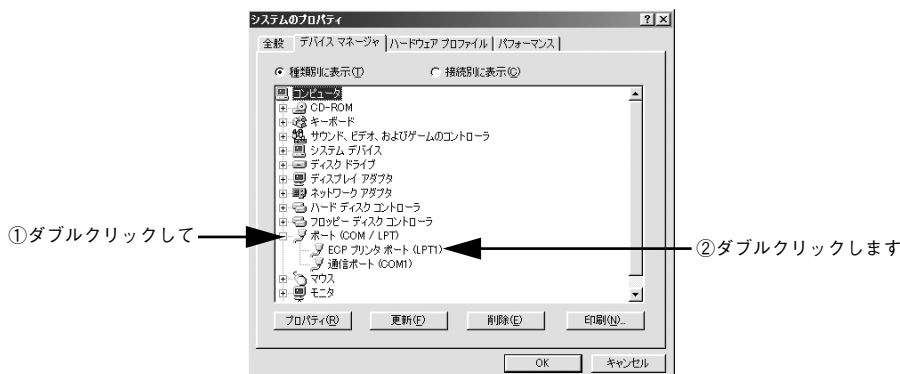
この BIOS の設定は、本機のプリンタソフトウェアを一旦削除（アンインストール）してから行ってください。BIOS 設定後、再度プリンタソフトウェアをインストールしてください。
本書117 ページ「プリンタソフトウェアの削除方法」
スタートアップガイド16 ページ「セットアップ」

- **エプソン純正のパラレルケーブルでプリンタとコンピュータを接続していますか？**

以上の確認と設定が済みましたら、お使いのOS ごとの説明に進んでください。

Windows 95/98/Me の設定確認

1. **Windows の［コントロールパネル］を開きます。**
   ［スタート］ボタンをクリックし、［設定］にカーソルを合わせ、［コントロールパネル］をクリックします。

2. **［システム］アイコンをダブルクリックします。**

3. **［デバイスマネージャ］タブをクリックします。**

4. **［ポート（COM/LPT）］をダブルクリックして開き、本機が接続されているポートをダブルクリックします。**
   プリンタの接続先を変更していない場合は［ECP プリンタポート（LPT 1）］を選択します。

5 ［リソース］タブをクリックし、［自動設定］にチェックが付いていること、［競合するデバイス］に競合がないことを確認します。

競合するデバイスが表示された場合は､以下の手順で設定を変更してください。
①すべての I/O ポートアドレスをメモ用紙に控えて、［自動設定］のチェックボックスをクリックして外します。
②［基にする設定］または［設定の登録名］リストでメモに控えた I/O ポートアドレスと［DMA］、［IRQ］（割り込み要求）の設定が表示される基本設定を探して選択します。

競合デバイスが解消しない場合は、お使いのコンピュータメーカーにお問い合わせください。

6 ［OK］ボタンをクリックします。

以上で DMA 転送の設定確認は終了です。

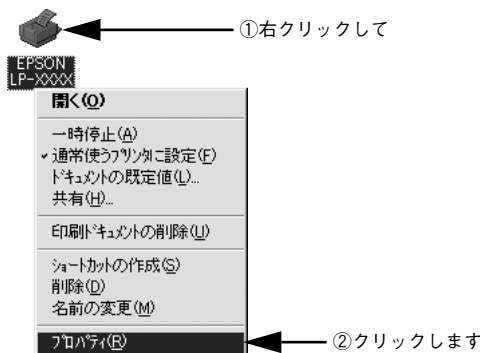
一部のコンピュータでは､上記の設定をしたにもかかわらず､DMA 転送がご利用になれない場合があります。お使いのコンピュータのメーカーに DMA 転送が可能かどうかお問い合わせください。

Windows NT4.0 の設定確認

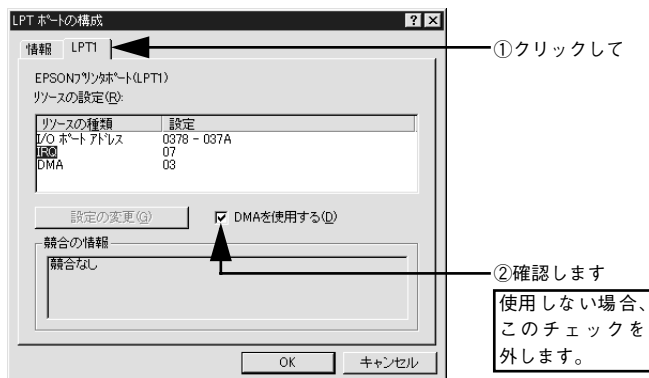
Windows NT4.0 をご利用の場合は、BIOS のパラレルポート設定を ECP モードに設定した上で、本機のプリンタドライバをインストールしてください。そのまま DMA 転送をご利用いただくことができます。ここでは設定されていることを確認します。

- BIOSの設定方法については、ご利用のコンピュータの取扱説明書を参照してください。
- BIOS のパラレルポート設定を行う場合は、BIOS を設定する前に本機のプリンタソフトウェアを一旦削除してください。そして、BIOS の設定後に再度プリンタソフトウェアをインストールしてください。
- DMA 転送をご利用になる場合、本機のプリンタドライバは以下のページの手順に従ってインストールされていることが必要です。
  セットアップガイド 17 ページ「コンピュータと直接接続したプリンタのセットアップ」
- DMA転送で印刷できないなどの問題が発生した場合は、手順④の[DMA を使用する］のチェックを外してください。

1. Windows の［スタート］ボタンをクリックし、［設定］にカーソルを合わせ［プリンタ］をクリックします。

2. LP-1300 のアイコンを右クリックして［プロパティ］をクリックします。

3 ［ポート］のタブをクリックし、［ポートの構成］ボタンをクリックします。

4 **本機が接続されているポートのタブをクリックして、［DMA を使用する］のチェックボックスにチェックマークが付いていることを確認します。**

コンピュータのLPT1ポートにプリンタを接続している場合は、[LPT1]を選択します。

コンピュータの拡張スロットに LPT ボードが装着されている場合、［LPT2］や［LPT3］が表示されます。

- LPT2やLPT3の構成情報には、拡張ボードで設定されているI/Oアドレスが表示されます。
- IRQ と DMA は、拡張ボードの設定を手動で設定する必要があります。設定方法は、［IRQ］と［DMA］をクリックして、［設定の変更］ボタンをクリックして設定してください。

以上で確認の方法は終了です。

Windows 2000/XP の場合

Windows 2000/XP をご利用の場合は、BIOS のパラレルポート設定を ECP モードに設定した上で、添付のプリンタソフトウェア CD-ROM から EPSON プリンタポートをインストールしてください。

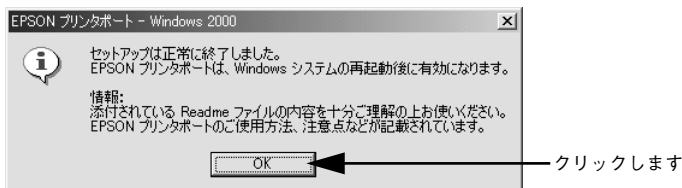
ポイント

- BIOSの設定方法については、ご利用のコンピュータの取扱説明書を参照してください。
- BIOS のパラレルポート設定を行う場合は、BIOS を設定する前に本機のプリンタソフトウェアを一旦削除してください。そして、BIOS の設定後に再度プリンタソフトウェアをインストールしてください。
- EPSONプリンタポートをインストールおよび設定するには、Windows 2000 の場合は管理者権限（Administrators）のあるユーザーとして、Windows XP の場合は「コンピュータの管理者」アカウントのユーザーとしてログオンする必要があります。
- 添付の Readme ファイルを必ず一読してからインストールを行ってください。Readme ファイルには、注意事項やトラブル発生時の対処方法などの情報が掲載されています。

1. EPSON プリンタソフトウェア CD-ROM をコンピュータにセットします。
2. 以下の画面が表示されたら［ LPT 接続時の印刷の高速化 ］をクリックして［次へ］をクリックします。

3 ［はじめにお読みください］をクリックし［次へ］をクリックして参考情報をお読みいただいてから、［EPSON プリンタポートのインストール］をクリックして［次へ］をクリックします。

4 使用許諾契約書の画面が表示されたら内容を確認し、［同意する］をクリックします。

5 インストールが終了したら［OK］ボタンをクリックします。

6 Windows を再起動します。

必ず Windows を再起動させてから以降の作業に進んでください。再起動させずに以降の作業を行うと、印刷ができなくなったり、動作が不安定になります。

7 LP-1300 プリンタドライバのプロパティ画面を表示します。

- **Windows 2000 の場合**

①［スタート］ボタンをクリックして［設定］にカーソルを合わせ、［プリンタ］をクリックします。

②LP-1300　のプリンタアイコンを右クリックし、表示されたメニューから［プロパティ］をクリックします。

- **Windows XP の場合**

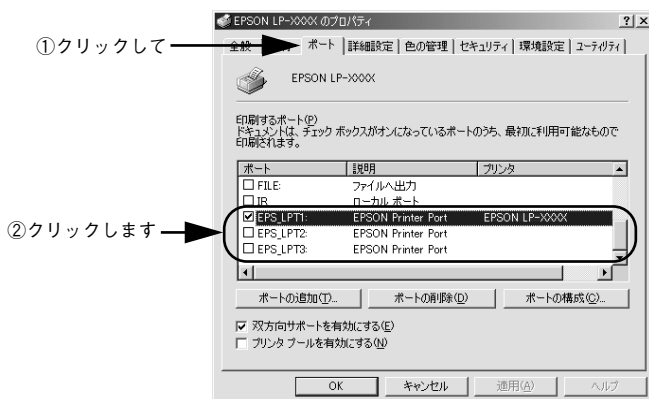
①［スタート］ボタンをクリックして［コントロールパネル］をクリックします。
［スタート］メニューに［プリンタと FAX］が表示されている場合は、［プリンタと FAX］をクリックして、8 へ進みます。

②［プリンタとその他のハードウェア］をクリックします。

③［プリンタと FAX］をクリックします。

④LP-1300 のプリンタアイコンを右クリックし、表示されたメニューから［プロパティ］をクリックします。

8 ［ポート］タブをクリックし、使用するパラレルポートを選択します。

［印刷するポート］の中から、使用する［EPS_LPTx:］のチェックボックスをクリックしてチェックをつけます。

- EPS_LPT1：コンピュータ内蔵のパラレルポート専用
［EPS_LPT1］を使用する場合は、以上で EPSON プリンタポートの設定は終了です。［閉じる］ボタンをクリックして、［プロパティ］画面を閉じます。
- EPS_LPT2：市販のパラレルポート拡張ボード用
次の 9 へ進みます。
- EPS_LPT3：市販のパラレルポート拡張ボード用
次の 9 へ進みます。

9 **EPS_LPT2/3 を使用する場合は、以下の手順でIRQ、DMA の設定を行ってからコンピュータを再起動させます。**

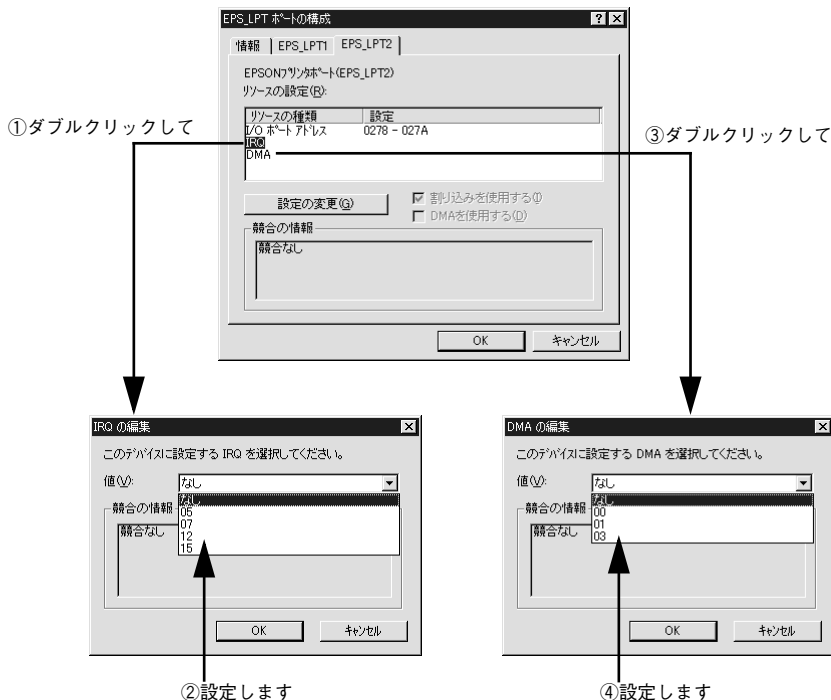
① ［ポートの構成］ボタンをクリックし、使用する EPS_LPT2 または EPS_LPT3 のタブをクリックします（拡張ボードが装着されている場合のみ EPS_LPT2、EPS_LPT3 が表示されます）。

② ［IRQ］、［DMA］の設定を行います。［リソースの設定］から［IRQ］、［DMA］をダブルクリックし、拡張ボードで設定した値を設定します。

①ダブルクリックして

③ダブルクリックして

②設定します

④設定します

③ ［OK］ボタンをクリックして［ダイアログ］画面を閉じます。設定が変更された場合には、コンピュータの再起動を促すメッセージが表示されます。［プロパティ］画面を閉じてから再起動してください。

これで EPS_LPT2/3 の設定が完了し、接続されているプリンタへの EPS_LPTx ポートの割り当てができるようになります。

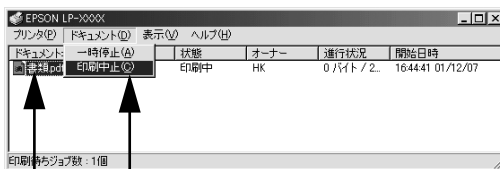
プリンタドライバを再インストールした場合には、❼ ～ ❾ に従って EPSON プリンタポートの再設定を行ってください。

印刷の中止方法

印刷処理を中止するときは、次のいずれかの方法でコンピュータ上の印刷データを削除します。

プリンタドライバからの中止方法

1. **画面右下のタスクバー上のプリンタアイコンをダブルクリックします。**

2. **中止したい印刷データをクリックして選択し、［ドキュメント］メニューの［印刷中止］または［キャンセル］をクリックします。**

処理済みのデータが印刷されてから表示が消え、印刷が中止されます。

EPSON プリンタウィンドウ !3 からの中止方法

1. プリンタドライバの［ユーティリティ］画面を開きます。

2. ［EPSON プリンタウィンドウ !3］ボタンをクリックします。

3. ［EPSON プリンタウィンドウ !3］画面の［印刷中止］ボタンをクリックします。

印刷を中止するタイミングによっては、印刷キュー内の他の印刷データを消してしまうことがありますのでご注意ください。

プリンタソフトウェアの削除方法

プリンタドライバを再インストールする場合やバージョンアップする場合は、すでにインストールされているプリンタソフトウェアを削除（アンインストール）する必要があります。

プリンタソフトウェアを削除するには

Windows の標準的な方法でプリンタソフトウェア（プリンタドライバ /EPSON プリンタウィンドウ !3/USB プリンタデバイスドライバ）を削除する手順を説明します。

- USBプリンタデバイスドライバは、Windows 98/Me で本製品を USB接続している場合にインストールされるデバイスドライバです。
- EPSON プリンタソフトウェア CD-ROM をコンピュータにセットして表示される画面からも削除することができます。

1 **起動しているアプリケーションソフトをすべて終了します。**

2 **Windows の［スタート］メニューから［コントロールパネル］を開きます。**

- Windows 95/98/Me/NT4.0/2000

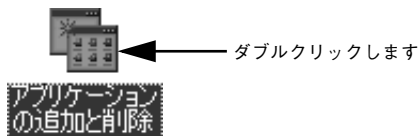
  ［スタート］ボタンをクリックし、［設定］にカーソルを合わせて、［コントロールパネル］をクリックします。

- Windows XP

  ［スタート］ボタンをクリックし、［コントロールパネル］をクリックします。

3 ［アプリケーションの追加と削除］/［プログラムの追加と削除］を開きます。

- Windows 95/98/Me/NT4.0/2000 の場合

［アプリケーションの追加と削除］アイコンをダブルクリックします。

- Windows XP の場合

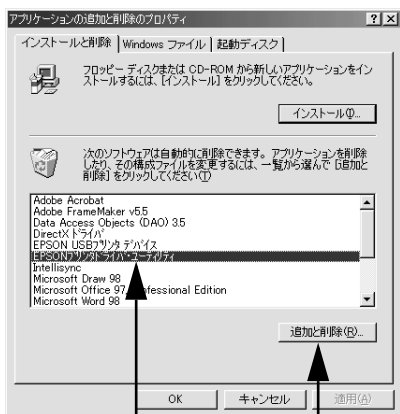
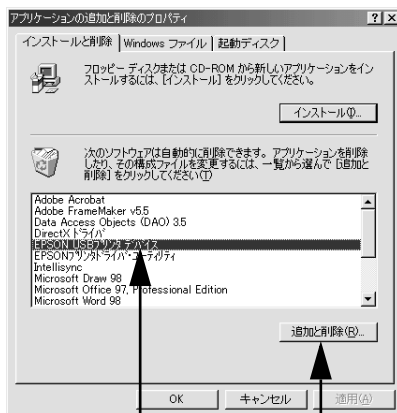
［プログラムの追加と削除］をクリックします。

4 **削除するソフトウェアを選択して［追加と削除］ボタンをクリックします。**

Windows 2000/XP の場合は［プログラムの変更と削除］をクリックしてから、削除対象となる項目をクリックして［変更 / 削除］ボタンをクリックします。

- **プリンタドライバと EPSON プリンタウィンドウ !3 を削除する場合：**

  ［EPSON プリンタドライバ・ユーティリティ］をクリックし、［追加と削除］ボタンをクリックして以下のページへ進みます。

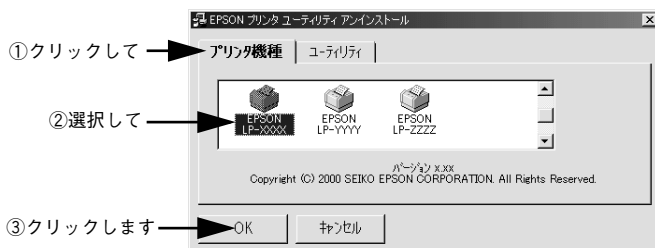
  本書 121 ページ「プリンタドライバと EPSON プリンタウィンドウ !3 の削除」

- **USBプリンタデバイスドライバを削除する場合：**
  ［EPSON USBプリンタデバイス］は、Windows98/MeでUSB接続をご利用の場合にのみ表示されます。［EPSON USBプリンタデバイス］をクリックし、［追加と削除］ボタンをクリックして以下のページへ進みます。
  本書123ページ「USBプリンタデバイスドライバの削除」

インストールが不完全なまま終了していると［USBプリンタデバイス］の項目が表示されないことがあります。その場合は、プリンタソフトウェアCD-ROM内の［Epusbun.exe］ファイルを実行してください。

①コンピュータに「プリンタソフトウェアCD-ROM」をセットします。
②［エクスプローラ］などでCD-ROMに収録されたファイルを表示させます。
③［Win9x］フォルダをダブルクリックして開きます。
④［Epusbun.exe］アイコンをダブルクリックします。

プリンタドライバと EPSON プリンタウィンドウ !3 の削除

以下の手順から続けて、下記の作業を行ってください。

☞ 119 ページ手順 ❹ から続けてください。

❺ ［プリンタ機種］タブをクリックし、LP-1300 のアイコンを選択して、［OK］ボタンをクリックします。

ポイント

EPSON プリンタウィンドウ !3 で監視する特定のプリンタだけを削除することもできます。監視プリンタの設定ユーティリティそのものを削除すると、本機以外の EPSON プリンタウィンドウ !3 に対しても監視プリンタの設定が変更できなくなります。削除の手順は以下の通りです。

①クリックして

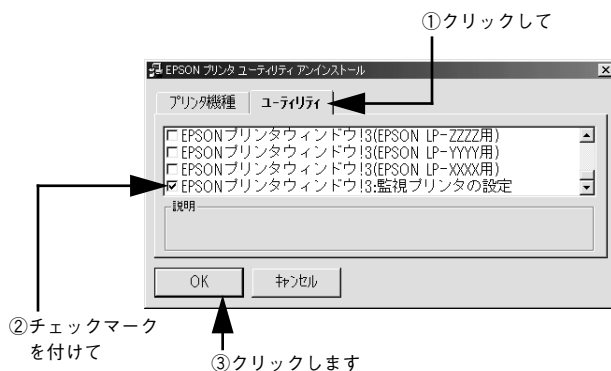
EPSON プリンタ ユーティリティ アンインストール

プリンタ機種　ユーティリティ

□ EPSONプリンタウィンドウ!3(EPSON LP-ZZZZ用)
□ EPSONプリンタウィンドウ!3(EPSON LP-YYYY用)
□ EPSONプリンタウィンドウ!3(EPSON LP-XXXX用)
☑ EPSONプリンタウィンドウ!3:監視プリンタの設定

説明

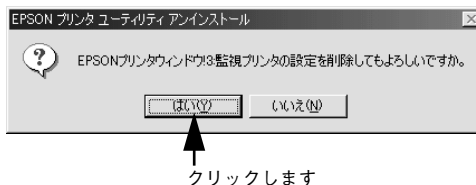
OK　キャンセル

②チェックマークを付けて

③クリックします

［EPSON プリンタウィンドウ !3: 監視プリンタの設定］をチェックして［OK］ボタンをクリックすると、次の確認メッセージが表示されます。［はい］ボタンをクリックすると、監視プリンタの設定ユーティリティの削除が始まります。

EPSON プリンタ ユーティリティ アンインストール

EPSONプリンタウィンドウ!3:監視プリンタの設定を削除してもよろしいですか。

はい(Y)　いいえ(N)

クリックします

6 **削除を確認するメッセージが表示されたら、［はい］ボタンをクリックします。**

プリンタドライバと EPSON プリンタウィンドウ !3 の削除が始まります。

ポイント

- 関連ファイル削除のメッセージが表示されたら［はい］ボタンをクリックします。プリンタドライバに関連するファイルが削除されます。
- 削除したプリンタを［通常使うプリンタ］として設定していた場合は、ほかのプリンタドライバを［通常使うプリンタ］に設定します。メッセージが表示されたら、［OK］ボタンをクリックします。

7 **終了のメッセージが表示されたら、［OK］ボタンをクリックします。**

以上でプリンタドライバと EPSON プリンタウィンドウ !3 の削除（アンインストール）は終了です。

ポイント

プリンタドライバを再インストールする場合は、コンピュータを再起動させてください。

USB プリンタデバイスドライバの削除

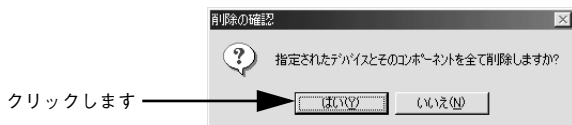
Windows98/Me で USB 接続をご利用の場合のみ必要なデバイスドライバです。

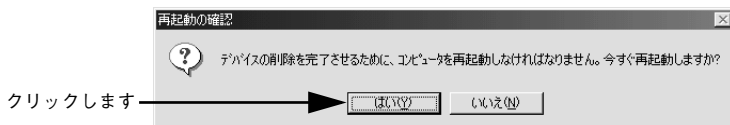
- USB プリンタデバイスドライバを削除する前に、プリンタドライバを削除してください。
- USBプリンタデバイスドライバを削除すると、USB 接続しているほかのエプソン製プリンタも利用できなくなります。

以下の手順から続けて、下記の作業を行ってください。

119 ページ手順 4 から続けてください。

5 ［はい］をクリックします。

USB プリンタデバイスドライバの削除が始まります。

6 ［はい］をクリックします。

コンピュータが再起動します。

以上で USB プリンタデバイスドライバの削除は終了です。

代替 / 追加ドライバを削除するには

Windows 2000/XP プリントサーバにクライアント用の代替 / 追加ドライバをインストールしている場合は、以下の手順で代替 / 追加ドライバを削除（アンインストール）できます。

なお、Windows NT4.0 プリントサーバにインストールされている代替 / 追加ドライバは削除することができません。プリンタドライバ自体を削除しても代替 / 追加ドライバは削除されません。Windows NT4.0 の代替 / 追加プリンタドライバをバージョンアップする場合は、バージョンアップしたプリンタドライバを代替 / 追加ドライバとして再度インストールしてください。上書きインストールされた代替 / 追加ドライバは問題なく動作します。

代替 / 追加ドライバ機能は、Windows NT4.0 では「代替ドライバ」、Windows 2000/XP では「追加ドライバ」と表示されます。

1. **起動しているアプリケーションソフトをすべて終了します。**

2. **Windows の［スタート］メニューから［プリンタ］/［プリンタと FAX］を開きます。**

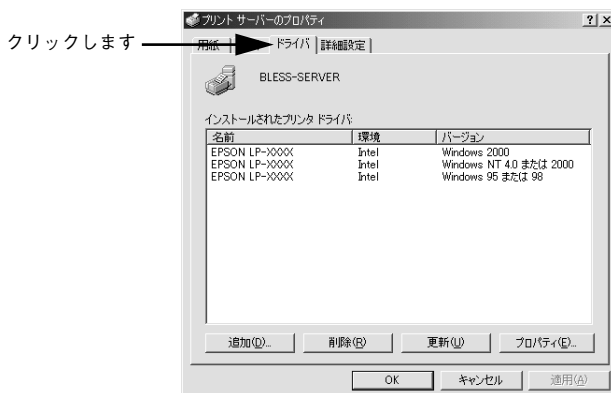
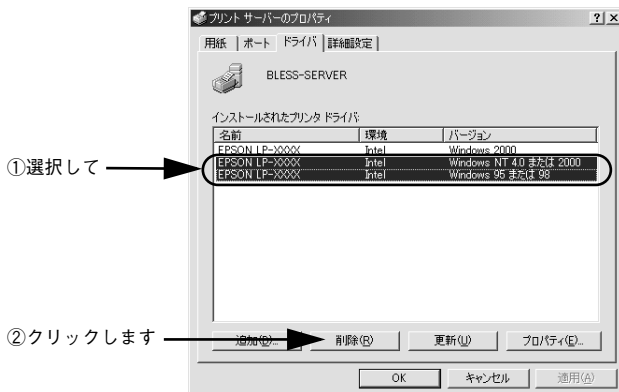
- **Windows 2000 の場合**

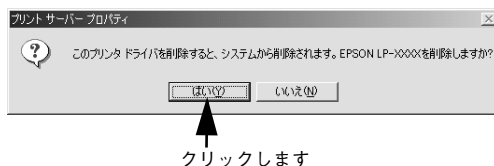
［スタート］ボタンをクリックして［設定］にカーソルを合わせ、［プリンタ］をクリックします。

- **Windows XP の場合**

① ［スタート］ボタンをクリックして［コントロールパネル］をクリックします。
［スタート］メニューに［プリンタと FAX］が表示されている場合は、［プリンタと FAX］をクリックして、3 へ進みます。
② ［プリンタとその他のハードウェア］をクリックします。
③ ［プリンタと FAX］をクリックします。

3 ［ファイル］メニューから［サーバーのプロパティ］をクリックします。

4 ［ドライバ］タブをクリックして、［インストールされたプリンタ ドライバ］リストを開きます。

5 削除したい代替/追加ドライバをクリックして選択し、[削除]ボタンをクリックします。

6 削除を確認するメッセージが表示されたら、[はい] ボタンをクリックします。

クリックします

7 [閉じる] ボタンをクリックしてプロパティを閉じます。

以上で代替 / 追加ドライバの削除は終了です。

Macintosh プリンタドライバの機能と関連情報

プリンタドライバの詳細説明と、Macintosh でお使いの際に関係する情報について説明しています。

設定ダイアログの開き方

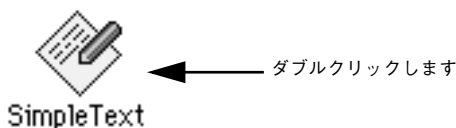
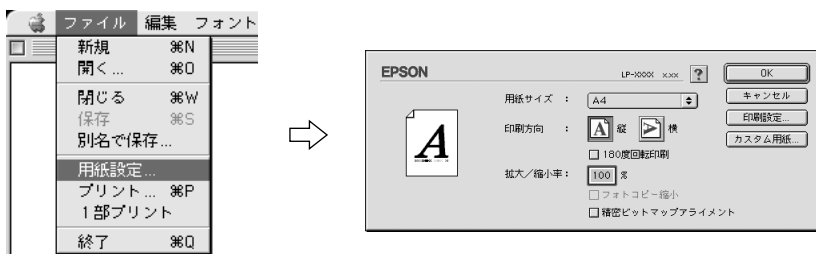
用紙設定の手順

実際に印刷データを作成する前に、プリンタドライバ上で用紙サイズなどを設定します。ここでは、SimpleText を例に説明します。

ポイント

用紙設定をする前に、お使いのプリンタ用のプリンタドライバをセレクタで選択してください。

スタートアップガイド 28 ページ「プリンタドライバの選択」

1. [SimpleText] アイコンをダブルクリックして起動します。

2. [ファイル] メニューから [用紙設定] (または [プリンタの設定] など) を選択します。

3. 必要な項目を設定します。

設定項目やボタンについては、以下のページを参照してください。

本書 130 ページ「[用紙設定] ダイアログ」
本書 131 ページ「任意の用紙サイズを登録するには」

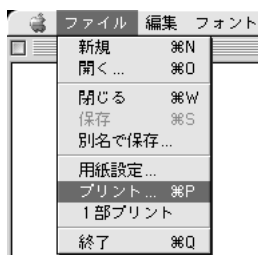
4. [OK] ボタンをクリックして終了します。

この後、印刷データを作成します。

印刷の手順

印刷する際に、プリンタドライバ上で印刷部数などを設定します。

アプリケーションソフトによっては、独自の［プリント］ダイアログを表示する場合があります。その場合は、アプリケーションソフトの取扱説明書を参照してください。

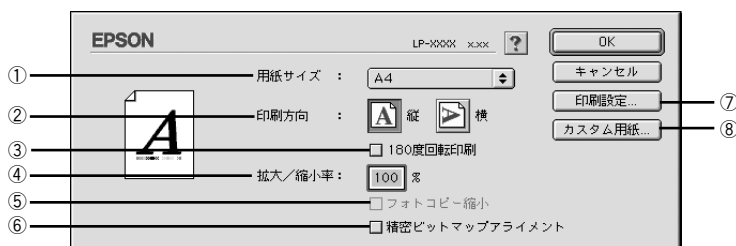
1 ［ファイル］メニューから［プリント］（または［印刷］）を選択します。

2 印刷に必要な項目を設定します。

設定項目やボタンについては、以下のページを参照してください。

本書 133 ページ「[プリント］ダイアログ」
本書 137 ページ「[詳細設定］ダイアログ」
本書 141 ページ「[レイアウト］ダイアログ」

3 ［印刷］ボタンをクリックして、印刷を実行します。

［用紙設定］ダイアログ

［用紙設定］ダイアログでは、用紙に関する基本的な項目を設定します。印刷データを作成する前に設定してください。

①用紙サイズ

印刷する用紙のサイズをリストから選択します。

本機で印刷できない用紙サイズを選択すると、A4 サイズの用紙にフィットページ印刷を行います。A4 サイズ以外の用紙にフィットページ印刷を行う場合は、［レイアウト］ダイアログで［フィットページ］を設定してください。
本書 141 ページ「［レイアウト］ダイアログ」

②印刷方向

用紙に対する印刷の向きを、［縦］、［横］のいずれかをクリックして選択します。

③180 度回転印刷

印刷データを 180 度回転して印刷します。

④拡大 / 縮小率

印刷データを拡大 / 縮小して印刷できます。拡大 / 縮小率を 25% ～ 400% まで、1% 単位で指定できます。

⑤フォトコピー縮小

［拡大 / 縮小率］が 100% 未満の場合に有効になります。指定した縮小率で用紙中央に印刷します。この場合、［精密ビットマップアライメント］は選択できません。

⑥精密ビットマップアライメント

印刷領域を約 4% 縮小して印刷のムラを押さえ、よりきれいに印刷します。この場合、印刷位置は用紙の中央になります。なお、［フォトコピー縮小］を選択している場合は選択できません。

⑦［印刷設定］ボタン

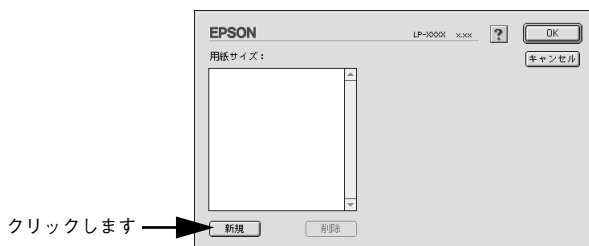
印刷に関する各種の設定を行います。印刷する直前に［プリント］ダイアログでも同様の項目を設定できます。
本書 133 ページ「［プリント］ダイアログ」

⑧［カスタム用紙］ボタン
用紙のカスタム（不定形）サイズを設定できます。設定したカスタム用紙サイズは、［用紙設定］ダイアログの［用紙サイズ］メニューから選択できます。
本書 131 ページ「任意の用紙サイズを登録するには」

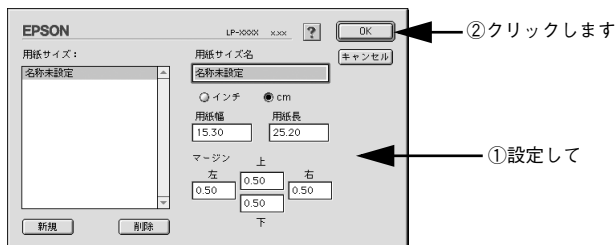
任意の用紙サイズを登録するには

［用紙サイズ］リストにあらかじめ用意されていない用紙サイズを［カスタム用紙］として登録することができます。

1. ［用紙設定］ダイアログを開き、［カスタム用紙］ボタンをクリックします。

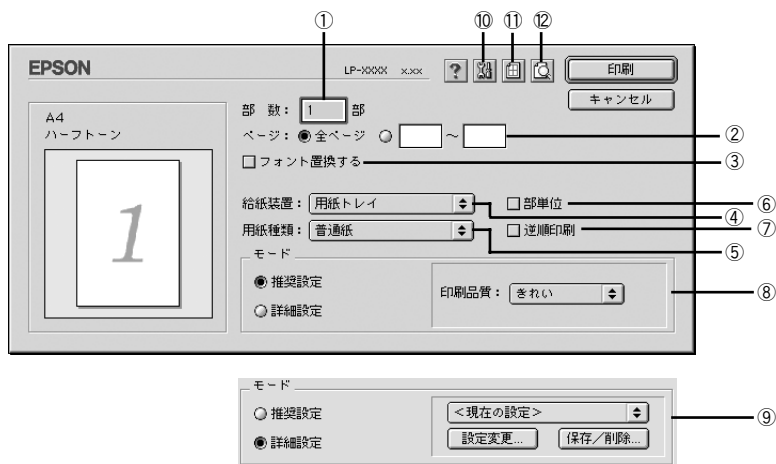
2. ［新規］ボタンをクリックします。

- カスタム用紙サイズは、64 件まで登録できます。
- すでに登録している用紙サイズを変更する場合は、［用紙サイズ］リストから変更したい用紙サイズを選択します。
- すでに登録されている用紙サイズを削除する場合は、［用紙サイズ］リストからサイズ名をクリックして選択し、［削除］ボタンをクリックします。
- プリンタドライバを再インストールした場合でも、登録した用紙サイズは保持されます。

3 **用紙サイズ名、単位（インチまたは cm）、用紙幅、用紙長、上下左右マージンを設定し、［OK］ボタンをクリックします。**

設定できるサイズの範囲は以下の通りです。
用紙幅：9.00 ～ 21.60cm（3.54 ～ 8.50 インチ）
用紙長：14.80 ～ 35.60cm（5.83 ～ 14.02 インチ）

ここで定義した用紙サイズが［用紙サイズ］リストから選択できるようになります。

不定形紙への印刷は、いくつか注意していただく点がありますので、以下のページを参照してから印刷を実行してください。
本書 24 ページ「不定形紙への印刷」

［プリント］ダイアログ

印刷する際、［プリント］ダイアログで印刷に関わる各種の設定を行います。

①部数

1～999の範囲で印刷部数を選択します。通常は1ページごとに指定した部数を印刷しますが、⑥の［部単位］を選択すると1部ごとにまとめて印刷します。

②ページ

すべてのページを印刷する場合は［全ページ］を選択します。一部のページを指定して印刷する場合は、開始ページと終了ページを1～9999の範囲で入力します。

③フォント置換する

細明朝体、中ゴシック体、等幅明朝、等幅ゴシックフォントを、別のフォントに置き換えて印刷するには、クリックしてチェックマークを付けます。プリンタドライバは、インストールしてあるフォントの中から、置き換え可能なフォントを自動的に探します。置き換え可能なフォントがない場合は、フォント置き換えを行いません。

フォント置き換え機能を使用する場合は、以下のフォントを使用することできれいに印刷できます。お使いのMacintoshに以下のフォントがインストールされていない場合は、Mac OSのCD-ROMよりインストールしてお使いください。

- リュウミンライトーKL、リュウミンライトーKL ー等幅
- 中ゴシックBBB、中ゴシックBBB ー等幅

④給紙装置

本機は常に用紙トレイから給紙しますので、設定は変更できません。

⑤用紙種類

用紙の種類を選択します。

項目	説明
普通紙	普通紙タイプの用紙（レターヘッド、再生紙、色つきを含む）に印刷する場合に選択します。
厚紙（大）、厚紙（小）	厚紙に印刷する場合に選択します。使用する用紙サイズによって設定は以下のように異なります。 • 厚紙（大）： 用紙の横幅が 188mm 以上（A4、Letter（LT）など）の厚紙を使用する場合に選択します。 • 厚紙（小）： 用紙の横幅が 188mm 未満（A5、B5、Half-Letter（HLT）、Executive（EXE）など）の厚紙を使用する場合に選択します。
OHP シート	OHP シートに印刷する場合に選択します。

⑥部単位

2 部以上印刷する場合に 1 ページ目から最終ページまでを 1 部単位にまとめて印刷します。印刷する部数は、①の［部数］で指定します。

アプリケーションソフト側で部単位印刷の設定ができる場合は、アプリケーションソフトでの設定をオフ（部単位印刷しない）にして、プリンタドライバの［部単位］で設定してください。

⑦逆順印刷

最後のページから逆に印刷します。

⑧推奨設定モード

一般的に推奨できる条件で印刷する場合にクリックします。ほとんどの場合、この［推奨設定］でよい印刷結果が得られます。

きれい：

本機は常に［きれい］（600dpi）の状態で印刷します。設定は変更できません。

印刷できない場合や、メモリ関連のエラーメッセージが表示される場合は、以下のいずれかの方法で対処してください。

- 印刷データの容量や色数を減らす。
- アプリケーションソフトに割り当てたメモリを変更する。
- ［プリント］ダイアログの［拡張設定］内にある［メモリ不足回避］を有効にする。
  本書 139 ページ「［拡張設定］ダイアログ」

⑨詳細設定モード

［詳細設定］をクリックすると、詳細設定メニューと［設定変更］/［保存 / 削除］ボタンが表示されます。

項目	説明
詳細設定メニュー	［保存 / 削除］ボタンで保存した設定を選択できます。
［設定変更］ボタン	クリックすると、［詳細設定］ダイアログが開きます。 本書 137 ページ「［詳細設定］ダイアログ」
［保存 / 削除］ボタン	クリックすると、［プリント］ダイアログで設定した内容を保存または削除するためのダイアログが表示されます。［ユーザー設定名］を入力して、［登録］ボタンをクリックしてください。 EPSON LP-XXXX x.xx ? 登録 ユーザー設定 ユーザー設定名 私の設定 キャンセル 削除 ①入力して ②クリックします 保存した設定を変更または削除できます。 • 設定を変更する場合は、最初に［プリント］ダイアログで設定を変更してから変更の対象となる設定名を［ユーザー設定］リストから選択し、［変更］ボタンをクリックしてください。 • 設定を削除する場合は、削除する設定名を［ユーザー設定］リストから選択して［削除］ボタンをクリックしてください。 ②クリックします（変更時） EPSON LP-XXXX x.xx ? 変更 ユーザー設定 ユーザー設定名 私の設定 私の設定 キャンセル 削除 ①選択して ②クリックします（削除時）

⑩（［拡張設定］アイコン）

印刷位置のオフセット値、印刷濃度、白紙節約機能などの設定を行うときにクリックします。

本書 139 ページ「［拡張設定］ダイアログ」

⑪（［レイアウト］アイコン）

レイアウトに関する設定ができます。

本書 141 ページ「［レイアウト］ダイアログ」

⑫ （［プレビュー］アイコン）

アイコンをクリックすると［印刷］ボタンが［プレビュー］ボタンに変わります。［プレビュー］ボタンをクリックすると、［プレビュー］ダイアログが表示されて印刷結果をモニタ上で確認できます。

※※※ EPSON LP-XXXX 用プリンタドライバについて ※※※

このファイルには EPSON LP-XXXX プリンタドライバに関する注意事項、制限事項が記載されています。ご使用前に必ずお読みください。
詳しい取り扱いに関しては、取扱説明書を参照してください。

--- インストーラについて ---
■ウイルス感染防止プログラムが起動していると、正常にインストーラプログラムが動作しません。ウイルス感染防止プログラムをオフにしてから、インストールを開始して下さい。

--- プリンタフォント使用機能について ---
■プリンタフォントを使用して印刷する場合、文字と図形等を重ねて印刷すると、画面と同じように印刷されないことがあります。この場合、“プリンタフォント使用” のチェックをはずしてください。
■回転文字を印刷する場合、アプリケーションによってはプリンタフォントを使用できないものがあります。
■特殊文字（省略記号、単位、装飾文字、装飾英字、ローマ字、ギリシャ文字、ロシア文字、罫線の文字）を “プリンタフォント使用” で印刷した場合、正しく印字されない場合があります。この場合、“プリンタフォント使用” のチェックをはずしてください。
■180度回転を設定した場合、プリンタフォントは使用できません。

--- PGI使用について ---
■印刷ダイアログの印刷モードを “ PGI” にした場合、イメージと図形等を重ねて印刷したときに、画面と同じように印刷されないことがあります。この場合、印刷モードを “ハーフトーン” に設定してください。
■印刷ダイアログの印刷モードを “ PGI” にした場合、文字、図形、イメージがギザギザになったり線幅が変わったりする場合があります。この場合、 PGI設定の画質を “品質優先” にしてください。

--- プレビュー機能について ---
■180度回転はプレビューに反映されません。
■図形やイメージなどの下に文字があるデータの場合、実際の印刷とプレビューが異なる場合があります。

--- その他 ---
■セレクタのセットアップの最高解像度を「高解像度」に設定した場合、アプリケーションによっては正常に印刷できない場合があります。この場合、最高解像度を「標準」にしてください。
■他のプリンタを使用して作成した文書を印刷する場合、印刷方向以外は初期設定になります。この場合の用紙サイズは A4になります。

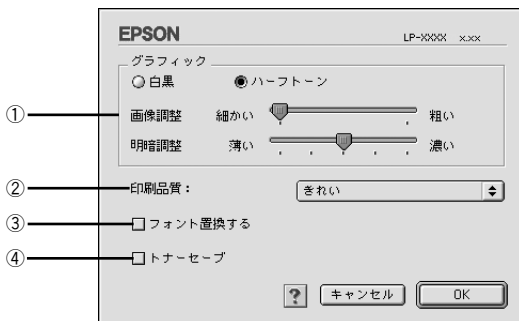
- 1 -

ポイント

- ［用紙設定］ダイアログで［180 度回転印刷］を設定しても、ページを 180 度回転してプレビュー表示しません。
- 文字が図形より下にあっても、文字が上にプレビュー表示されます。

ボタン	機能
◀▶	表示するページを 1 ページごとに切り替えます。
1 ／2	表示させるページ番号を直接入力します。
キャンセル	［プレビュー］ダイアログを閉じます。
印刷	印刷を開始します。
	印刷データ（1 ページ単位）の全体を表示します。
	印刷結果と同等のサイズで表示します。
	印刷データを拡大して表示します。

[詳細設定]ダイアログ

[プリント]ダイアログの[モード]で[詳細設定]をクリックして[設定変更]ボタンをクリックすると、[詳細設定]ダイアログが表示されます。印刷に関わるさまざまな機能を詳細に設定できます。

①グラフィック

グラフィックスイメージを処理する方法を選択します。

項目	説明
白黒	モノクロ印刷を行います。グレースケールや中間色は再現しません。
ハーフトーン	グラフィックイメージのハーフトーン処理を行います。グラデーションなどの無段階に階調が変化する画像をハーフトーン処理してきれいに印刷できます。

画像調整：

[ハーフトーン]選択時の印刷粗密度を、スライドバーで 2 段階に調整できます。[細かい]側にスライドするとより細かく、[粗い]側にスライドするとより粗くグラフィックを印刷します。

明暗調整：

[ハーフトーン]選択時の印刷明度をスライドバーで調整できます。[薄い]側にスライドするとより明るく、[濃い]側にスライドするとより暗くグラフィックが印刷されます。5 段階に調整できます。

②印刷品質

本機は、印刷品質(解像度)の設定を常に[きれい](600dpi)の状態で印刷します。設定は変更できません。

ポイント

印刷できない場合や、メモリ関連のエラーメッセージが表示される場合は、以下のいずれかの方法で対処してください。

- 印刷データの容量や色数を減らす。
- アプリケーションソフトに割り当てたメモリを変更する。
- [プリント]ダイアログの[拡張設定]内にある[メモリ不足回避]を有効にする。

本書 139 ページ「[拡張設定]ダイアログ」

③フォント置換する

細明朝体、中ゴシック体、等幅明朝、等幅ゴシックフォントを、別のフォントに置き換えて印刷するには、クリックしてチェックマークを付けます。プリンタドライバは、インストールしてあるフォントの中から、置き換え可能なフォントを自動的に探します。置き換え可能なフォントがない場合は、フォント置き換えを行いません。

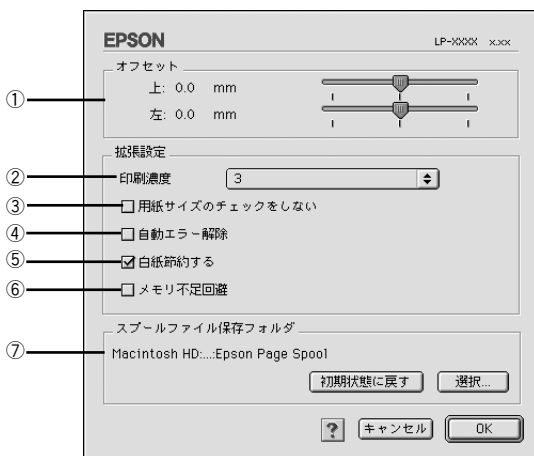
フォント置き換え機能を使用する場合は、以下のフォントを使用することできれいに印刷できます。お使いのMacintoshに以下のフォントがインストールされていない場合は、Mac OSのCD-ROMよりインストールしてお使いください。

- リュウミンライトー KL、リュウミンライトー KL ー等幅
- 中ゴシック BBB、中ゴシック BBB ー等幅

④トナーセーブ

文字の輪郭はそのままに黒ベタ部分の濃度を抑えることでトナーを節約します。試し印刷をするときなど、印刷品質にこだわらない場合にご利用ください。

［拡張設定］ダイアログ

［プリント］ダイアログの［拡張設定］アイコンをクリックすると、［拡張設定］ダイアログが表示されます。

①オフセット

印刷開始位置のオフセット値を［上］（垂直位置）と［左］（水平位置）で設定します。0.5mm単位で、次の範囲で設定できます。
上（垂直位置）：-9mm（上方向）～9mm（下方向）
左（水平位置）：-9mm（左方向）～9mm（右方向）

②印刷濃度

印刷濃度を、1（薄い）から5（濃い）までの5段階で調整します。

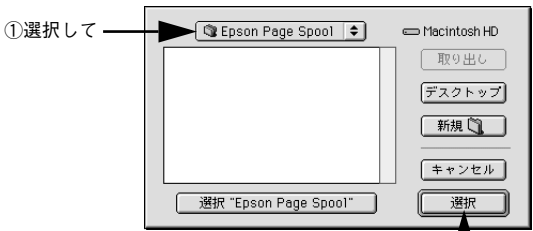
③用紙サイズのチェックをしない

プリンタドライバで設定した用紙サイズとプリンタにセットしてある用紙のサイズが合っているか確認しません。それぞれの用紙サイズが異なっていてもエラーを発生することなく印刷します。

④自動エラー解除

以下の状態のときに発生するエラーを自動的に解除して印刷を続行します。

- プリンタにセットしてある用紙のサイズと印刷データの用紙のサイズが異なる場合
- 印刷データの用紙サイズがプリンタのサポートしていないサイズの場合
- 印刷に必要なメモリが足りない場合

⑤白紙節約する

白紙ページを印刷するかしないかを選択します。白紙ページを印刷しないことで用紙を節約することができます。

⑥ メモリ不足回避

プリンタにメモリ不足が発生した場合にチェックしてください。チェックすると印刷品質を落として印刷するため、エラーを回避できることがあります。

⑦ スプールファイル保存フォルダ

印刷処理用のスプールファイルをどこに保存するかを選択できます。

ボタン	機能
［選択］	［拡張設定］ダイアログで［選択］ボタンをクリックしてフォルダの選択ダイアログを表示させ、スプールファイルを保存したいフォルダを選択してから［選択］ボタンをクリックします。 ①選択して ②クリックします
［初期状態に戻す］	スプールファイルの保存フォルダを初期状態に戻します。

［レイアウト］ダイアログ

［プリント］ダイアログで［レイアウト］アイコンをクリックすると、［レイアウト］ダイアログが表示されます。レイアウトに関わるさまざまな設定ができます。

①ページ選択

印刷データの全ページを印刷するか、奇数ページまたは偶数ページのみ印刷するかを選択します。

②フィットページ

印刷する用紙のサイズに合わせて印刷データを自動的に拡大 / 縮小する機能です。

本書 143 ページ「拡大 / 縮小して印刷するには」

- 拡大 / 縮小の倍率は［用紙設定］ダイアログで設定した用紙サイズに対して設定されます。
- ［用紙設定］ダイアログの［拡大 / 縮小率］は無効になります。

③スタンプマーク

印刷データに㊙などの画像や「重要」などのテキストを重ね合わせて印刷します。

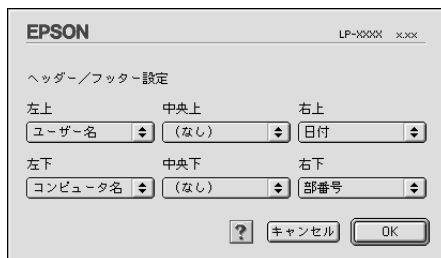
本書 145 ページ「スタンプマークを印刷するには」

④割り付け

クリックしてチェックマークを付けると、2 ページまたは 4 ページ分の連続した印刷データを 1 枚の用紙に自動的に縮小割り付けして印刷します。

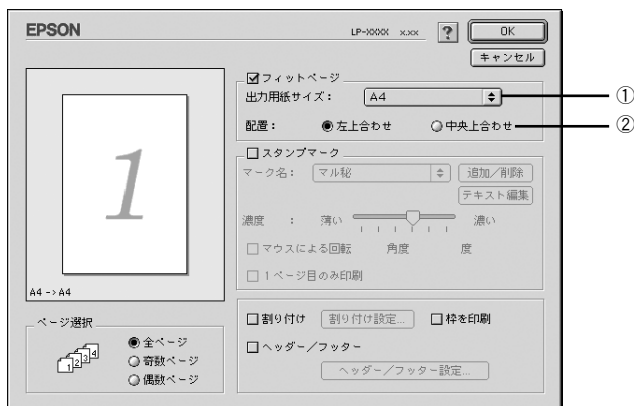
本書 150 ページ「1 ページに複数ページのデータを印刷するには」

⑤ヘッダー / フッター

ユーザー名や印刷日時など、印刷に関する情報を用紙のヘッダー（上部）/ フッター（下部）に印刷するには、チェックボックスをクリックしてチェックマークを付けます。印刷するヘッダー / フッターを設定するには、［ヘッダー / フッター設定］ボタンをクリックします。

［ヘッダー / フッター設定］ダイアログでは、印刷位置に対応するリストから印刷したい項目（なし・ユーザー名・コンピュータ名・日付・日付 / 時刻・部番号*）を選択して、［OK］ボタンをクリックします。

* ［部番号］が選択されると、プリンタドライバによる部単位印刷が行われます。

拡大 / 縮小して印刷するには

［レイアウト］ダイアログ内のフィットページ機能を使います。フィットページとは、印刷する用紙のサイズに合わせて印刷データを拡大 / 縮小する機能のことです。［フィットページ］をチェックし、印刷する用紙のサイズを選択してから印刷を実行します。

①出力用紙サイズ

［用紙設定］ダイアログで設定した用紙サイズを、ここで指定した用紙サイズに拡大または縮小して印刷します。

②配置

フィットページ印刷する場合、ページのどこに印刷するかを選択します。

項目	説明
左上合わせ	用紙の左上を基準にしてフィットページ印刷を行います。
中央合わせ	用紙の中央を基準にしてフィットページ印刷を行います。

- 拡大 / 縮小の倍率は［用紙設定］ダイアログで設定した用紙サイズに対して設定されます。
- ［用紙設定］ダイアログの［拡大 / 縮小率］は無効になります。

フィットページ印刷の手順

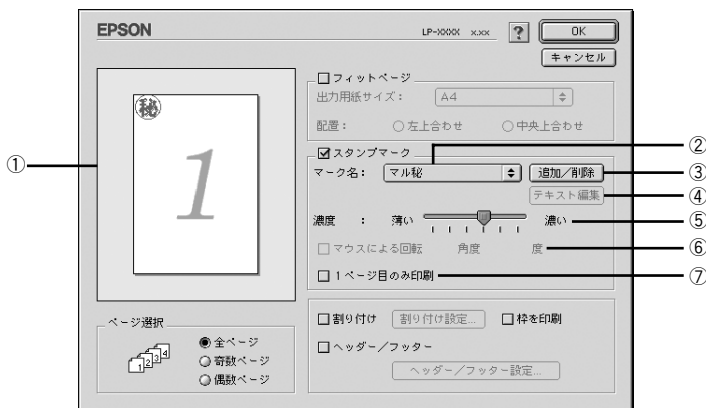
フィットページ機能を使って用紙サイズA4の印刷データをハガキサイズに縮小印刷する手順は以下の通りです。

1. プリンタにハガキサイズの用紙がセットされていることを確認します。

2. ［レイアウト］ダイアログを開いて、各項目を設定します。
この場合［用紙設定］ダイアログの［用紙サイズ］は［A4］になります。

3. ［印刷］ボタンをクリックして印刷を実行します。

スタンプマークを印刷するには

［レイアウト］ダイアログ内のスタンプマーク機能を使います。

①プレビュー部
ダイアログ左側の印刷イメージ上でスタンプマークをドラッグすると、スタンプマークの印刷位置やサイズを変更することができます。

②マーク名
印刷するスタンプマークをリストから選択します。

③［追加 / 削除］ボタン
オリジナルのビットマップ (PICT[*1] 画像) マークやテキスト（文字）マークを登録したり削除します。

*1 PICT：Macintosh の標準グラフィックファイル形式。

本書 147 ページ「オリジナルスタンプマークの登録方法」

④［テキスト編集］ボタン
登録したテキストマークを［マーク名］リストで選択してから［テキスト編集］ボタンをクリックすると、登録時と同じダイアログが表示されて、登録したテキスト、フォント、スタイルを変更することができます。

⑤濃度
スタンプマークの印刷濃度を、［濃度］バーで調整します。バーを［薄い］側に移動するとより薄く、［濃い］側に移動するとより濃くスタンプマークが印刷されます。

⑥マウスによる回転 / 角度
テキストマークを回転するときは、［マウスによる回転］をクリックしてチェックマークを付け、プレビュー部のマークをマウスで回転させるか、［角度］ボックスに回転角度を直接入力します。

⑦1 ページ目のみ印刷
用紙の 1 ページ目のみにスタンプマークを印刷します。この項目が選択されていない場合は、すべてのページにスタンプマークが印刷されます。

スタンプマーク印刷の手順

スタンプマークを印刷する場合の手順は以下の通りです。

1. ［レイアウト］ダイアログを開いて、以下の項目を設定します。

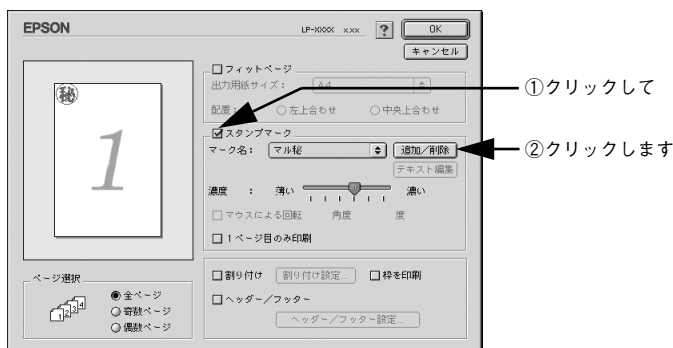
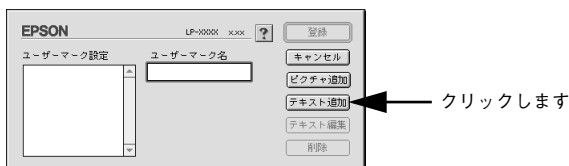
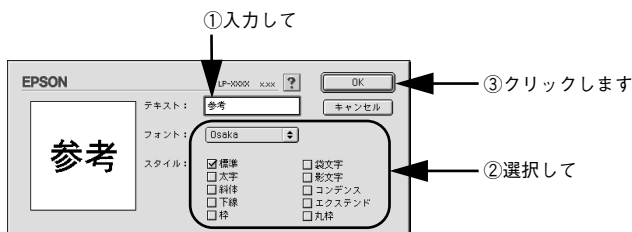
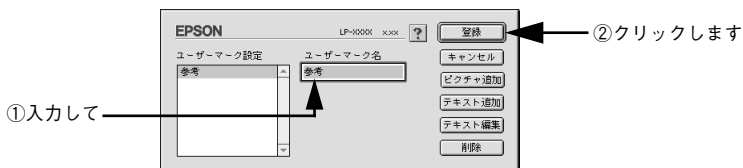
2. ［印刷］ボタンをクリックして印刷を実行します。

オリジナルスタンプマークの登録方法

すでに登録されているスタンプマークのほかに、テキスト（文字）マークやビットマップ（画像）マークが登録できます。登録するマークの種類に合わせて、それぞれの手順をお読みください。

- オリジナルスタンプマークは 32 件まで登録することができます。
- プリンタドライバを再インストールした場合でも、登録されたスタンプマークは保持されます。

テキストマークの登録方法

1. ［レイアウト］ダイアログを開いて、［スタンプマーク］をクリックしてチェックマークを付け、［追加 / 削除］ボタンをクリックします。

2. ［テキスト追加］ボタンをクリックします。

3. ［テキスト］ボックスに文字を入力し、［フォント］と［スタイル］を選択して、［OK］ボタンをクリックします。

4 ［ユーザーマーク名］を入力して、［登録］ボタンをクリックします。

これで［スタンプマーク］ダイアログの［マーク名］のポップアップメニューにオリジナルのスタンプマークが登録されました。

- 登録したテキストマークを変更するには、変更したいテキストマーク名を［ユーザーマーク設定］リストから選んで［テキスト編集］ボタンをクリックします。変更した後、必ず一旦ダイアログを閉じてください。
- 登録したスタンプマークを削除するには、削除したいスタンプ名を［ユーザーマーク設定］リストから選んで［削除］ボタンをクリックします。［削除］ボタンをクリックした後、必ず一旦ダイアログを閉じてください。

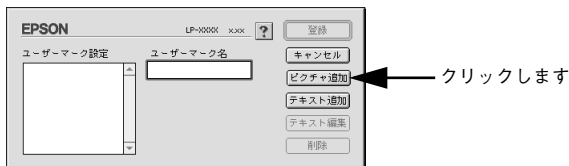
5 ［スタンプマーク］ダイアログで［OK］ボタンをクリックします。

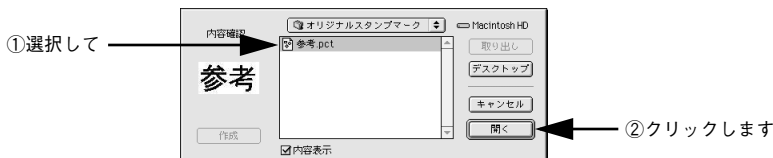
画面左側のプレビュー部で登録したスタンプマークを確認できます。

ビットマップマークの登録方法

1 アプリケーションソフトでオリジナルのスタンプマークを作成し、PICT 形式で保存します。

2 ［レイアウト］ダイアログを開いて、［スタンプマーク］をクリックしてチェックマークを付け、［追加 / 削除］ボタンをクリックします。

3 ［ピクチャ追加］ボタンをクリックします。

4 ❶ で保存した PICT ファイル名を選択し、［開く］ボタンをクリックします。

［作成］ボタンをクリックすると、ファイルのサンプル画像を表示します。

5 ［ユーザーマーク名］を入力して、［登録］ボタンをクリックします。

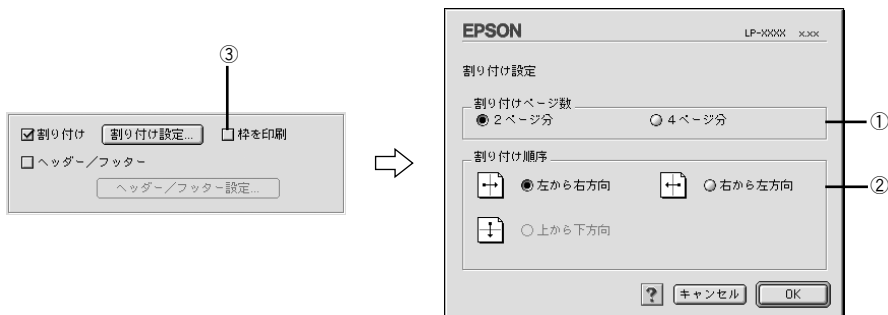
これで［スタンプマーク］ダイアログの［マーク名］のポップアップメニューにオリジナルのスタンプマークが登録されました。

登録したスタンプマークを削除するには、削除したいスタンプ名を［ユーザーマーク設定］リストから選んで［削除］ボタンをクリックします。［削除］ボタンをクリックした後、必ず一旦ダイアログを閉じてください。

6 ［スタンプマーク］ダイアログで［OK］ボタンをクリックします。

画面左側のプレビュー部で登録したスタンプマークを確認できます。

1 ページに複数ページのデータを印刷するには

［レイアウト］ダイアログで［割り付け］をクリックしてチェックマークを付け、［割り付け設定］ボタンをクリックすると、［割り付け設定］ダイアログが開いて以下の項目が設定できます。

①割り付けページ数

1ページに割り付けるページ数を選択します。

②順序

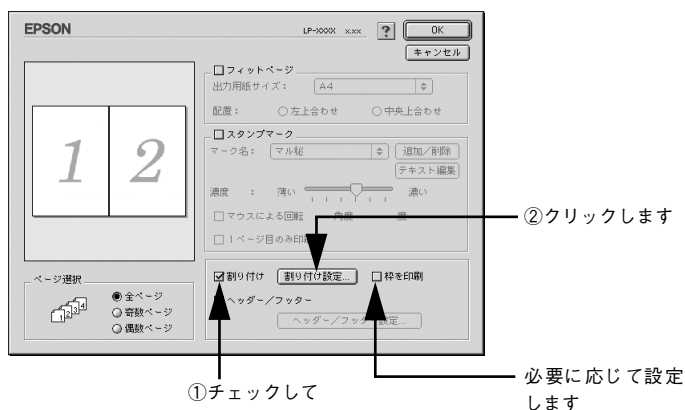
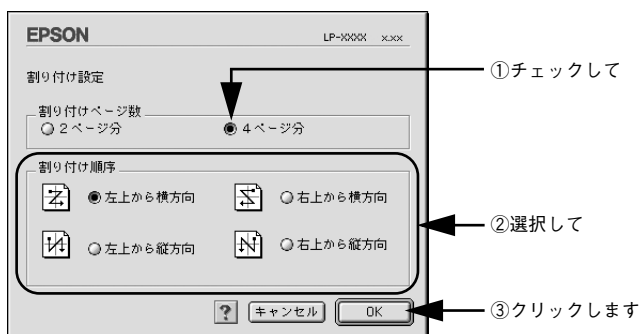
割り付けたページを、どのような順番で配置するのか選択します。［印刷方向］（縦・横）と［割り付けページ数］によって、選択できる割り付け順序は異なります。

③枠を印刷

割り付けた各ページの周りに枠線を印刷するときにチェックマークを付けます。

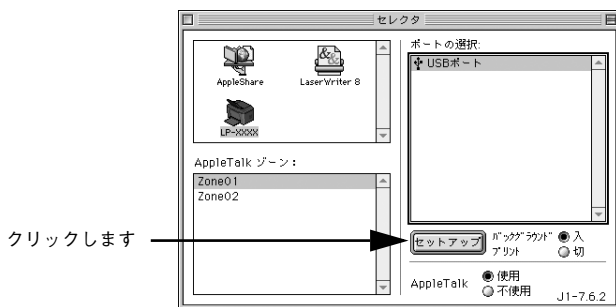
割り付け印刷の手順

4 ページ分の連続したデータを 1 枚の用紙に印刷する場合の手順は以下の通りです。

1. ［レイアウト］ダイアログを開いて、以下の項目を設定します。

2. ［割り付け設定］ダイアログの以下の項目を設定します。

3. ［OK］ボタンをクリックして［レイアウト］ダイアログを閉じ、［プリント］ダイアログの［印刷］ボタンをクリックして印刷を実行します。

［プリンタセットアップ］ダイアログ

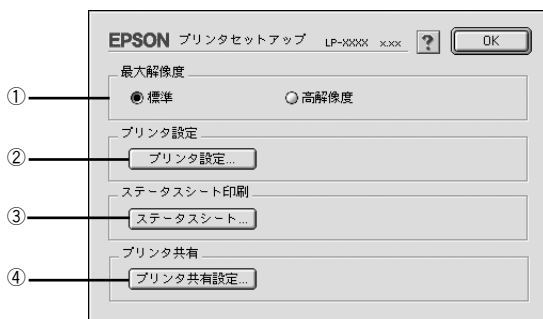
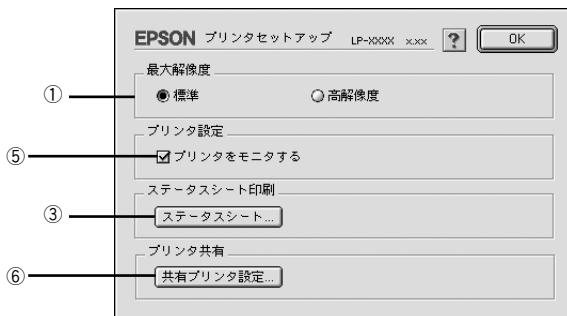
［プリンタセットアップ］ダイアログではプリンタの基本的な設定を行います。アップルメニューからセレクタを開いてプリンタを選択したら、［セットアップ］ボタンをクリックして、［プリンタセットアップ］ダイアログを開いて機能を設定してください。

☞ スタートアップガイド 28 ページ「プリンタドライバの選択」

本機はネットワーク上で共有することができます。共有を許可する Macintosh 側と共有プリンタを使用する側の Macintosh で、表示されるダイアログが以下のように異なります。

ポイント

Macintosh でプリンタを共有するには、以下のページを参照してください。

☞本書 157 ページ「Macintosh でプリンタを共有するには」

共有を許可する側の Macintosh

共有プリンタを使用する側のMacintosh

① 最大解像度

プリンタが対応できる解像度をアプリケーションソフト側に伝えます。印刷を実行すると、アプリケーションソフトは伝えられた解像度の中から最適な解像度を選択し、データをプリンタドライバに渡します。

項目	説明
標準	本機の解像度を 72dpi/300dpi としてアプリケーションソフト側に伝えます。通常はこの設定で使用してください。
高解像度	本機の解像度を72dpi/300dpi/600dpiとしてアプリケーションソフト側に伝えます。

ポイント

- 本項目は、印刷時の解像度を設定するものではありません。印刷解像度は印刷設定ダイアログの［モード設定］で設定します。
- 本項目は、使用しているアプリケーションソフトが対応している解像度に合わせて設定してください。

②［プリンタ設定］ボタン

このボタンをクリックすると［プリンタ設定］ダイアログが開き、プリンタのさまざまな機能が設定できます。詳しくは、以下のページを参照してください。

本書155ページ「［プリンタ設定］ダイアログ」

③［ステータスシート］ボタン

ステータスシートを印刷します。プリンタの状態を表すダイアログが表示されますので、そのダイアログで［ステータスシート印刷］ボタンをクリックすると印刷されます。

④［プリンタ共有設定］ボタン

ネットワーク環境で本機を複数のMacintoshで共有するときにクリックします。プリンタ共有を許可する側のMacintoshで［プリンタセットアップ］ダイアログを開いた場合は、［プリンタ共有設定］ボタンをクリックして［プリンタ共有設定］ダイアログを表示させます。ネットワーク上のほかのMacintoshのセレクタから選択できるように、共有するプリンタの［共有名］と、接続する際の［パスワード］を設定してください。

⑤プリンタをモニタする

共有プリンタを利用する側の［プリンタセットアップ］ダイアログで表示されます。EPSONプリンタウィンドウ!3でプリンタの状態を監視するかどうかを選択します。

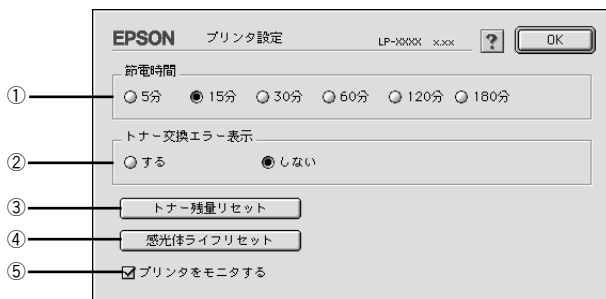
⑥［共有プリンタ設定］ボタン

ネットワーク環境の共有プリンタを使用するときにクリックできます。ネットワーク上でプリンタの共有を許可される側のMacintoshで［プリンタセットアップ］ダイアログを開いた場合は、［共有プリンタ設定］ボタンをクリックすると［共有プリンタの情報］ダイアログが表示されます。［共有プリンタの情報］ダイアログでは、共有プリンタに関する以下の情報を表示します。情報を確認したら、［OK］ボタンをクリックしてダイアログを閉じてください。

項目	説明
共有プリンタ名	共有プリンタの名前です。
コンピュータ名	プリンタが直接接続されている共有を許可する側のコンピュータ名です。
このプリンタで扱えないフォント	共有プリンタで使用できないフォントのリストを表示します。表示されたフォントは本機では使用できません。

リストに表示されているフォントで文書を作成した場合、別のフォントで印刷され、印刷結果は画面での表示と異なります。

［プリンタ設定］ダイアログ

セレクタから［プリンタセットアップ］ダイアログを開き、［プリンタ設定］ボタンをクリックすると、［プリンタ設定］ダイアログが開きます。

設定を変更した場合は、必ず［OK］ボタンをクリックしてダイアログを閉じてください。

① 節電時間

節電状態に入るまでの時間*1（5 分、15 分、30 分、60 分、120 分、180 分）を設定します。頻繁に印刷することがない場合は、本機能により印刷待機時の消費電力を節約することができます。最後の印刷が終了してから、指定した時間（初期設定 15 分）が経過すると節電状態になります。節電状態のときは、印刷するデータを受け取るとまず数秒間ウォーミングアップを行ってから、印刷を開始します。

*1 OFF（節電しない）の設定はできません。

② トナー交換エラー表示

トナーがなくなった場合の対応を設定できます。

- ［しない］に設定した場合、トナーがなくなっても交換を促すメッセージを表示しません。（初期設定）
- ［する］に設定した場合、トナーがなくなると印刷を停止し、交換を促すメッセージを表示します。

③［トナー残量リセット］ボタン

クリックすると［トナー残量リセット］ダイアログが表示されます。ET カートリッジのトナー残量カウンタをリセットする場合に［OK］ボタンをクリックします。

新しい ET カートリッジと交換したときのみ、カウンタをリセットしてください。不必要にリセットすると、EPSON プリンタウィンドウ !3 はトナー残量を正しく表示できなくなります。

④［感光体ライフリセット］ボタン

クリックすると［感光体ライフリセット］ダイアログが表示されます。感光体ユニットのライフ（寿命）カウンタをリセットする場合に［OK］ボタンをクリックします。

新しい感光体ユニットと交換したときのみ、カウンタをリセットしてください。不必要にリセットすると、EPSON プリンタウィンドウ !3 は感光体ライフを正しく表示できなくなります。

⑤プリンタをモニタする

EPSON プリンタウィンドウ !3 でプリンタの状態を監視するかどうかを選択します。

［バックグラウンドプリント］を［切］に設定すると、EPSON プリンタウィンドウ !3 はプリンタの監視をしなくなります。

Macintosh でプリンタを共有するには

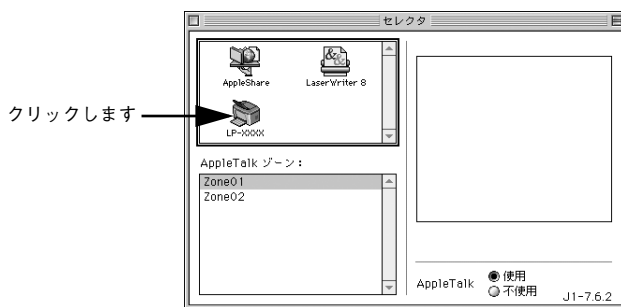
Macintosh のネットワーク環境でプリンタを共有する方法を説明します。

プリンタを共有するには

ネットワーク上のほかのユーザーがプリンタを共有できるようにするには、プリンタを直接接続した Macintosh で以下の設定を行ってください。

1. プリンタの電源をオン (I) にします。

2. アップルメニューからセレクタをクリックして開きます。

3. プリンタドライバ［LP-1300］を選択します。

ポイント

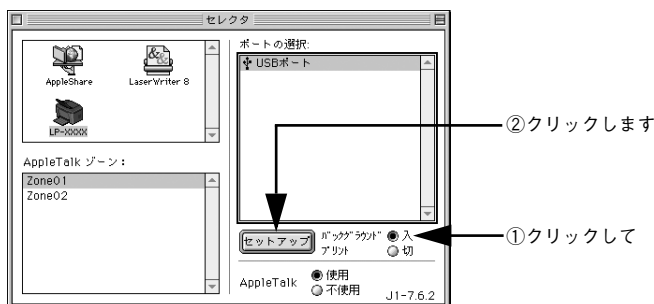
QuickDraw GX は使用できません。プリンタドライバのアイコンが表示されない場合は、QuickDraw GX を使用停止にしてください。
スタートアップガイド 26 ページ「システム条件の確認」

4 **USB ポートを選択します。**

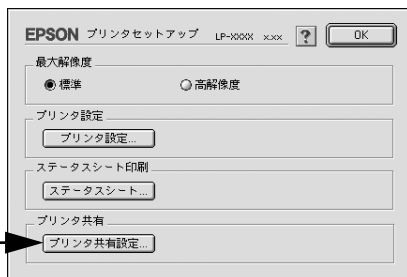
同機種のプリンタが複数接続されている場合は［USB ポート（1）］、［USB ポート（2）］などと表示します。使用するポート番号を選択します。

ポイント

USB 接続で［ポートの選択］に何も表示されない場合は、コンピュータとプリンタの接続状態が正しいか、プリンタの電源がオンになっているかを確認してください。

5 **［バックグラウンドプリント］を［入］設定して、［セットアップ］ボタンをクリックします。**

- ［バックグラウンドプリント］については、以下のページを参照してください。
  本書 169 ページ「バックグラウンドプリントを行う」
- ［セットアップ］ボタンをクリックして開く［プリンタセットアップ］ダイアログの詳細については、以下のページを参照してください。
  本書 152 ページ「［プリンタセットアップ］ダイアログ」

プリンタの共有を設定すると、[バックグラウンドプリント]は常に[入]に設定されます。プリンタの共有時は[切]に設定できません。

6 [プリンタ共有設定]ボタンをクリックします。

7 [このプリンタを共有]をクリックしてチェックマークを付けます。

8 [共有名]と[パスワード]を入力して、[OK]ボタンをクリックします。

ポイント

- ここで入力したプリンタの［共有名］が、ネットワーク上のほかのユーザーのセレクタに表示されます。
- 共有プリンタを利用できるユーザーを制限するために、［パスワード］を設定してください。
- 共有プリンタが作成されますので、以下のダイアログが表示されている間はしばらくお待ちください。

「共有プリンタ（LP-XXXX)」を作成しています。しばらくお待ちください。

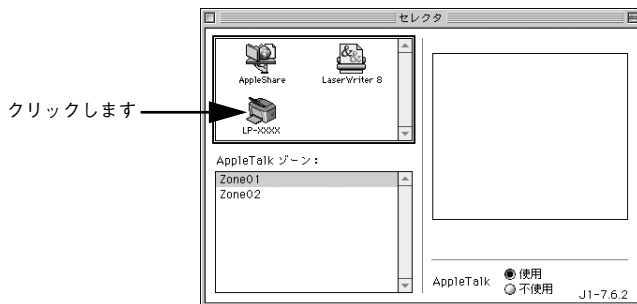
9 ［OK］ボタンをクリックして［プリンタセットアップ］ダイアログを閉じます。

10 ［セレクタ］ダイアログ左上のクローズボックスをクリックしてダイアログを閉じます。

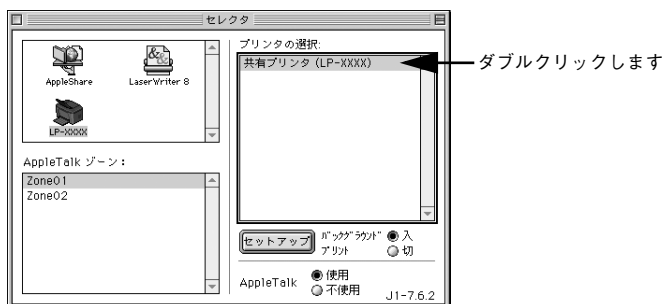
共有プリンタを使用するには

ネットワーク上の共有プリンタを使用するには、各ユーザーの Macintosh から以下の手順に従って共有プリンタに接続してください。

1 ネットワーク上の共有プリンタの電源がオン（ I ）になっていることを確認します。

2 アップルメニューからセレクタをクリックして開きます。

3 プリンタドライバ［LP-1300］を選択します。

QuickDraw GX は使用できません。プリンタドライバのアイコンが表示されない場合は、QuickDraw GX を使用停止にしてください。
スタートアップガイド 26 ページ「システム条件の確認」

4 共有プリンタをダブルクリックして選択します。

- 共有プリンタのパスワードが変更されている場合は、5 へ進んでください。
- パスワードが変更されていない共有プリンタにすでに一度接続している場合や、共有プリンタにパスワードが設定されていない場合は、6 へ進んでください。

- 共有プリンタの名前は、共有を許可している Macintosh のユーザーにお尋ねください。
- 共有プリンタの名前が表示されない場合や、共有プリンタの名前をダブルクリックしても何も表示されない場合は、コンピュータとプリンタの接続状態が正しいか、プリンタの電源がオンになっているかを確認してください。
- 共有プリンタのパスワードが変更されていない場合は、［セットアップ］ボタンを押すと［プリンタセットアップ］ダイアログが表示されます。6 へ進んでください。

5 共有プリンタへ接続するためのパスワードを入力します。

共有プリンタのパスワードは、共有を許可している Macintosh のユーザーにお尋ねください。

6 ［プリンタセットアップ］ダイアログで必要な設定を行ってから、［OK］ボタンをクリックしてダイアログを閉じます。

本書 152 ページ「［プリンタセットアップ］ダイアログ」

7 ［バックグラウンドプリント］を設定します。

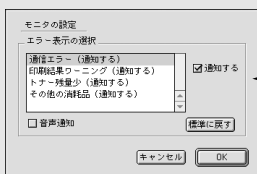
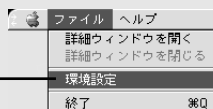
本書 169 ページ「バックグラウンドプリントを行う」

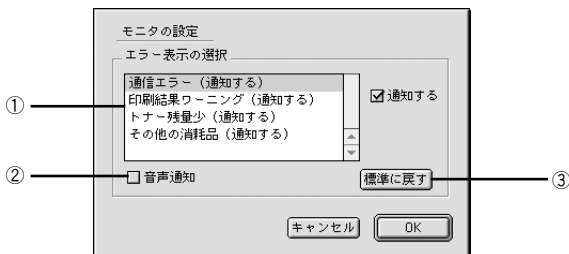
セレクタ
AppleShare
LaserWriter 8
LP-XXXX
AppleTalk ゾーン：
Zone01
Zone02
プリンタの選択:
共有プリンタ（LP-XXXX）
セットアップ
バックグラウンドプリント
入
切
AppleTalk
使用
不使用
J1-7.6.2
どちらかを選択します

［バックグラウンドプリント］を［入］にすると、印刷しながら Macintosh でほかの作業ができます。ただし、ご使用の Macintosh によってはマウスカーソルが滑らかに動かなくなったり、印刷時間が長くなる場合があります。印刷速度を優先する場合は、［切］を選択してください。

8 ［セレクタ］ダイアログ左上のクローズボックスをクリックしてダイアログを閉じます。

以上で共有プリンタへの接続が終了しました。このあとは、通常のプリンタのように［用紙設定］ダイアログや［プリント］ダイアログを設定して印刷してください。

EPSON プリンタウィンドウ !3 とは

EPSON プリンタウィンドウ !3 は、プリンタの状態をコンピュータ上でモニタできるユーティリティです。

［モニタの設定］ダイアログ

EPSON プリンタウィンドウ!3 を起動して、［ファイル］メニューから［環境設定］をクリックすると、［モニタの設定］ダイアログが表示されます。EPSON プリンタウィンドウ!3 のモニタ機能を設定します。

①エラー表示の選択

選択項目にあるエラーまたはワーニングを、画面通知するかどうかを選択します。リスト内のエラー状況を選択して［通知する］チェックボックスをクリックしてチェックマークを付けると、チェックマークを付けたエラーまたはワーニングが発生したときにポップアップウィンドウが現われ、対処方法が表示されます。

②音声通知

エラー発生時に音声でも通知します。

ポイント

お使いのコンピュータにサウンド機能がない場合、音声通知機能は使用できません。

③［標準に戻す］ボタン

［エラー表示の選択］を標準（初期）設定に戻します。

プリンタの状態を確かめるには

EPSON プリンタウィンドウ !3 でプリンタの状態を確かめるために、次の方法で［プリンタ詳細］ウィンドウを開くことができます。この［プリンタ詳細］ウィンドウは、消耗品などの詳細な情報も表示します。また、印刷中にエラーが発生した場合も［プリンタ詳細］ウィンドウを表示することが可能です。

本書 167 ページ「［プリンタ詳細］ウィンドウ」

EPSON プリンタウィンドウ !3 を起動する前に、監視したいプリンタが［セレクタ］で選択されているか確認してください。

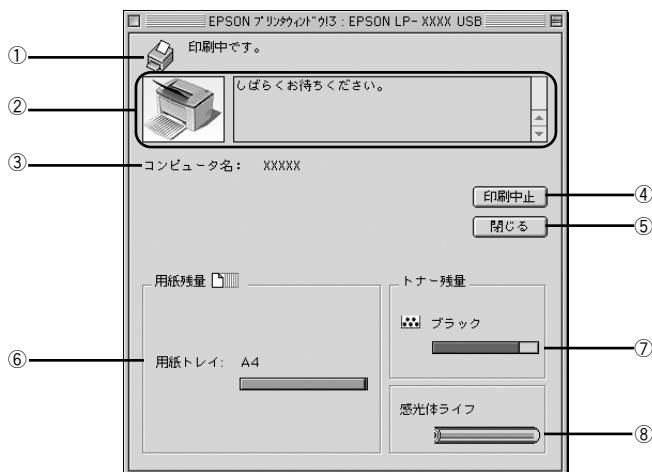
［プリンタ詳細］ウィンドウの起動方法

［アップル］メニューから［EPSON プリンタウィンドウ !3］をクリックします。EPSON プリンタウィンドウ !3 が起動し、［プリンタ詳細］ウィンドウが表示されます。

アプリケーションソフトから印刷を実行中にエラーが発生した場合、プリンタの状態を示すポップアップウィンドウがコンピュータのモニタ上に表示されます。

- ［消耗品詳細］ボタンをクリックすると［プリンタ詳細］ウィンドウに切り替わります。
- エラーが発生して［対処方法］ボタンが表示された場合は、ボタンをクリックすると対処方法を説明するダイアログが表示されます。

［プリンタ詳細］ウィンドウ

EPSON プリンタウィンドウ !3 の［プリンタ詳細］ウィンドウは、プリンタの詳細な情報を表示します。

①アイコン / メッセージ

プリンタの状態に合わせてアイコンが表示され、状況をお知らせします。

②プリンタ / メッセージ

プリンタの状態を知らせたり、エラーが発生した場合にその状況や対処方法をメッセージでお知らせします。

本書 168 ページ「対処が必要な場合は」

③コンピュータ名

現在印刷中のコンピュータ名を表示します。

④［印刷中止］ボタン

現在処理中の印刷を中止して、データを削除します。プリンタが印刷動作を続行している時にクリックすると、他の印刷データを削除する場合がありますので注意してください。

⑤［閉じる］ボタン

ウィンドウを閉じます。

⑥用紙残量

給紙装置にセットされている用紙サイズと用紙残量の目安を表示します。

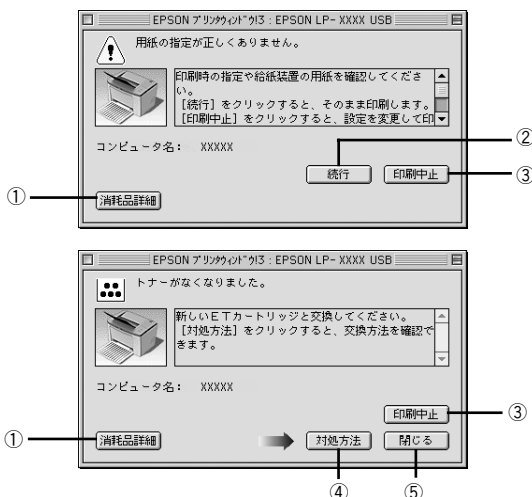
⑦トナー残量

ET カートリッジのトナー残量の目安を表示します。

⑧感光体ライフ

感光体ユニットがあとどれくらい使用できるか、寿命（ライフ）の目安を表示します。

対処が必要な場合は

プリンタに何らかの問題が起こった場合は、EPSON プリンタウィンドウ !3 のポップアップウィンドウがコンピュータのモニタに現れ、メッセージを表示します。メッセージに従って対処してください。メッセージのエラーが解除されると自動的にウィンドウが閉じます。

ポップアップウィンドウの下側に、いくつかのボタンがあります。

①［消耗品詳細］ボタン

クリックすると、［プリンタ詳細］ウィンドウに切り替わり、消耗品の詳細な情報を表示します。

本書 167 ページ「［プリンタ詳細］ウィンドウ」

②［続行］ボタン：

表示されているエラーを無視して印刷を続行します。続行すると画面と異なる状態で印刷されたり、エラーの発生したページが印刷されないことがあります。

③［印刷中止］ボタン

現在処理中の印刷を中止して、データを削除します。プリンタが印刷動作を続行している時にクリックすると、他の印刷データを削除する場合がありますので注意してください。

④［対処方法］ボタン

順を追って対処方法を詳しく説明します。

⑤［閉じる］ボタン

ポップアップウィンドウを閉じます。メッセージを読んでからウィンドウを閉じてください。

バックグラウンドプリントを行う

バックグラウンドプリントとは、Macintosh がほかの作業を行いながら同時にプリンタで印刷を行うことです。バックグラウンドプリントを行う場合は、Macintosh ツールバーの一番左の［アップル］メニューから［セレクタ］を選び、［バックグラウンドプリント］の［入］をクリックしてください。

- ［バックグラウンドプリント］を［入］に設定すると、印刷実行中も Macintosh で他の作業ができますが、Macintosh によってはマウスカーソルが滑らかに動かなくなったり、印刷時間が長くなることがあります。印刷速度を優先する場合は、［バックグラウンドプリント］を［切］に設定してください。
- プリンタの共有を設定すると、［バックグラウンドプリント］は常に［入］に設定されます。プリンタの共有時は［切］に設定できません。

印刷状況を表示する

［セレクタ］で［バックグラウンドプリント］を［入］にした場合、印刷実行時に EPSON プリントモニタ !3 が使用できます。EPSON プリントモニタ !3 は、印刷中にツールバーの一番右の［アプリケーション］メニューから開くことができます。ウィンドウが閉じているときは、［ファイル］メニューの［開く］を選択します。

①プリント中
現在バックグラウンドで印刷中のファイル名が表示されます。

②プリント待ち
印刷待ちをしている印刷ファイル名が表示されます。

③［プリント中止］ボタン
進行中の印刷（［プリント中］に表示されている印刷ファイルの印刷）を中止します。

印刷を一時停止したり再開するには、EPSON プリントモニタ !3 の［ファイル］メニューから［一時停止］や［印刷再開］を選択します。

④［削除］ボタン
印刷待ちをしている印刷ファイルを削除するには、［プリント待ち］に表示されている印刷ファイル名をクリックして、［削除］ボタンをクリックします。

印刷の中止方法

印刷処理を中止するときは、以下のいずれかの方法でコンピュータ上の印刷データを削除します。

- **コマンド（⌘）キーを押したままピリオド（.）キーを押して、印刷を中止します。**
  アプリケーションソフトによっては、印刷中にダイアログを表示するものがあります。印刷を中止するボタン（[キャンセル] など）をクリックして印刷を強制的に終了します。

- **バックグラウンドプリントを行っている場合は、EPSON プリンタウィンドウ !3 から印刷を中止します。**

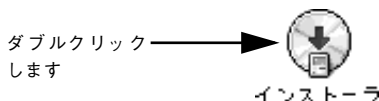
① EPSON プリントモニタ !3 を開いて、印刷状況を確かめます。
本書 170 ページ「印刷状況を表示する」
② EPSONプリントモニタ!3で印刷を中止したり、待機中の印刷ファイルを削除します。
印刷中の最後のページが排紙されると、プリンタの印刷可ランプが点灯します。

プリンタソフトウェアの削除方法

プリンタソフトウェアを再インストールする場合やバージョンアップする場合は、すでにインストールしているプリンタソフトウェア（プリンタドライバ、EPSON プリンタウィンドウ!3）を削除（アンインストール）する必要があります。

1. 起動しているアプリケーションソフトを終了し、Macintosh を再起動します。

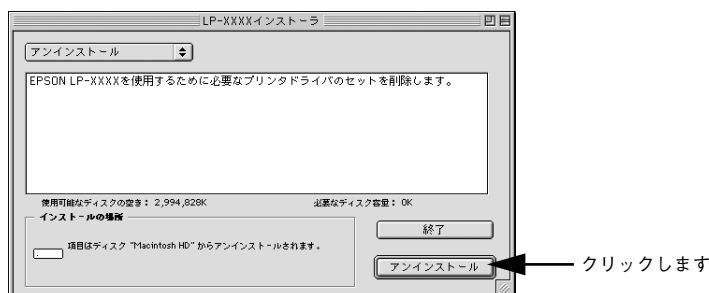
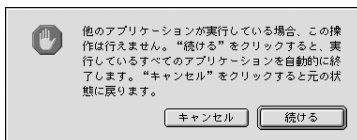
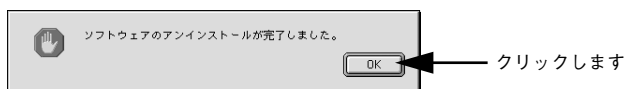
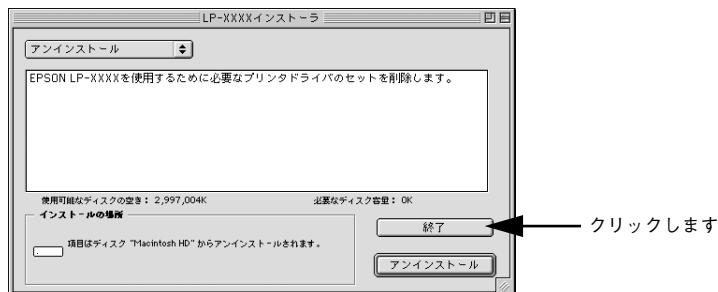
2. EPSON プリンタソフトウェア CD-ROM を Macintosh にセットします。

3. ［インストーラ］をダブルクリックします。

4. ［ドライバ・ユーティリティのインストール］をクリックして［次へ］をクリックします。

5. 使用許諾契約書の画面が表示されたら［同意］をクリックします。

6 インストーラの画面左上にあるメニューから［アンインストール］を選択します。

7 ［アンインストール］ボタンをクリックします。

プリンタソフトウェアの削除が始まります。

以下の画面が表示された場合、起動しているアプリケーションソフトが強制的に終了されても問題がないかを確認して［続ける］ボタンをクリックします。アプリケーションソフトを強制的に終了すると作成中のデータが消えてしまう場合などは、［キャンセル］ボタンをクリックしてアンインストールを中断し、アプリケーションソフトを終了してから、プリンタソフトウェアをアンインストールしてください。

8 ［OK］ボタンをクリックします。

9 ［終了］ボタンをクリックします。

以上でプリンタソフトウェアの削除は終了です。

添付されているフォントについて

本製品の CD-ROM に収録されているバーコードフォント（Windows のみ）の使い方と、TrueType フォントのインストール方法について説明しています。

EPSON バーコードフォントの使い方（Windows）

通常バーコードを作成するには、データキャラクタ（バーコードに登録する文字）のほかに様々なコードやキャラクタを指定したり、OCR-B[*1] フォント（バーコード下部の文字）を指定する必要があります。EPSON バーコードフォントは、これらのバーコードやキャラクタを自動的に設定し、各バーコードの規格に従ってバーコードシンボルを簡単に作成、印刷することができるフォントです。

[*1] OCR-B：光学的文字認識に用いる目的で開発され JISX9001 に規定された書体の名称。

EPSON バーコードフォントは、次の種類のバーコードをサポートしています。EPSON バーコードフォントは、本機に同梱のプリンタドライバ上でのみ使用可能です。

バーコードの規格	フォント名称	OCR-B	チェックデジット[*2]	備考
JAN	EPSON JAN-8	あり	あり	JAN（短縮バージョン）のバーコードを作成します。
	EPSON JAN-8 Short	あり	あり	JAN（短縮バージョン）の、バーの高さを短くしたバーコードを作成します。日本国内でのみ使用可能です。
	EPSON JAN-13	あり	あり	JAN（標準バージョン）のバーコードを作成します。
	EPSON JAN-13 Short	あり	あり	JAN（標準バージョン）の、バーの高さを短くしたバーコードを作成します。日本国内でのみ使用可能です。
UPC-A	EPSON UPC-A	あり	あり	UPC-A のバーコードを作成します。
UPC-E	EPSON UPC-E	あり	あり	UPC-E のバーコードを作成します。
Code39	EPSON Code39	なし	なし	OCR-B、チェックデジットの有無をフォント名称で指定できます。
	EPSON Code39 CD	なし	あり	
	EPSON Code39 CD Num	あり	あり	
	EPSON Code39 Num	あり	なし	
Code128	EPSON CODE128	なし	あり	Code128のバーコードを作成します。
Interleaved 2of5	EPSON ITF	なし	なし	OCR-B、チェックデジットの有無をフォント名称で指定できます。
	EPSON ITF CD	なし	あり	
	EPSON ITF CD Num	あり	あり	
	EPSON ITF Num	あり	なし	
NW-7（CODABAR）	EPSON NW-7	なし	なし	OCR-B、チェックデジットの有無をフォント名称で指定できます。
	EPSON NW-7 CD	なし	あり	
	EPSON NW-7 CD Num	あり	あり	
	EPSON NW-7 Num	あり	なし	
新郵便番号	EPSON J-Postal Code	なし	あり	新郵便番号に対応したバーコードを作成します。

[*2] チェックデジット：読み取りの正確性を保つために、所定の計算式に基づいて計算されたキャラクタ。

注意事項

プリンタドライバの設定について

バーコードを印刷するには、プリンタドライバで次のように設定してください。

ダイアログ	項目	設定値
［基本設定］-［詳細設定］	［トナーセーブ］	チェックマークなし（OFF）
［レイアウト］	［拡大 / 縮小］	チェックマークなし（OFF）
	［割り付け］	チェックマークなし（OFF）

文字の装飾 / 配置について

- 文字の装飾（ボールド / イタリック / アンダーライン等）、網掛けは行わないでください。
- 背景色は、バーコード部分とのコントラストが低下する色を避けてください。
- 文字の回転を行う場合、回転角度は 90 度、180 度、270 度以外は指定しないでください。
- 文字間隔の変更は行わないでください。
- アプリケーションソフトが文字間隔の自動調整機能や、スペース（空白）部分で単語間隔の自動調整機能を持っている場合、その機能を使用しないように設定してください。
- 文字の縦あるいは横方向のみを拡大 / 縮小しないでください。
- アプリケーションソフトのオートコレクト機能は使用しないでください。
（例＜＝＞ ⇨ ⟺ ）

入力時の注意について

- バーコードフォントを選択したままスペースを入力すると、スペースがバーコードの一部となる場合があり、バーコードとして使用できません。
- アプリケーションソフトウェアで改行を示すマークの表示 / 非表示を選択できる場合、バーコードの部分とそうでない部分が区別しやすいよう、改行マークが表示される設定で使用することをお勧めします。
- 入力した文字をバーコードに変換する際に、バーコードとして必要なキャラクタを自動的に追加するため、バーコードの長さは文字入力時よりも長くなる場合があります。バーコードの周囲の文字列がバーコードと重複しないように注意してください。
- バーコードのフォントサイズは、本書「各バーコードについて」の表中に記載されている保証サイズで作成していただくことをお勧めします。保証サイズ以外のサイズで作成した場合、読み取り機で読み取れないことがあります。
☞ 本書 182 ページ「各バーコードの概要」

トナーの濃度や紙質によっては、印刷されたバーコードが読み取り機で読み取れない場合があります。お使いの読み取り機で認識テストしてからご利用いただくことをお勧めします。

システム条件

EPSON バーコードフォントをご利用いただくには、Windows でのシステム条件のほかに以下の条件が必要です。

☞ スタートアップガイド 16 ページ「システム条件の確認」

ハードディスク：15 〜 30KB の空き容量（書体ごとに異なります）

バーコードフォントのインストール

1. Windowsを起動してから、EPSONプリンタソフトウェア CD-ROM をコンピュータにセットします。

2. 以下の画面が表示されたら［フォントのインストール］をクリックして［次へ］をクリックします。

上記の画面が表示されない場合は、［マイコンピュータ］－［CD-ROM］－［setup.exe］をダブルクリックしてください。

3 **以下の画面が表示されたら［バーコードフォントのインストール］をクリックして［次へ］をクリックします。**

4 **使用許諾契約書の画面が表示されたら内容を確認し、［同意する］をクリックします。**

5 **インストールするバーコードフォントをチェックして［セットアップ実行］ボタンをクリックします。**

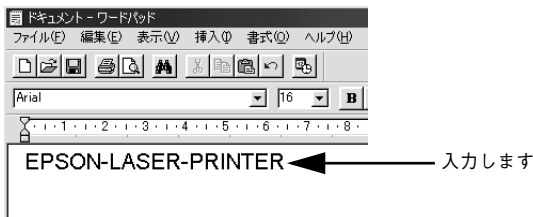
使用しないバーコードフォントは、クリックしてチェックマークを外してください。インストールされません。

6 **インストール終了のダイアログが表示されたら、［OK］ボタンをクリックします。**

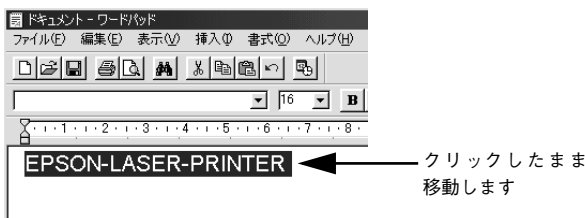
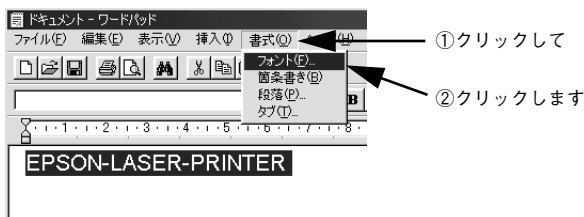
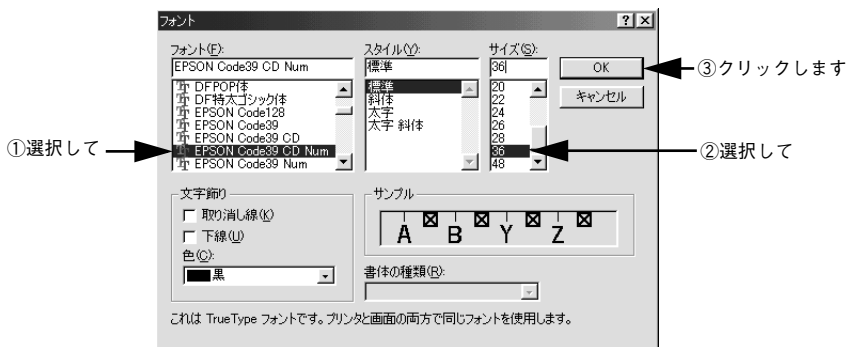
以上でEPSON バーコードフォントが Windows のフォントフォルダにインストールされました。

バーコードの作成

ここでは Windows 95/98/Me に添付のワードパッドを例に、EPSON バーコードフォントの印刷手順を説明します。

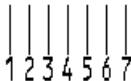
1. **ワードパッドを起動し、バーコード変換する文字を入力します。**

文字はすべて半角（1Byte）で入力してください。

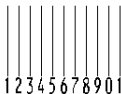
2. **入力した文字をマウスでドラッグして選択します。**

選択した範囲が反転表示になります。

3. **［書式］メニューをクリックし、［フォント］をクリックします。**

4 ［フォント］の一覧から印刷したいEPSON バーコードフォントを選択し［サイズ］でフォントのサイズを設定し、［OK］ボタンをクリックします。

Windows NT4.0/2000/XP では 96pt 以上のフォントサイズは使用できません。

5 入力した文字が、モニタ上で次のようにバーコードフォント表示されていることを確認します。

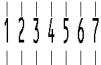
6 印刷を実行します。

入力したデータがバーコードとして印刷されます。

入力したデータが不適当な場合などプリンタドライバがエラーと判断した場合は、画面表示と同様のフォントが出力されます。この場合バーコードとして読み取りはできません。

各バーコードの概要

各バーコードの仕様や、入力するデータキャラクタの詳細 / 構成などについては、それぞれのバーコードの規格に関する文献を参照してください。

<table>
<tr><th colspan="4">JAN-8（JAN 短縮バージョン）</th></tr>
<tr><td colspan="4">• JAN-8 は「JIS X 0501」として規格化された JAN の短縮バージョン（8 桁）です。
• EPSON バーコードフォントは末尾のチェックキャラクタを自動的に挿入するため、入力するキャラクタは 7 桁です。</td></tr>
<tr><td>入力可能なキャラクタ</td><td colspan="3">数字（0 ～ 9）</td></tr>
<tr><td>入力するキャラクタの桁数</td><td colspan="3">7 桁</td></tr>
<tr><td>キャラクタのサイズ</td><td colspan="3">52 ～ 130pt（Windows NT/2000/XP は 96pt まで）
保証サイズは 52pt、65pt（標準）、97.5pt、130pt</td></tr>
<tr><td colspan="4">次のものは自動的に挿入 / 設定が行われるため、入力は不要です。
• レフト / ライトマージン　• レフト / ライトガードバー
• チェックキャラクタ　• OCR-B　• センターバー</td></tr>
<tr><td rowspan="2">印刷例</td><td>入力時</td><td>EPSON JAN-8 に変換</td><td>印刷</td></tr>
<tr><td>1234567</td><td>1234567</td><td>1234 5670</td></tr>
</table>

<table>
<tr><th colspan="4">JAN-8 Short（JAN 短縮バージョン トランケーション）</th></tr>
<tr><td colspan="4">• JAN-8 ShortはJAN-8のバーコードの高さを標準ポイントで11mmにしたもので、それ以外はJAN-8と同じ仕様です。
• バーコードを挿入するスペースがせまい場合などに使用します。
• 日本国内でのみ使用可能です。JISX0501 では定められていません。</td></tr>
<tr><td>入力可能なキャラクタ</td><td colspan="3">数字（0 ～ 9）</td></tr>
<tr><td>入力するキャラクタの桁数</td><td colspan="3">7 桁</td></tr>
<tr><td>キャラクタのサイズ</td><td colspan="3">36 ～90pt
保証サイズは 36pt、45pt（標準）、67.5pt、90pt</td></tr>
<tr><td colspan="4">次のものは自動的に挿入 / 設定が行われるため、入力は不要です。
• レフト / ライトマージン　• レフト / ライトガードバー
• チェックキャラクタ　• OCR-B　• センターバー</td></tr>
<tr><td rowspan="2">印刷例</td><td>入力時</td><td>EPSON JAN-8 Short に変換</td><td>印刷</td></tr>
<tr><td>1234567</td><td>1234567</td><td>1234 5670</td></tr>
</table>

<table>
<tr><th colspan="4">JAN-13（標準バージョン）</th></tr>
<tr><td colspan="4">• JAN-13 は「JIS X 0501」として規格化された JAN の標準バージョン（13 桁）です。
• EPSON バーコードフォントでは末尾のチェックキャラクタを自動的に挿入するため、入力するキャラクタは 12 桁です。</td></tr>
<tr><td>入力可能なキャラクタ</td><td colspan="3">数字（0 ～ 9）</td></tr>
<tr><td>入力するキャラクタの桁数</td><td colspan="3">12 桁</td></tr>
<tr><td>キャラクタのサイズ</td><td colspan="3">60 ～ 150pt（Windows NT/2000/XP は96pt まで）
保証サイズは 60pt、75pt（標準）、112.5pt、150pt</td></tr>
<tr><td colspan="4">次のものは自動的に挿入 / 設定が行われるため、入力は不要です。
• レフト / ライトマージン　• レフト / ライトガードバー
• チェックキャラクタ　• OCR-B　• センターバー</td></tr>
<tr><td rowspan="2">印刷例</td><td>入力時</td><td>EPSON JAN-13 に変換</td><td>印刷</td></tr>
<tr><td>123456789012</td><td>123456789012</td><td>1 234567 890128</td></tr>
</table>

<table>
<tr><th colspan="4">JAN-13 Short（JAN 短縮バージョン トランケーション）</th></tr>
<tr><td colspan="4">• JAN-13 ShortはJAN-13のバーコードの高さを標準ポイントで11mmにしたもので、それ以外はJAN-13と同じ仕様です。
• バーコードを挿入するスペースがせまい場合などに使用します。
• 日本国内でのみ使用可能です。JISX0501 では定められていません。</td></tr>
<tr><td>入力可能なキャラクタ</td><td colspan="3">数字（0 ～ 9）</td></tr>
<tr><td>入力するキャラクタの桁数</td><td colspan="3">12 桁</td></tr>
<tr><td>キャラクタのサイズ</td><td colspan="3">36 ～90pt
保証サイズは 36pt、45pt（標準）、67.5pt、90pt</td></tr>
<tr><td colspan="4">次のものは自動的に挿入 / 設定が行われるため、入力は不要です。
• レフト / ライトマージン　• レフト / ライトガードバー
• チェックキャラクタ　• OCR-B　• センターバー</td></tr>
<tr><td rowspan="2">印刷例</td><td>入力時</td><td>EPSON JAN-13 Short に変換</td><td>印刷</td></tr>
<tr><td>123456789012</td><td>123456789012</td><td>1 234567 890128</td></tr>
</table>

<table>
<tr><th colspan="4">UPC-A</th></tr>
<tr><td colspan="4">• UPC-A は、アメリカの Universal Product Code で制定された UPC-A の Regular タイプです。（UPC Symbol Specification Manual）
• Regular UPC コードのみサポートし、補足コードはサポートしていません。</td></tr>
<tr><td>入力可能なキャラクタ</td><td colspan="3">数字（0 ～ 9）</td></tr>
<tr><td>入力するキャラクタの桁数</td><td colspan="3">11 桁</td></tr>
<tr><td>キャラクタのサイズ</td><td colspan="3">60 ～ 150pt（Windows NT/2000/XP は 96pt まで）
保証サイズは 60pt、75pt（標準）、112.5pt、150pt</td></tr>
<tr><td colspan="4">次のものは自動的に挿入 / 設定が行われるため、入力は不要です。
• レフト / ライトマージン　• レフト / ライトガードバー
• チェックデジット　• OCR-B　• センターバー</td></tr>
<tr><td rowspan="2">印刷例</td><td>入力時</td><td>EPSON UPC-A に変換</td><td>印刷</td></tr>
<tr><td>12345678901</td><td>12345678901</td><td>1 23456 78901 2</td></tr>
</table>

<table>
<tr><th colspan="4">UPC-E</th></tr>
<tr><td colspan="4">• UPC-E は、アメリカの Universal Product Code で制定された UPC-A の Zero Suppression（余分な 0 を削除）タイプです。（UPC Symbol Specification Manual）</td></tr>
<tr><td>入力可能なキャラクタ</td><td colspan="3">数字（0 ～ 9）</td></tr>
<tr><td>入力するキャラクタの桁数</td><td colspan="3">6 桁</td></tr>
<tr><td>キャラクタのサイズ</td><td colspan="3">60 ～ 150pt（Windows NT/2000/XP は 96pt まで）
保証サイズは 60pt、75pt（標準）、112.5pt、150pt</td></tr>
<tr><td colspan="4">次のものは自動的に挿入 / 設定が行われるため、入力は不要です。
• レフト / ライトマージン　• レフト / ライトガードバー
• OCR-B　• チェックデジット　• ナンバーシステム「0」のみ</td></tr>
<tr><td rowspan="2">印刷例</td><td>入力時</td><td>EPSON UPC-E に変換</td><td>印刷</td></tr>
<tr><td>123456</td><td>123456</td><td>0 123456 5</td></tr>
</table>

<table>
<tr><th colspan="4">Code39</th></tr>
<tr><td colspan="4">

Code39は「JIS X 0503」として規格化されたものです。
EPSONバーコードフォントはチェックデジットの有無、OCR-Bの有無で4種類のフォントを用意しています。
入力したキャラクタの桁数が大きい場合、EPSONバーコードフォントはCode39の仕様に従ってバーコードの高さがバーコード全長の15%以上になるように自動的に調整します。このためバーコードの周囲に文字がある場合、バーコードと重ならないように間隔を開けてください。
スペースを“_”（アンダーライン）に割り当てています。スペースを表すバーコードを入力したい場合は、“_”（アンダーライン）を入力してください。
1行に2つ以上のバーコードを入力する場合、バーコード間はTABで区切ってください。スペースで区切る場合は、バーコードフォント以外のフォントを選択して入力してください。Code39を選択したままスペースを入力するとスペースがバーコードの一部となりバーコードとして使用できません。

</td></tr>
<tr><td>入力可能なキャラクタ</td><td colspan="3">英数字（A～Z、0～9）
記号（－ ． スペース ＄ ／ ＋ ％）</td></tr>
<tr><td>入力するキャラクタの桁数</td><td colspan="3">制限なし</td></tr>
<tr><td>キャラクタのサイズ</td><td colspan="3">OCR-Bなしの場合：26pt以上
保証サイズは26pt、52pt、78pt、104pt
OCR-Bありの場合：36pt以上
保証サイズは36pt、72pt、108pt、144pt（Windows NT/2000/XPは96ptまで）</td></tr>
<tr><td colspan="4">次のものは自動的に挿入 / 設定が行われるため、入力は不要です。
• 左/右クワイエットゾーン　• スタート/ストップキャラクタ　• チェックデジット</td></tr>
<tr><td rowspan="4">印刷例</td><td>入力時</td><td>EPSON Code39に変換</td><td>印刷</td></tr>
<tr><td rowspan="3">1234567</td><td>1 2 3 4 5 6 7</td><td></td></tr>
<tr><td>EPSON Code39 CDNumに変換</td><td>印刷</td></tr>
<tr><td>1 2 3 4 5 6 7</td><td>1 2 3 4 5 6 7 S</td></tr>
</table>

<table>
<tr><th colspan="4">Code128</th></tr>
<tr><td colspan="4">

- Code128 は「JIS X 0504」として規格化されたものです。
- EPSON バーコードフォントはコードセット A、B、C をサポートしています。入力するキャラクタのコードセットが途中で変わった場合、自動的にコードセットの変換コードを挿入します。
- 入力したキャラクタの桁数が大きい場合、EPSON バーコードフォントは Code128 の仕様に従ってバーコードの高さがバーコード全長の 15% になるように自動的に調整します。このためバーコードの周囲に文字がある場合、バーコードと重ならないように間隔を開けてください。
- アプリケーションによっては行末に存在するスペースを削除したり、連続する複数個のスペースをタブなどに置き換えるなどの処理を自動的に行うものがあります。これらのアプリケーションでは、スペースを含むバーコードが正しく印刷されない場合があります。
- 1 行に 2 つ以上のバーコードを入力する場合、バーコード間は TAB で区切ってください。スペースで区切る場合は、バーコードフォント以外のフォントを選択して入力してください。Code128 を選択したままスペースを入力するとスペースがバーコードの一部となりバーコードとして使用できません。

</td></tr>
<tr><td>入力可能なキャラクタ</td><td colspan="3">全ての ASCII 文字（95 文字）</td></tr>
<tr><td>入力するキャラクタの桁数</td><td colspan="3">制限なし</td></tr>
<tr><td>キャラクタのサイズ</td><td colspan="3">26 ～ 104pt（Windows NT/2000/XP は 96pt まで）
保証サイズは 26pt、52pt、78pt、104pt</td></tr>
<tr><td colspan="4">次のものは自動的に挿入 / 設定が行われるため、入力は不要です。

- 左 / 右クワイエットゾーン
- スタート / ストップキャラクタ
- コードセットの変更キャラクタ
- チェックデジット

</td></tr>
<tr><td rowspan="2">印刷例</td><td>入力時</td><td>EPSON Code128 に変換</td><td>印刷</td></tr>
<tr><td>1234567</td><td>1234567</td><td></td></tr>
</table>

<table>
<tr><th colspan="4">Interleaved 2of5</th></tr>
<tr><td colspan="4">● Interleaved 2of5 は、アメリカで規格化されたものです。（USS Interleaved 2-of-5）
● EPSON バーコードフォントはチェックデジットの有無、OCR-B の有無で4 種類のフォントを用意しています。
● 入力したキャラクタの桁数が大きい場合、EPSON バーコードフォントは Interleaved 2of5 の仕様に従ってバーコードの高さがバーコード全長の 15% 以上になるように自動的に調整します。このためバーコードの周囲に文字がある場合、バーコードと重ならないように間隔を開けてください。
● Interleaved 2of5 は、キャラクタを 2 個一組で扱います。キャラクタの合計数が奇数個の場合、EPSON バーコードフォントは自動的にキャラクタの先頭に 0 を追加して偶数個になるようにします。</td></tr>
<tr><td>入力可能なキャラクタ</td><td colspan="3">数字（0 ～ 9）</td></tr>
<tr><td>入力するキャラクタの桁数</td><td colspan="3">制限なし</td></tr>
<tr><td>キャラクタのサイズ</td><td colspan="3">OCR-B の有無により異なります。（Windows NT/2000/XP は 96pt まで）
OCR-B なしの場合：26pt 以上
保証サイズは 26pt、52pt、78pt、104pt
OCR-B ありの場合：36pt 以上
保証サイズは 36pt、72pt、108pt、144pt</td></tr>
<tr><td colspan="4">次のものは自動的に挿入 / 設定が行われるため、入力は不要です。
● 左 / 右クワイエットゾーン　● スタート / ストップキャラクタ　● チェックデジット
● 文字列先頭への 0 の挿入（合計文字数が偶数でない場合のみ）</td></tr>
<tr><td rowspan="4">印刷例</td><td>入力時</td><td>EPSON ITF に変換</td><td>印刷</td></tr>
<tr><td rowspan="3">1234567</td><td>1234567</td><td></td></tr>
<tr><td>EPSON ITF CD Num に変換</td><td>印刷</td></tr>
<tr><td>1234567</td><td>12345670</td></tr>
</table>

<table>
<tr><th colspan="4">NW-7（CODABAR）</th></tr>
<tr><td colspan="4">
● NW-7 は「JIS X 0503」として規格化されたものです。
● EPSON バーコードフォントはチェックデジットの有無、OCR-B の有無で4 種類のフォントを用意しています。
● 入力したキャラクタの桁数が大きい場合、EPSON バーコードフォントは NW-7 の仕様に従ってバーコードの高さがバーコード全長の 15% 以上になるように自動的に調整します。このためバーコードの周囲に文字がある場合、バーコードと重ならないように間隔を開けてください。
● スタート / ストップキャラクタのどちらかを入力すると、EPSON バーコードフォントは残りのスタート / ストップキャラクタが同じになるように自動的に挿入されます。
● スタート / ストップキャラクタを入力しない場合は、両方とも自動的に A を挿入します。
</td></tr>
<tr><td>入力可能なキャラクタ</td><td colspan="3">数字（0 ～ 9）、記号（－　＄　：　／　．　＋）</td></tr>
<tr><td>入力するキャラクタの桁数</td><td colspan="3">制限なし</td></tr>
<tr><td>キャラクタのサイズ</td><td colspan="3">OCR-B の有無により異なります。（Windows NT/2000/XP は 96pt まで）
OCR-B なしの場合：26pt 以上
保証サイズは 26pt、52pt、78pt、104pt
OCR-B ありの場合：36pt 以上
保証サイズは 36pt、72pt、108pt、144pt</td></tr>
<tr><td colspan="4">次のものは自動的に挿入 / 設定が行われるため、入力は不要です。
● 左 / 右クワイエットゾーン　● スタート / ストップキャラクタ（入力しない場合）
● チェックデジット</td></tr>
<tr><td rowspan="4">印刷例</td><td>入力時</td><td>EPSON NW-7 に変換</td><td>印刷</td></tr>
<tr><td rowspan="3">1234567</td><td>1 2 3 4 5 6 7</td><td></td></tr>
<tr><td>EPSON NW-7CDNum に変換</td><td>印刷</td></tr>
<tr><td>1 2 3 4 5 6 7</td><td>A 1 2 3 4 5 6 7 4 A</td></tr>
</table>

<table>
<tr><th colspan="4">新郵便番号（カスタマ・バーコード）</th></tr>
<tr><td colspan="4">• バーコードの詳細については、郵政省より発行の資料を参照してください。
• EPSON バーコードフォントで入力する場合、次のように新郵便番号（3 桁）ー新郵便番号（4 桁）ー住所表示番号（バーコードに変換後 13 桁まで）入力します。
• 住所表示番号は入力時は桁数の制限はありませんが、バーコードに変換後 13 桁を超える部分は省略されます。また住所表示番号が 13 桁に満たない場合は、13 桁になるように末尾にコードを挿入します。
• アプリケーションソフトにおいて、印刷領域やレイアウト枠は余裕をもって設定してください。</td></tr>
<tr><td>入力可能なキャラクタ</td><td colspan="3">数字（0 ～ 9）、英文字（A ～Z）、記号（ー）</td></tr>
<tr><td>入力するキャラクタの桁数</td><td colspan="3">制限なし。ただし住所表示番号については、バーコードに変換後
13 桁を超える桁数の文字は省略されます。</td></tr>
<tr><td>キャラクタのサイズ</td><td colspan="3">8 ～ 11.5pt
保証サイズは 8pt、9pt、10pt、11.5pt</td></tr>
<tr><td colspan="4">次のものは自動的に挿入 / 設定が行われるため、入力は不要です。
• バーコードの上下左右 2mm の空白
• 入力時のー（ハイフン）の削除
• スタート / ストップコード
• 住所表示番号の 13 桁調整
• チェックデジット</td></tr>
<tr><td rowspan="2">印刷例</td><td>入力時</td><td>EPSON J-Postal Code に変換</td><td>印刷</td></tr>
<tr><td>123-4567</td><td>1 2 3 - 4 5 6 7</td><td></td></tr>
</table>

TrueType フォントのインストール方法

ここでは、本製品に添付の TrueType フォントのインストール方法を説明します。本製品に添付の EPSON プリンタソフトウェア CD-ROM には EPSON TrueType フォントが収録されています。TrueType フォントをインストールすることにより、アプリケーションソフトの書体に追加され、ポップやビジネス文書に表現力豊かな書類を作成することができます。

CD-ROM に収録されている OCR-B フォントセットには、OCR-B 規格で規定されている文字以外のものも含まれています。OCR-B フォントとして読み取り用に使用される際は、トナー状況や用紙の種類によって読み取れない場合がありますので、事前に読み取り機で読み取れることを確認してからお使いください。

Windows でのインストール

1. Windowsを起動してから、EPSONプリンタソフトウェア CD-ROM をコンピュータにセットします。

2. 以下の画面が表示されたら、［フォントのインストール］をクリックして［次へ］をクリックします。

上の画面が表示されない場合は、［マイコンピュータ］－［CD-ROM］－［setup.exe］をダブルクリックしてください。

3 以下の画面が表示されたら、インストールするフォントをクリックして［次へ］をクリックします。

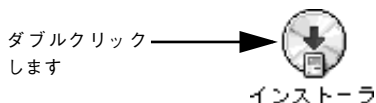
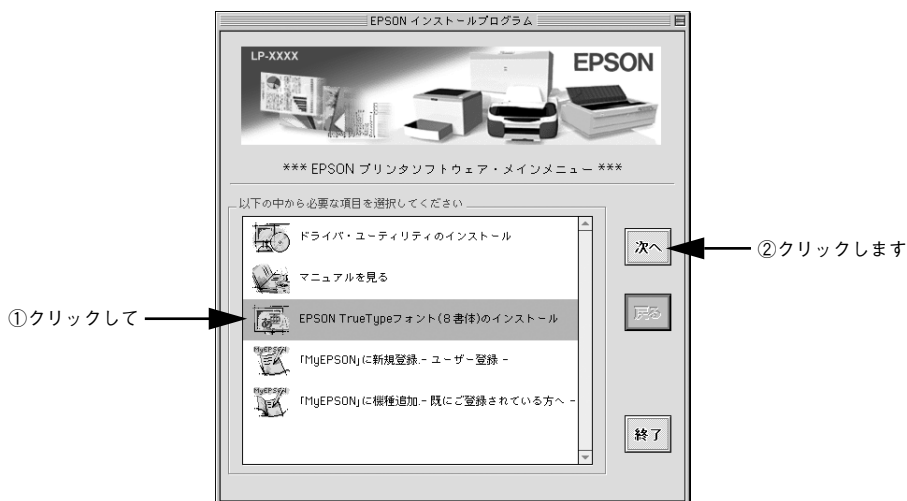
4 使用許諾契約書の画面が表示されたら内容を確認し、［同意する］をクリックします。

5 インストール終了のダイアログが表示されたら、［OK］ボタンをクリックします。

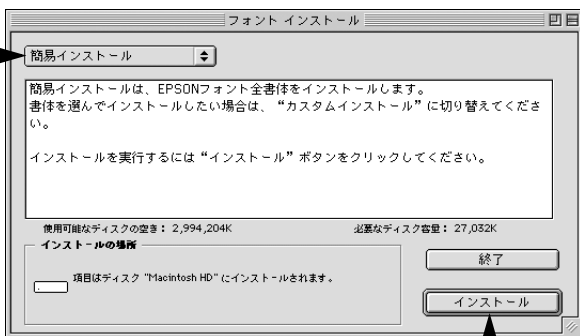
以上でTrueTypeフォントがWindowsのフォントフォルダにインストールされました。

Macintosh でのインストール

1. EPSON プリンタソフトウェア CD-ROM を Macintosh にセットします。

2. ［インストーラ］をダブルクリックします。

3. ［EPSON TrueType フォント（8書体）のインストール］をクリックして［次へ］をクリックします。

4. 使用許諾契約書の画面が表示されたら内容を確認し、［同意します］をクリックします。

5 **フォントをインストールします。**

- ［簡易インストール］を選択すると、すべてのフォントがインストールされます。［インストール］ボタンをクリックします。

- ［カスタムインストール］を選択すると、インストールするフォントが選択できます。インストールする書体を選択して、［インストール］ボタンをクリックします。

以上でフォントのインストールは終了です。

オプションと消耗品について

ここでは、オプションと消耗品の紹介と装着方法について説明します。

オプションと消耗品の紹介

本機で使用可能なオプション（別売品）と消耗品の紹介をします。以下の記載内容は2002年7月現在のものです。

パラレルインターフェイスケーブル

使用するパラレルインターフェイスケーブルは、コンピュータによって異なります。主なコンピュータの機種（シリーズ）でご使用いただけるパラレルインターフェイスケーブルは、次の通りです。

メーカー	機種	接続ケーブル
EPSON、IBM、富士通、東芝、他各社	DOS/V 仕様機	PRCB4N
NEC	PC-98NX シリーズ	
	PC-9821 シリーズ*1 （ハーフピッチ36ピン）	PRCB5N

*1　双方向通信機能を搭載した機種のみ。ただし、Windows NT4.0/2000/XP ではお使いいただけません。

- 双方向通信機能のない NEC PC-98 およびその互換機とは接続できません。
- 推奨ケーブル以外のケーブル、プリンタ切替機、LAN- パラレル変換機、ソフトウェアのコピー防止のためのプロテクタ（ハードウェアキー）などを、コンピュータとプリンタの間に装着すると、プラグアンドプレイやデータ転送が正常にできない場合があります。

接続方法については以下のページを参照してください。
スタートアップガイド 13 ページ「パラレルインターフェイスケーブルの接続」

USB インターフェイスケーブル

USB インターフェイスコネクタ装備のコンピュータと本機を接続する場合は、以下のオプションのケーブルを使用してください。

● EPSON USB ケーブル（型番：USBCB2）

USB ハブ（HUB：複数のコンピュータをネットワーク環境へ接続するための中継機）を使用して接続する場合は、コンピュータに直接接続された 1 段目の USB ハブに接続してご使用いただくことをお勧めします。また、お使いのハブによっては動作が不安定になるものがありますので、そのような場合はコンピュータの USB ポートに直接接続してください。

接続方法については以下のページを参照してください。
スタートアップガイド 14 ページ「USB インターフェイスケーブルの接続」

フェイスアップトレイ

プリンタの背面に装着して、プリンタ上面後部の排紙経路から排紙された用紙を上向きの状態で保持するためのトレイです。

型番	商品名	備考
LPA4FUT3	フェイスアップトレイ	排紙容量：最大 20 枚（普通紙 64g/m^2）

取り付け方法については以下のページを参照してください。
本書 198 ページ「フェイスアップトレイの取り付け」
排紙方法は、以下のページを参照してください。
本書 17 ページ「フェイスアップトレイ（オプション）への排紙」

ET カートリッジ

印刷用のトナーが入ったカートリッジです。

型番	商品名
LPA4ETC6	ET カートリッジ（A4 画占率 5% で約 3,000 枚印刷可能）

交換方法については以下のページを参照してください。
本書 200 ページ「ET カートリッジの交換」

感光体ユニット

ドラムの感光部分にトナーを付着させ、印刷画像を形成するユニットです。

型番	商品名
LPA4KUT3	感光体ユニット（A4 画占率 5% で約 20,000 枚印刷可能）

交換方法については以下のページを参照してください。
本書 208 ページ「感光体ユニットの交換」

通信販売のご案内

EPSON 製品の消耗品・オプション品が、お近くの販売店で入手困難な場合には、エプソン OA サプライ株式会社の通信販売をご利用ください。

ご注文方法

インターネットで	ホームページ：http://www.epson-supply.co.jp
お電話で	電話番号：0120 − 251 − 528（フリーダイヤル）
	受付時間：月〜金曜日　AM9:00 〜 PM6:15 土曜日　AM9:00 〜 PM5:00 （祝祭日、弊社指定休日を除く）

※電話番号のかけ間違いにご注意ください。

お届け方法

当日発送	営業日 PM4:30 までのご注文受付分は、即日発送手配いたします（在庫分のみ）。
お届け予定日	本州・四国…翌日
	北海道・九州…翌々日

お支払い方法

代金引換	商品お受け取り時に、商品と引き換えに宅配便配送員へ代金をお支払いください。
クレジットカード	取り扱いカード ：UC 、JCB 、VISA 、Master 、NICOS
コンビニエンスストア振込（前払い）	ご注文承り後、注文明細入り見積書と請求書、振込用紙をお送りいたします。請求書到着後、2 週間以内にお振り込みください。ご入金確認後、商品を発送させていただきます。利用可能なコンビニエンスストアなどの詳細については、上記のホームページまたは電話にてご確認ください。
銀行振込	法人でのお申し込みに限ります。事前の審査と、ご登録が必要になります。下記にご連絡ください。
	電話番号：0120 − 251 − 528（フリーダイヤル）

送料

お買い上げ金額の合計が 4,500 円以上（消費税別）の場合は、全国どこへでも送料は無料です。4,500 円未満（消費税別）の場合は、全国一律 500 円（消費税別）です。

消耗品カタログの送付

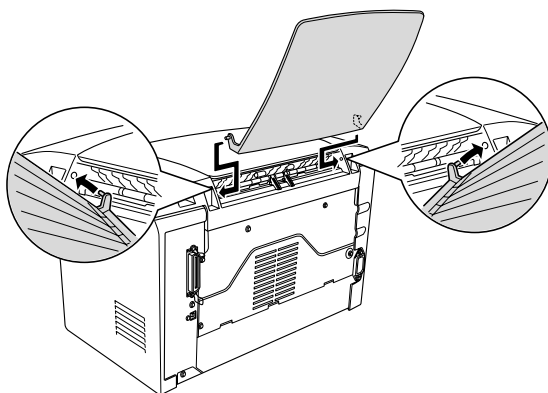
プリンタ消耗品・関連商品のカタログをお送りいたします。カタログの配送につきましては、会員登録が必要になります。入会金、年会費は不要です。詳細については、上記のホームページまたは電話にてご確認ください。

フェイスアップトレイの取り付け

ここでは、フェイスアップトレイ（型番：LPA4FUT3）を取り付ける方法について説明しています。

フェイスアップトレイへの排紙容量は、20 枚（普通紙 64g/m²）です。

取り付けは以下の手順に従って行ってください。

フェイスアップトレイの片方の突起をプリンタ背面の穴に差し込み、押し込むようにしてもう片方の突起を差し込みます。

以上でフェイスアップトレイの取り付けは終了です。

フェイスアップトレイへの排紙方法については、以下のページを参照してください。
本書 17 ページ「フェイスアップトレイ（オプション）への排紙」

プリンタのメンテナンス

ここでは、メンテナンス方法や輸送 / 移動時の注意事項などについて説明しています。

ET カートリッジの交換

ここでは、ET カートリッジの交換方法を説明しています。

使用可能な ET カートリッジは次の通りです。

● 型番：LPA4ETC6（約 3,000 ページ：A4 サイズの紙に面積比で約 5% の印刷を行った場合）

- トナーは人体に無害ですが、体や衣服に付着したときはすぐに水で洗い流してください。
- 寒い場所から暖かい場所にETカートリッジを移動した場合は、室温に慣らすため 1 時間以上待ってから作業を行ってください。
- 本製品は純正 ET カートリッジ使用時に最高の印刷品質が得られるように設計されております。純正品以外のものをご使用になると、プリンタ本体の故障の原因となったり、印刷品質が低下するなど、プリンタ本体の性能が発揮できない場合があります。

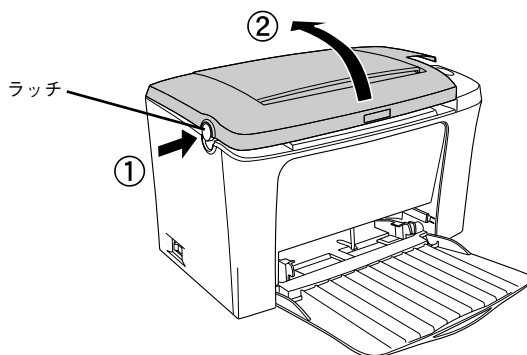
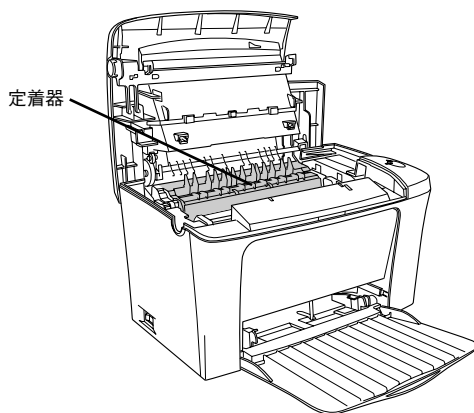
交換時期

- 1つのETカートリッジで約3,000枚（LPA4ETC6）（A4 サイズの紙に面積比で約5%の印刷を行った場合）まで印刷できます。ただし、使用状況によりトナー消費量は異なりますので、印刷結果から判断して交換することをお勧めします。
- EPSON プリンタウィンドウ !3 では、トナー残量の目安を表示することができます。ただし、あくまで目安ですので、印刷結果から判断して交換することをお勧めします。トナーが残り少なくなると交換を促すメッセージが表示されますので、新しいET カートリッジと交換することをお勧めします。印刷がかすれている場合は、ただちに新しい ET カートリッジと交換してください。
  ☞ Windows：本書 59 ページ「EPSON プリンタウィンドウ !3 とは」
  ☞ Macintosh：本書 164 ページ「EPSON プリンタウィンドウ !3 とは」

交換の手順

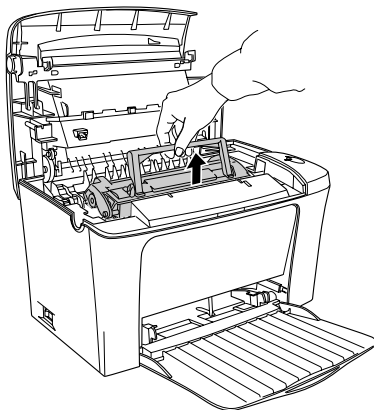
ET カートリッジの交換は以下の手順に従ってください。

> ⚠注意　交換作業中は、プリンタ内部の ET カートリッジと感光体ユニット以外に触れないようにしてください。火傷または印刷品質の劣化が起こるおそれがあります。

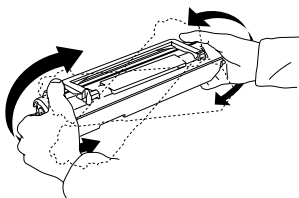
1 **排紙トレイを閉じてから、ラッチを押してプリンタの上カバーをゆっくり開けます。**

> ⚠注意　カバーを開けたとき、次の部分に手を触れないようご注意ください。
> - 定着器部分（内部は約 200 度と高温のため火傷の原因になります）

プリンタ内部のローラやギアには手を触れないでください。故障の原因になります。

2. **取っ手を持ち、使用済みの ET カートリッジを引き上げます。**

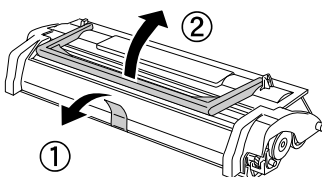
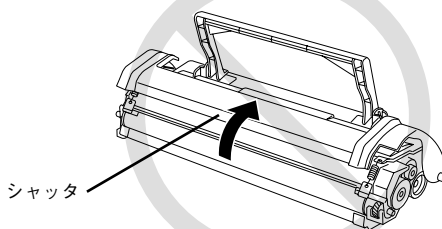
使用済みのET カートリッジについては、以下のページを参照してください。

☞ 本書 207 ページ「使用済み ET カートリッジの回収について」

⚠警告	ET カートリッジは火の中に入れないでください。トナーが飛び散って発火し、火傷のおそれがあります。

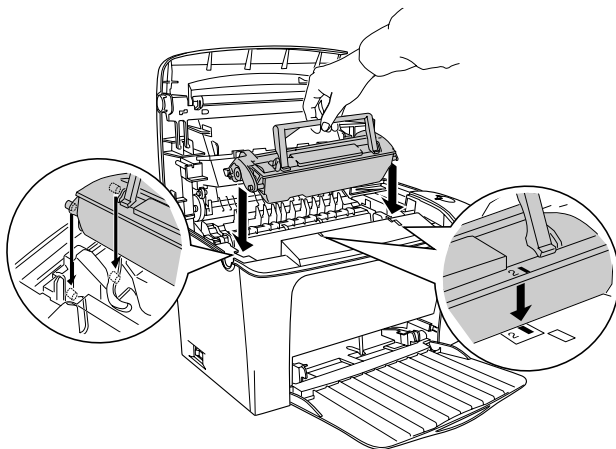
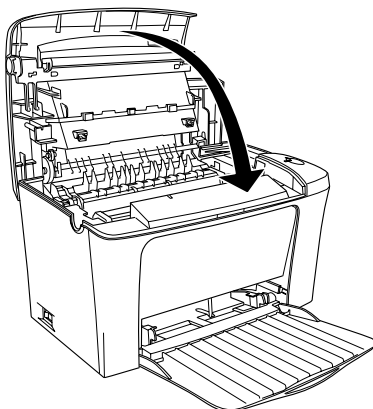
3. **新しい ET カートリッジを梱包箱から取り出し、図のように左右に傾けながら 7 ～ 8 回ゆっくり振ります。**

ET カートリッジ内部のトナーが均一な状態にします。

ポイント

ET カートリッジの入っていた梱包袋は、使用済みのカートリッジを回収する際に必要となります。梱包袋は、次回の交換時まで大切に保管してください。

4 ETカートリッジを平らな場所に置き、保護材（テープ）をはがして、取っ手を起こします。

注意：ETカートリッジのシャッタは開けないでください。印刷品質が低下します。

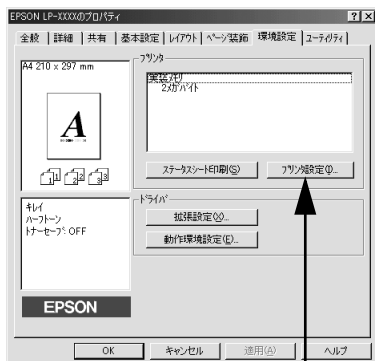
5 ETカートリッジをプリンタに取り付けます。

①ETカートリッジとプリンタ内部に表示している番号（2）を合わせます。
②両側のガイドを合わせながら奥に突き当たるまで確実に差し込みます。

6 プリンタの上カバーを、カチッと音がするまでしっかり閉じます。

7 ET カートリッジのトナー残量カウンタをリセットします。

Windows の場合

Windwos NT4.0/2000/XP のアクセス権（ユーザーの属するグループ）が［Users/制限ユーザー］の場合は［プリンタ設定］ダイアログを開くことはできますが、カウンタのリセットはできません。カウンタをリセットする場合は、［Administrators またはPower Users/コンピュータの管理者］で行ってください。

① プリンタドライバのプロパティを開き、［環境設定］タブの［プリンタ設定］ボタンをクリックします。

＜例＞Windows 95/98/Me

＜例＞Windows NT4.0/2000/XP

② [プリンタ設定] ダイアログ内の [トナー残量リセット] ボタンをクリックします。確認のダイアログが表示されますので、[OK] をクリックします。

印刷中は [トナー残量リセット] ボタンをクリックしないでください。

③ [閉じる] ボタンをクリックします。

Macintosh の場合

ポイント

プリンタを共有している場合は、プリンタに直接接続している Macintosh からリセットしてください。ネットワーク経由で共有プリンタに接続している Macintosh からはリセットできません。

① Apple メニューから［セレクタ］を開きます。
② プリンタを選択してから［セットアップ］ボタンをクリックして［プリンタセットアップ］ダイアログを開きます。

③［プリンタ設定］ボタンをクリックして［プリンタ設定］ダイアログを開きます。

④［プリンタ設定］ダイアログ内の［トナー残量リセット］ボタンをクリックします。確認のダイアログが表示されますので、［OK］をクリックします。

ポイント

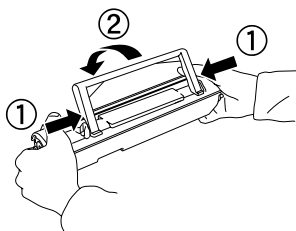
印刷中は［トナー残量リセット］ボタンをクリックしないでください。

使用済み ET カートリッジの回収について

資源の有効活用と地球環境保全のために、使用済みの消耗品の回収にご協力ください。使用済み ET カートリッジの回収方法については、新しい ET カートリッジに添付されておりますご案内シートを参照してください。

やむを得ず、使用済み ET カートリッジを処分される場合は、ポリ袋などに入れて、必ず地域の条例や自治体の指示に従って廃棄してください。

⚠警告	ET カートリッジは、絶対に火の中に入れないでください。トナーが飛び散って発火し、火傷のおそれがあります。

ET カートリッジの取っ手は倒すことができます。元の袋などに入れる場合は、取っ手を倒してください。

感光体ユニットの交換

ここでは、感光体ユニットの交換方法を説明しています。

感光体ユニットの寿命（感光体ライフ）について

1 つの感光体ユニットで、通常の使用状況なら約 20,000 枚（A4）まで印刷できます。ただし、使用状況により感光体ライフ（寿命）は異なりますので、印刷結果から判断して交換することをお勧めします。

EPSON プリンタウィンドウ !3 は、感光体ライフの目安を表示できます。あくまで目安ですので、印刷結果から判断して交換することをお勧めします。印刷がかすれている場合は、ただちに新しい感光体ユニットと交換してください。
Windows：本書 59 ページ「EPSON プリンタウィンドウ !3 とは」
Macintosh：本書 164 ページ「EPSON プリンタウィンドウ !3 とは」

感光体ユニットを交換する前に

感光体ユニットが劣化すると印刷品質が悪くなりますが、ET カートリッジの劣化やトナーの消耗などによっても同様に印刷品質が低下し、以下のような現象が発生します。

- 印刷が薄くかすれる、不鮮明になる。
- 周期的に汚れが発生する。
- 黒点または黒線が印刷される。

そのため、感光体ユニットを交換する前にまず以下の 2 点をチェックし、その上で感光体ユニットを交換してください。

- ETカートリッジのトナー残量をEPSONプリンタウィンドウ!3で確認します。トナーが十分残っているか確かめてください。
  Windows：本書 59 ページ「EPSON プリンタウィンドウ !3 とは」
  Macintosh：本書 164 ページ「EPSON プリンタウィンドウ !3 とは」
- 印刷が薄い場合は、印刷濃度を高めに調整してみてください。
  Windows：本書 54 ページ「[拡張設定] ダイアログ」
  Macintosh：本書 139 ページ「[拡張設定] ダイアログ」

感光体ユニット交換時のご注意

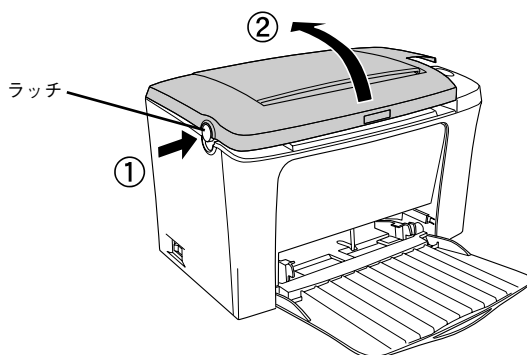
- 本機専用の純正感光体ユニット（型番：LPA4KUT3 ）を使用してください。
- 交換後は必ず感光体ライフカウンタをリセットしてください。感光体ライフカウンタをリセットしない場合、正確な感光体ライフ残量の検出ができません。

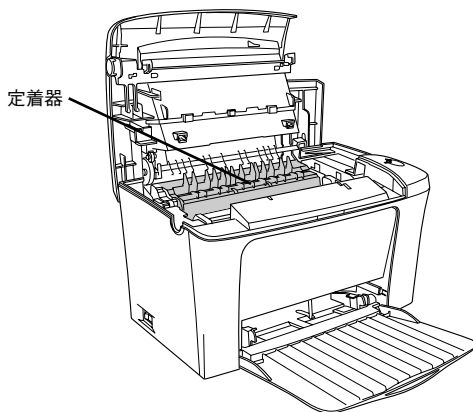
⚠注意	交換作業中は、プリンタ内部の ET カートリッジと感光体ユニット以外に触れないようにしてください。火傷または印刷品質の劣化が起こるおそれがあります。

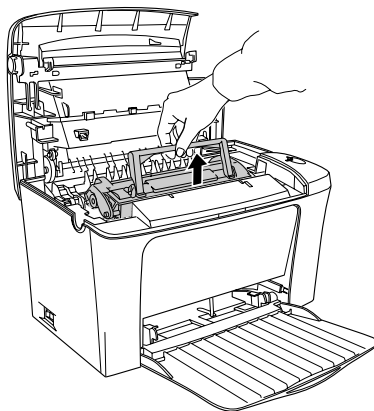
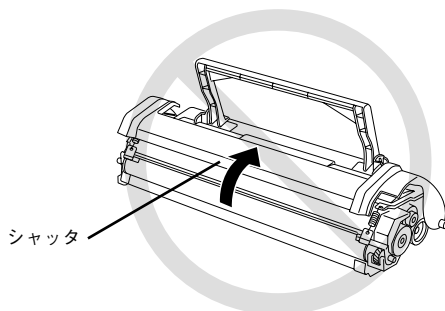
- 寒い場所から暖かい場所に感光体ユニットを移動した場合は、室温に慣らすため未開封のまま 1 時間以上待ってから作業を行ってください。
- 感光体ユニットを強い光に当てたり、日の当たる場所に放置しないでください。印刷品質が著しく低下するおそれがあります。
- 感光体ユニットのドラム保護シャッタには触らないでください。また、ドラム保護シャッタ内部の感光ドラム（緑色の部分）には絶対手を触れないでください。印刷品質が低下します。
- 感光体ユニット交換時に取り出したETカートリッジは、トナーがこぼれないよう、水平な場所へ置いてください。トナーは人体に無害ですが、こぼれたトナーが体や衣服に付着したときはすぐに水で洗い流してください。プリンタ内部にトナーがこぼれた場合は、きれいに拭き取ってください。

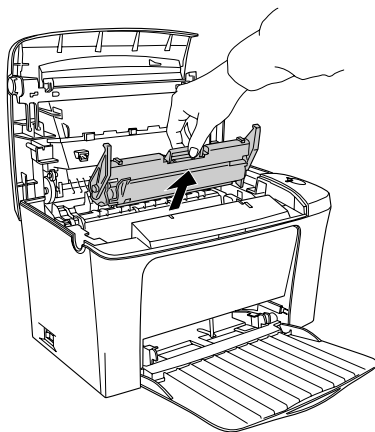
感光体ユニットの交換方法

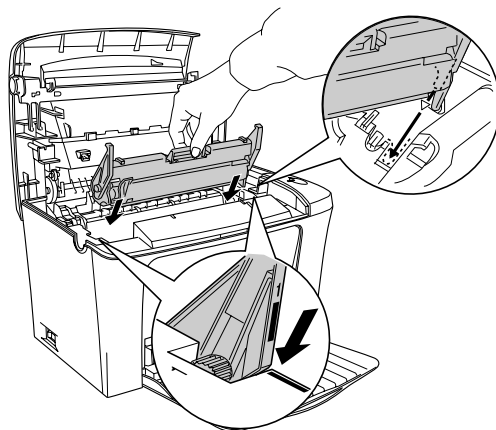
感光体ユニットを強い光に当てたり、日の当たる場所に放置しないでください。印刷品質が著しく低下するおそれがあります。

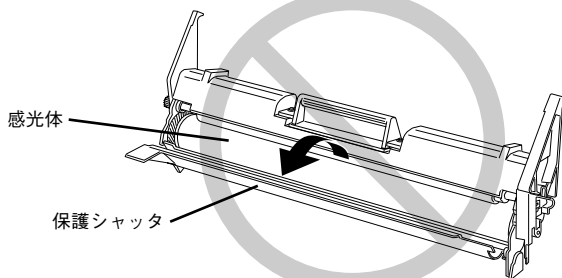
1 **排紙トレイを閉じてから、ラッチを押してプリンタの上カバーをゆっくり開けます。**

⚠注意 カバーを開けたとき、次の部分に手を触れないようご注意ください。

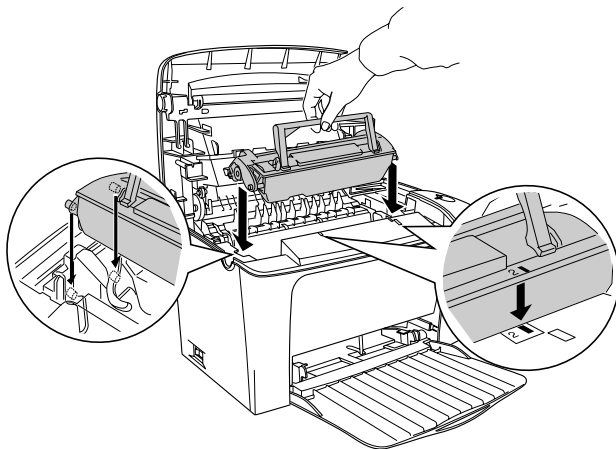
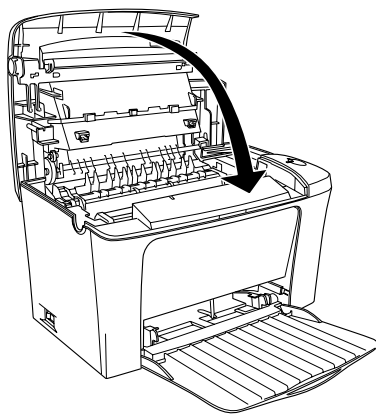
- 定着器部分（内部は約 200 度と高温のため火傷の原因になります）

プリンタ内部のローラやギアには手を触れないでくださ い。故障の原因になります。

2 取っ手を持ち、ET カートリッジを引き上げます。

- ET カートリッジのシャッタは開けないでください。印刷品質が低下します。

- 取り出した ET カートリッジは、トナーがこぼれないよう、水平な場所へ置いてください。プリンタ内部にトナーがこぼれた場合は、きれいに拭き取ってください。

3 取っ手を持ち、使用済みの感光体ユニットを引き上げます。

4 **新しい感光体ユニットをパッケージから取り出し、プリンタに取り付けます。**

① 感光体ユニットとプリンタ内部に表示している番号（1）を合わせます。
② 両側のガイドを合わせながら底に突き当たるまで確実に差し込みます。

注意

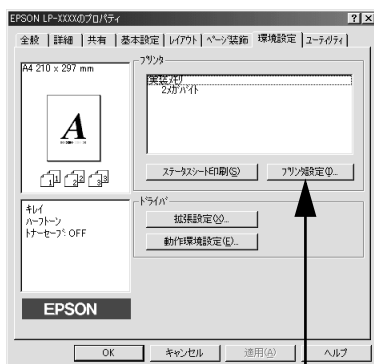
感光体保護シャッタを絶対に開けないでください。また、内部の感光体（緑色の部分）には絶対に手を触れないでください。印刷品質が低下します。

5 **ETカートリッジをプリンタに取り付けます。**

①ET カートリッジとプリンタ内部に表示している番号（2）を合わせます。
② 両側のガイドを合わせながら奥に突き当たるまで確実に差し込みます。

6 **プリンタの上カバーを、カチッと音がするまでしっかり閉じます。**

7 **感光体ユニットのライフ（寿命）カウンタをリセットします。**

Windowsの場合

Windwos NT4.0/2000/XP のアクセス権（ユーザーの属するグループ）が [Users/制限ユーザー] の場合は [プリンタ設定] ダイアログを開くことはできますが、カウンタのリセットはできません。カウンタをリセットする場合は、[Administrators またはPower Users/コンピュータの管理者] で行ってください。

① プリンタドライバのプロパティを開き、[環境設定] タブの [プリンタ設定] ボタンをクリックします。

<例>Windows 95/98/Me

<例>Windows NT4.0/2000/XP

② [プリンタ設定] ダイアログ内の [感光体ライフリセット] ボタンをクリックします。確認のダイアログが表示されますので [OK] をクリックします。

印刷中は [感光体ライフリセット] ボタンをクリックしないでください。

③［閉じる］ボタンをクリックします。

Macintosh の場合

ポイント

プリンタを共有している場合は、プリンタに直接接続している Macintosh からリセットしてください。ネットワーク経由で共有プリンタに接続している Macintosh からはリセットできません。

① Apple メニューから［セレクタ］を開きます。

②プリンタを選択してから［セットアップ］ボタンをクリックして［プリンタセットアップ］ダイアログを開きます。

③［プリンタ設定］ボタンをクリックして［プリンタ設定］ダイアログを開きます。

④［プリンタ設定］ダイアログ内の［感光体ライフリセット］ボタンをクリックします。
確認のダイアログが表示されますので［OK］をクリックします。

印刷中は［感光体ライフリセット］ボタンをクリックしないでください。

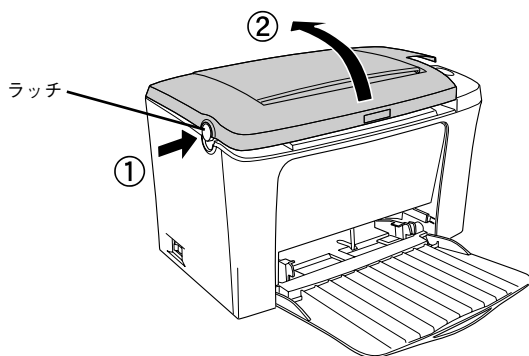
使用済み感光体ユニットの回収について

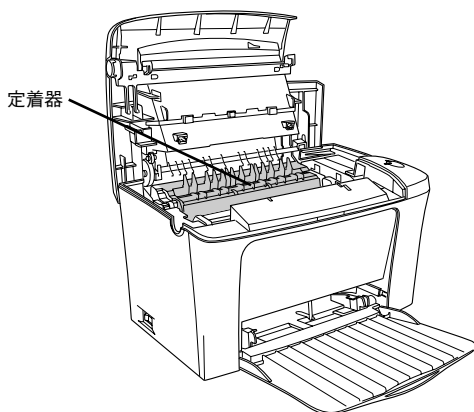
使用済み感光体ユニットを処分される場合は、ポリ袋などに入れて、必ず地域の条例や自治体の指示に従って廃棄してください。

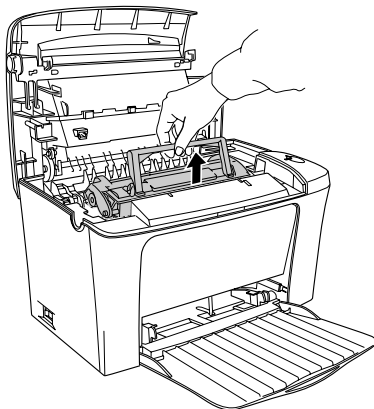
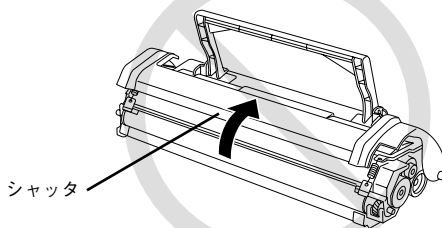
給紙ローラのクリーニング

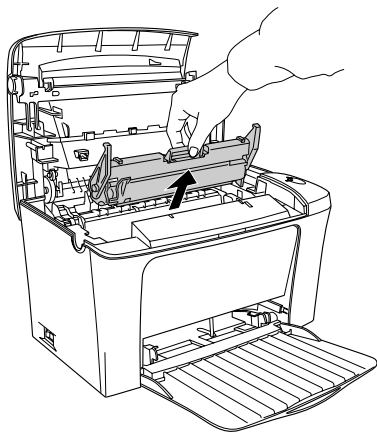
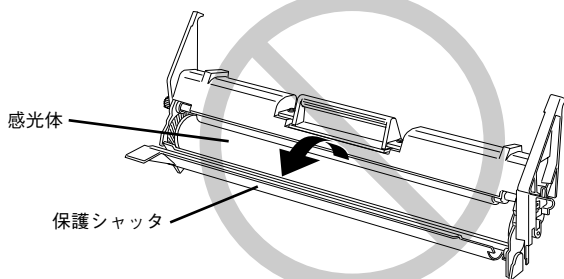
用紙トレイから給紙できなくなったときにはプリンタ内部の給紙ローラをクリーニングしてください。

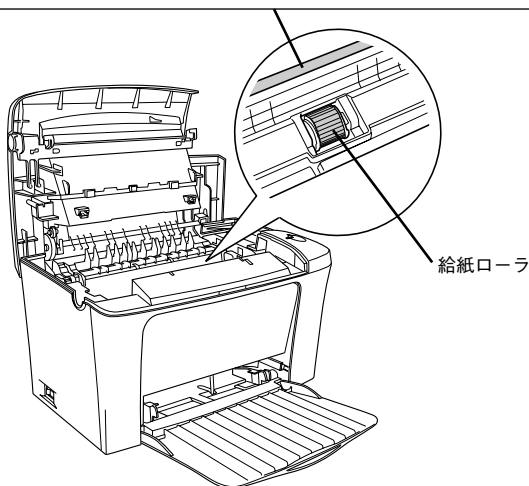
- ベンジン、シンナー、アルコールなど、揮発性の薬品を使用しないでください。変形、変色のおそれがあります。
- プリンタ内部を水で濡らさないように注意してください。
- 固いブラシや布などでは拭かないでください。傷が付くおそれがあります。

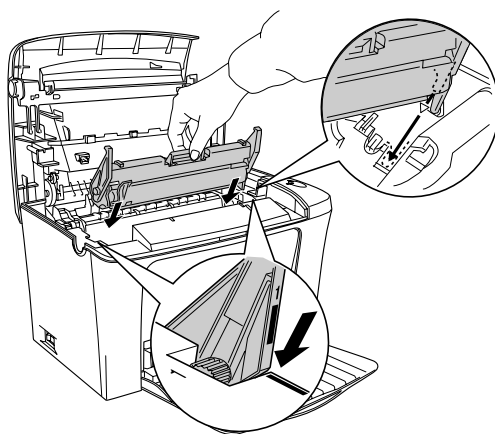
1 プリンタの電源をオフにして、排紙トレイを閉じてから、ラッチを押してプリンタの上カバーをゆっくり開けます。

⚠注意 カバーを開けたとき、次の部分に手を触れないようご注意ください。

- 定着器部分（内部は約 200 度と高温のため火傷の原因になります）

プリンタ内部のローラやギアには手を触れないでください。故障の原因になります。

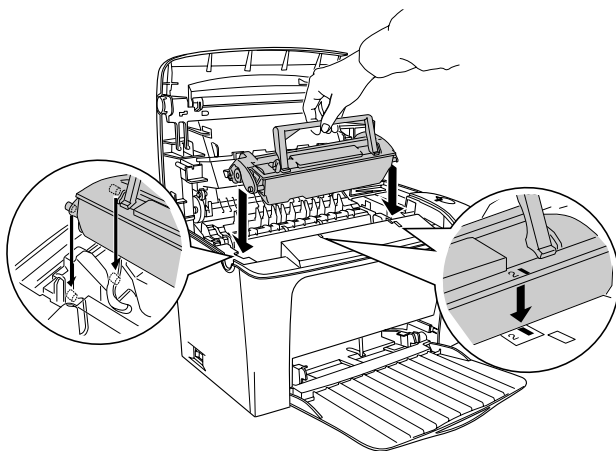
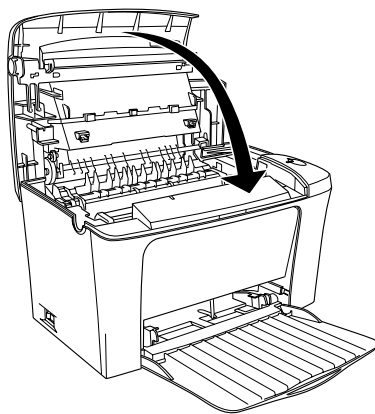
2 取っ手を持ち、ET カートリッジを引き上げます。

- ET カートリッジのシャッタは開けないでください。印刷品質が低下します。

- 取り出した ET カートリッジは、トナーがこぼれないよう、水平な場所へ置いてください。トナーは人体に無害ですが、こぼれたトナーが体や衣服に付着したときはすぐに水で洗い流してください。プリンタ内部にトナーがこぼれた場合は、きれいに拭き取ってください。

3 取っ手を持ち、感光体ユニットを引き上げます。

感光体保護シャッタを絶対に開けないでください。また、内部の感光体（緑色の部分）には絶対に手を触れないでください。印刷品質が低下します。

4 水を湿らせてかたく絞った布で給紙ローラのゴム部分をていねいに拭きます。

転写ローラには手を触れないでください。印刷品質が劣化する原因となります。

5 感光体ユニットをプリンタに取り付けます。

① 感光体ユニットとプリンタ内部に表示している番号（1）を合わせます。
② 両側のガイドを合わせながら底に突き当たるまで確実に差し込みます。

6 **ETカートリッジをプリンタに取り付けます。**

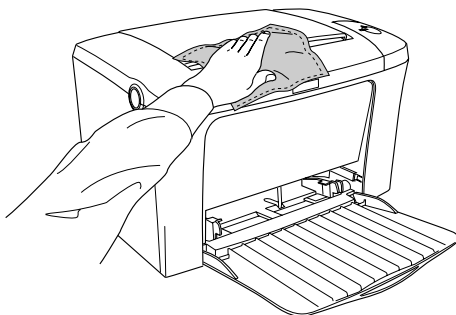
①ET カートリッジとプリンタ内部に表示している番号（2）を合わせます。

② 両側のガイドを合わせながら奥に突き当たるまで確実に差し込みます。

7 **プリンタの上カバーを、カチッと音がするまでしっかり閉じます。**

プリンタの清掃

プリンタを良好な状態で使っていただくために、ときどき次のようなお手入れをしてください。

⚠注意	プリンタの清掃は、電源をオフ（○）にしてコンセントから電源ケーブルを抜いた後で行ってください。感電の原因となるおそれがあります。

- ベンジン、シンナー、アルコールなど、揮発性の薬品を使用しないでください。プリンタのケースが変色、変形するおそれがあります。
- プリンタを水に濡らさないよう注意して清掃してください。
- 固いブラシや布などでケースを拭かないでください。ケースに傷が付くおそれがあります。

プリンタの表面が汚れたときは、水を含ませて固くしぼった布で、ていねいに拭いてください。

プリンタの輸送と移動

プリンタを運搬したり、移動するときには、以下のように作業を行ってください。

輸送と移動の方法

プリンタを運搬するときは、プリンタの電源をオフにしてから以下のものを取り外して、もう一度梱包してください。

- 電源ケーブル
- インターフェイスケーブル
- 用紙トレイ内の用紙（用紙トレイは閉じてください）

プリンタを設置していた台を代えたり、隣の部屋に移動する場合は、上記の部品を取り外して、振動を与えないように水平にていねいに移動してください。

輸送時の注意

プリンタ本体に梱包材を付けて、梱包箱に入れます。ページプリンタは精密機械ですので、梱包方法によっては輸送中に思わぬ破損を招くことも考えられます。下記の注意に従って、確実に梱包してください。

- 製品購入時に使用されていた梱包材を使用して購入時の状態で梱包してください。
- 使用中 / 使用済みの ET カートリッジを取り外した場合は、常に水平を保ちながら取り扱ってください。トナーがこぼれることがあります。

困ったときは

ここでは、困ったときの対処方法について説明しています。

印刷実行時のトラブル

プリンタの電源が入らない

電源ケーブルが抜けていたり、ゆるんでいませんか？

電源ケーブルをプリンタとコンセントに、確実に差し込んでください。

電源コンセントに問題があることがあります。

コンセントがスイッチ付きの場合はスイッチをオンにします。ほかの電気製品をそのコンセントに差し込んで、動作するかどうか確かめてください。

正しい電圧（AC100V）のコンセントに接続していますか？

コンセントの電圧を確かめて、正しい電圧で使用してください。

以上の3点を確認の上で電源スイッチをオン(I)にしても電源が入らない場合は、保守契約店（保守契約をされている場合）、またはお買い求めいただいた販売店またはお近くのエプソンの修理窓口へご相談ください。エプソンの修理窓口へのご相談先はスタートアップガイドの巻末に記載されています。

印刷しない

インターフェイスケーブルが外れていませんか？

プリンタ側のコネクタとコンピュータ側のコネクタにインターフェイスケーブルがしっかり接続されているか確認してください。また、ケーブルが断線していないか、変に曲がっていないかを確認してください。予備のケーブルをお持ちの方は、差し替えてご確認ください。

インターフェイスケーブルがコンピュータや本プリンタの仕様に合っていますか？

インターフェイスケーブルの型番・仕様を確認し、コンピュータの種類やプリンタの仕様に合ったケーブルか確認します。

☞ スタートアップガイド 13 ページ「コンピュータと接続する」

プリンタがデータを処理できません。

扱うデータ容量が大きすぎるなどの原因でプリンタ側でデータの処理ができません。プリンタドライバの［メモリ不足回避］を有効にするか、扱う印刷データの容量を小さくしてください。

☞ Windows：本書 54 ページ「［拡張設定］ダイアログ」
☞ Macintosh：本書 139 ページ「［拡張設定］ダイアログ」

プリンタが印刷できない状態です。

以下のページを参照して、プリンタのランプの状態を確認します。パネルのエラーランプ（赤）が点滅または点灯している場合はエラーが発生しています。エラーを解除してください。

本書 236 ページ「プリンタのランプが点灯または点滅していませんか？」

コンピュータが画像を処理できません。

コンピュータの CPU やメモリによっては画像データを処理できない場合があります。コンピュータのCPU やメモリに負荷のかからない印刷データファイルを作成することをお勧めします。

EPSONプリンタウィンドウ !3 からプリンタの状態をモニタすることができますか？

通信機能が正常に機能していないと印刷できません。

- プリンタの状態（ステータス）が画面に表示できることを確認してください。
  Windows：本書 63 ページ「プリンタの状態を確かめるには」
  Macintosh：本書 166 ページ「プリンタの状態を確かめるには」
- ステータスが表示できない場合は、以下のページを参照してください。
  本書 230 ページ「ステータス（状態）が画面表示できない」

お使いの機種のプリンタドライバが正しくインストールされていますか？

Windows の場合

LP-1300 のプリンタドライバが、［コントロールパネル］の［プリンタ］/［プリンタと FAX］フォルダにアイコンとして登録されていますか？ また、アプリケーションソフトによっては、印刷時に印刷するプリンタを選択できない場合もありますので、以下の手順に従って通常使うプリンタとして選ばれているか確認してください。

1. **Windows の［スタート］メニューから［プリンタ］/［プリンタと FAX］を開きます。**
   - **Windows 95/98/Me/NT4.0/2000 の場合**
     ［スタート］ボタンをクリックして［設定］にカーソルを合わせ、［プリンタ］をクリックします。
   - **Windows XP の場合**
   ①［スタート］ボタンをクリックして［コントロールパネル］をクリックします。
   ［スタート］メニューに［プリンタと FAX］が表示されている場合は、［プリンタと FAX］をクリックして、2 へ進みます。
   ②［プリンタとその他のハードウェア］をクリックします。
   ③［プリンタと FAX］をクリックします。

2 ［通常使うプリンタに設定］になっているか確認します。

- **Windows 95/98/Me/NT4.0/2000 の場合**

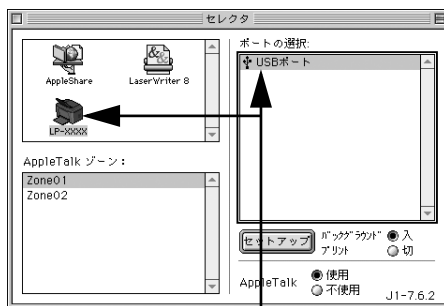
  使用するプリンタ名（LP-1300）を選択し、［ファイル］メニューの［通常使うプリンタに設定］が選択されているか確認します。

［通常使うプリンタに設定］にチェックマークが付いているか確認します。

- **Windows XP の場合**

  ［プリンタと FAX］内のプリンタアイコンにチェックマークが付いていれば、［通常使うプリンタに設定］の状態になっています。プリンタアイコンにチェックマークが付いていない場合は、使用するプリンタ名（LP-1300）を右クリックし、表示されたメニューで［通常使うプリンタに設定］を選択します。

Macintosh の場合

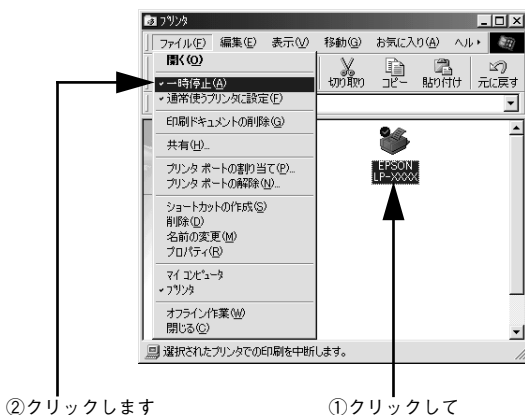
お使いの機種のプリンタドライバが、セレクタ画面で正しく選択されているか、選択したプリンタが実際に接続したプリンタと合っているか確認してください。

選択したプリンタドライバが正しいか確認します。

Windows プリントマネージャのステータスが［一時停止］になっていませんか？

印刷途中で印刷を中断したり、何らかのトラブルで印刷停止した場合、プリントマネージャのステータスが［一時停止］になります。このままの状態で印刷を実行しても印刷されません。

Windows 95/98/Me の場合

①［スタート］ボタンをクリックし、［設定］にカーソルを合わせ［プリンタ］をクリックします。

②LP-1300 のアイコンをクリックして［ファイル］メニュー内の［一時停止］または［プリンタをオフラインにする］にチェックが付いている場合はクリックして外します。

Windows NT4.0/2000/XP の場合

1 **Windows の［スタート］メニューから［プリンタ］/［プリンタと FAX］を開きます。**

- **Windows NT4.0/2000 の場合**

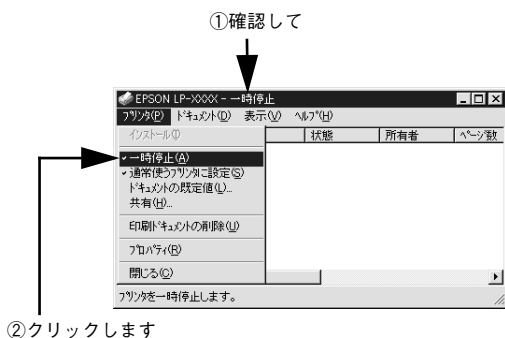
  ［スタート］ボタンをクリックして［設定］にカーソルを合わせ、［プリンタ］をクリックします。

- **Windows XP の場合**

①［スタート］ボタンをクリックして［コントロールパネル］をクリックします。［スタート］メニューに［プリンタと FAX］が表示されている場合は、［プリンタと FAX］をクリックして、**2** へ進みます。

②［プリンタとその他のハードウェア］をクリックします。

③［プリンタと FAX］をクリックします。

2. LP-1300 のアイコンをダブルクリックし、プリンタが一時停止状態の場合は［プリンタ］メニューの［一時停止］をクリックしてチェックを外します。

Windows プリンタドライバの［接続ポート］の設定が合っていません。

プリンタドライバの［接続ポート］の設定を実際に接続しているポートに合わせてください。

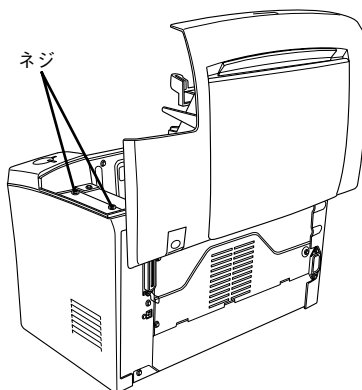
本書 100 ページ「プリンタ接続先の変更」

ステータス（状態）が画面表示できない

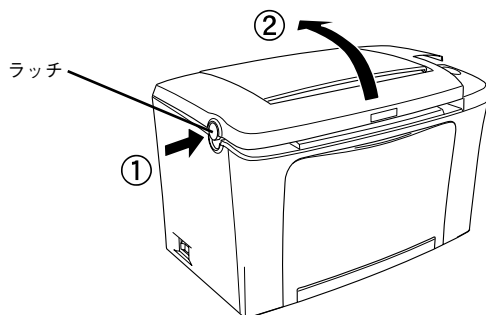
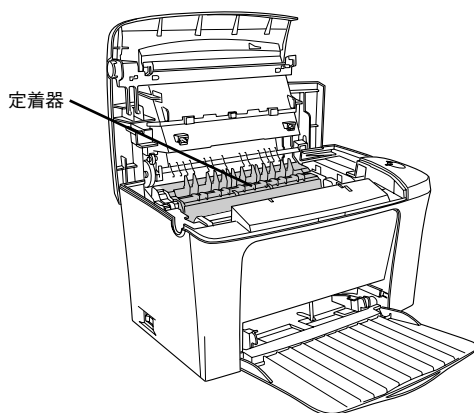
コンピュータのECP 機能は正常に機能していますか？

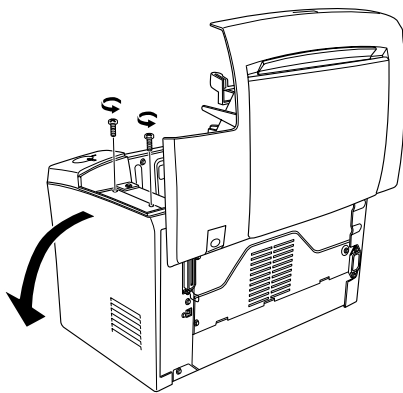
パラレルインターフェイスを使用している場合、ホスト側のECP 機能に不具合があるとステータスを画面表示（モニタ）することができません。プリンタのジャンパスイッチの設定を変更することにより、ステータス情報が取得できることもありますので確認してください。以下の手順で、プリンタ本体にあるジャンパスイッチの設定を変更してください。

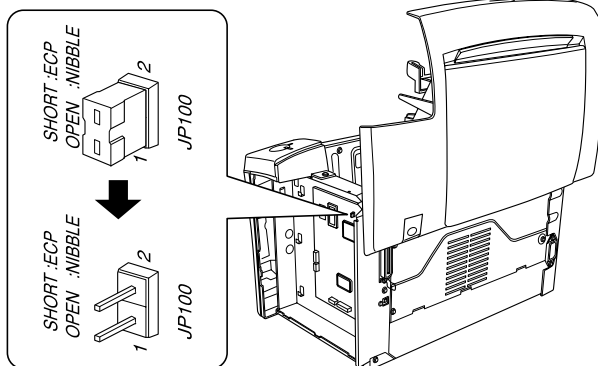
⚠警告　指示されている以外の分解は行わないでください。内部には高電圧の部分があり、感電のおそれがあります。
本作業で取り外すネジは下図の2 個です。指示以外のネジは取り外さないでください。

ネジ

⚠注意　本作業は必ず電源ケーブルを抜いた状態で行ってください。感電の原因となるおそれがあります。

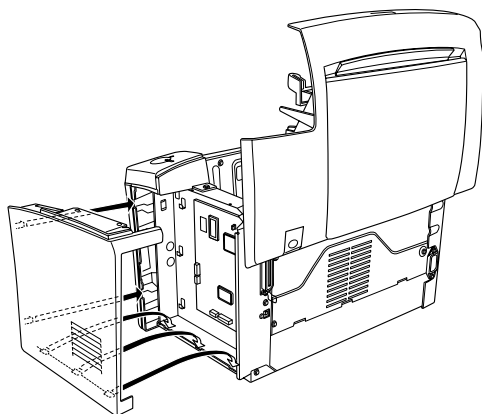
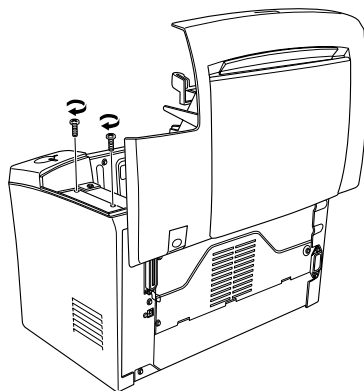
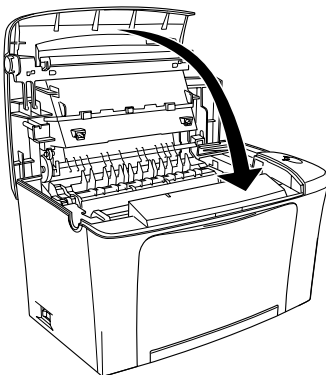
1. **プリンタの電源をオフ（〇）にして、電源ケーブルとインターフェイスケーブルを取り外します。**

2 ラッチを押してプリンタの上カバーをゆっくり開けます。

⚠注意 カバーを開けたとき、次の部分に手を触れないようご注意ください。
- 定着器部分（内部は約 200 度と高温のため火傷の原因になります）

3 **プリンタ正面から見て右側のカバーを取り外します。**

カバーを固定しているプリンタ上部右側のネジを取り外し、カバーを外側へ引き出して取り外します。

ネジをプリンタ内部へ落としたり紛失しないようにしてください。右カバーを固定する際に使用します。

4 **プリンタ本体にあるジャンパスイッチを取り外して、ECP（初期設定）からNIBBLE（ニブル）の設定に変更します。**

取り外したジャンパスイッチは、設定を元に戻すときの ために大切に保管してください。

5 **右カバーをプリンタに取り付けます。**

右カバーのツメ（5 箇所）をプリンタ側に引っかけてから、カバーを取り付けます。

6 **プリンタ上部右側のネジ（3 で取り外したネジ）を締めて、右カバーをプリンタに固定します。**

7 プリンタの上カバーを、カチッと音がするまでしっかり閉じます。

8 取り外した電源ケーブルとインターフェイスケーブルを元通りに接続します。

以上でジャンパスイッチの設定変更は終了です。

DMA 転送の設定になっていませんか？

DMA 転送の設定になっているとステータスを画面表示（モニタ）することができないことがあります。この場合は、コンピュータのBIOS 設定を「ECP」（またはENHANCED）以外にして、DMA 転送の設定を解除してください。

本書 106 ページ「印刷を高速化するには」

詳細はお使いのコンピュータの取扱説明書を参照してください。

Windows の双方向通信機能の設定を解除しませんでしたか？

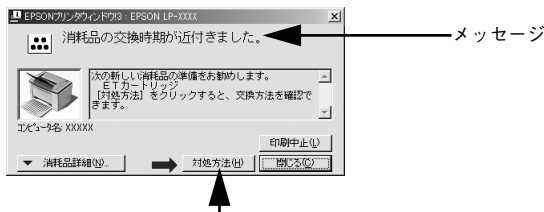
本機は双方向通信機能が有効になっていないと使用できません。

- Windows 95/98/Me をお使いの場合、プリンタドライバの［詳細］ダイアログで［スプールの設定］ボタンをクリックして［プリンタスプールの設定］ダイアログを開き、［このプリンタで双方向通信機能をサポートする］を選択してください。
- Windows NT4.0/2000/XP の場合、プリンタドライバの［ポート］ダイアログで［双方向サポートを有効にする］が選択されているか確認してください。

プリンタがエラー状態になっている

コンピュータ画面上にワーニングメッセージやエラーメッセージが表示されていませんか？

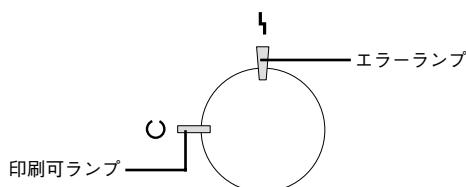
問題が発生すると、コンピュータの画面上にポップアップウィンドウが開き、ワーニングメッセージやエラーメッセージが表示されます。メッセージが表示されている場合は、その内容を一読して必要な手段を講じてください。

＜例＞Windows の EPSON プリンタウィンドウ!3 の場合

ポイント

プリンタにエラーや問題が発生すると、プリンタのランプが点灯または点滅してお知らせします。以下のページに詳しく対処方法を説明していますので参照してください。

本書 236 ページ「プリンタのランプが点灯または点滅していませんか？」

プリンタのランプが点灯または点滅していませんか？

ランプが点灯または点滅していたら、次の説明を参照して適切な処置をしてください。

印刷可ランプ（緑）	エラーランプ（赤）	プリンタの状態
消灯	消灯	電源オフ
点灯	消灯	印刷可能
点滅	消灯	ウォーミングアップまたはデータ受信中
消灯	点滅	復帰可能なエラー（用紙なしなど、エラー状態を解除して正常な状態に復帰させることができます。）
点滅	点灯	プロトコルエラー（電源をオフにして、再度オンにしてください。）
消灯	点灯	サービスコールエラー（電源をオフにして、しばらくたってから再度オンにしてください。正常な状態に復帰できない場合は、保守契約店（保守契約をされている場合）または販売店、またはエプソンの修理窓口まで連絡ください。エプソンの修理窓口についての詳細は「保守サービス」の項を参照してください。）
点滅	点滅	
（緑と赤が交互に点滅）		

注意

印刷中にプリンタの電源をオフにしたりインターフェイスケーブルが外れたりした場合は、通信エラーとなります。プリンタの電源をオンにしたりケーブルを接続してもその後の印刷結果は保証されなくなります。このような場合は、次の処理を順次行ってください。

- コンピュータから印刷を中止して、再度印刷を行います。
- 上記の処理で印刷が正常に行えない場合は、プリンタを再起動して印刷します。
- それでも正常に印刷が行えない場合は、コンピュータを再起動して印刷します。

Windows：本書 115 ページ「印刷の中止方法」
Macintosh：本書 171 ページ「印刷の中止方法」

「LPT1 に書き込みができませんでした」エラーが発生する

インターフェイスケーブルが外れていませんか？

プリンタ側のコネクタとコンピュータ側のコネクタにインターフェイスケーブルがしっかり接続されているか確認してください。

Windows プリンタドライバの設定が正しくありません。

以下の項目を確認してください。

- プリンタプロパティの［詳細］タブの「印刷先のポート」が正しく設定されているかを確認して印刷を実行してください。
- プリンタプロパティの［詳細］タブの「スプールの設定」で「プリンタに直接印刷データを送る」の設定に変更して印刷を行ってみてください。
- ECP モードでご利用の場合、ECP モード対応のケーブルで接続していることを確認し、コンピュータの BIOS 設定を「ECP」（ECP がない場合は「Bi-directional」）に、ポートを「ECP プリンタポート（LPT1）」など（お使いの Windows によってポート名が異なる場合があります）に設定して印刷を行ってみてください。BIOS 設定についての詳細はお使いのコンピュータの取扱説明書を参照してください。

Macintosh のセレクタでプリンタを選択していない

正しいプリンタドライバが選択されていません。

本プリンタのプリンタドライバと正しい接続ポートを選択してください。

☞ スタートアップガイド 28 ページ「プリンタドライバの選択」

Macintosh のセレクタにプリンタドライバまたはプリンタが表示されない

QuickDraw GX を使用していませんか？

本プリンタドライバは、QuickDraw GX に対応していません。
QuickDraw GX を使用停止にしてください。

☞ スタートアップガイド 26 ページ「システム条件の確認」

エラーが発生する

Macintosh をお使いの場合、Mac OS 8.1 ～ 9.x を使用していますか？

プリンタドライバの動作可能環境は、MacOS 8.1 ～ 9.x です。

☞ スタートアップガイド 26 ページ「システム条件の確認」

Macintosh のシステムメモリの空き容量は十分ですか？

Macintosh のプリンタドライバは、Macintosh 本体のシステムメモリの空きエリアを使用してデータを処理します。コントロールパネルの RAM キャッシュを減らしたり、使用していないアプリケーションソフトを終了して、メモリの空き容量を増やしてください。

給排紙されない

プリンタをプリンタの底面より小さな台の上に設置していませんか？

プリンタの底面より小さな台の上に設置すると正常な給排紙ができません。プリンタの設置場所を確認してください。

プリンタは水平な場所に設置されていますか？
プリンタの下にはさまれている物はありませんか？

設置場所が水平でなかったり、プリンタの下に異物がはさまれていると正常に排紙されない場合があります。プリンタの設置場所の環境を再確認してください。

本機で印刷可能な用紙を使用していますか？

印刷可能な用紙を使用してください。

本書 10 ページ「用紙について」

セットする前に用紙をさばきましたか？

複数枚セットする際に、用紙をさばいてからセットすると給紙時の問題が発生しなくなる場合があります。

セットしている用紙とプリンタドライバの設定は一致していますか？

ステータスシートを印刷して、給紙装置の用紙サイズを確認してください。

Windows：本書 49 ページ「[環境設定] ダイアログ」
Macintosh：本書 152 ページ「[プリンタセットアップ] ダイアログ」

用紙サイズが正しく検知されていることを確認し、その用紙サイズをプリンタドライバでの設定と一致させてください。

給紙ローラが汚れていませんか？

給紙ローラを拭いてください。

本書 217 ページ「給紙ローラのクリーニング」

紙詰まりエラーが解除されない

詰まった用紙をすべて取り除きましたか？

上カバーを一旦開閉してみてください。それでもエラーが解除されない場合は用紙を取り除く際に用紙が破れてプリンタ内部に残っているかもしれません。このような場合には無理に取り除こうとせずに、エプソンサービスコールセンターまたは保守契約店にご連絡ください。エプソンサービスコールセンターの連絡先はスタートアップガイドの巻末に記載されています。

用紙を二重送りしてしまう

用紙どうしがくっついていませんか？

用紙がくっついて給紙される場合は、用紙をよくさばいてください。ラベル紙の場合は、1 枚ずつセットしてください。

官製ハガキや封筒の先端が下向きに反っていませんか？

先端を数ミリ上に反らしてからセットしてください。

裏面に印刷された用紙を使用していませんか？

一度印刷した後の裏紙は使用できません。

本書 11 ページ「印刷できない用紙」

用紙の仕様を確認し、印刷可能な用紙をお使いください。

本書 10 ページ「印刷できる用紙の種類」

用紙がカールする

正しい印刷面へ印刷していますか？

特に印刷面の指定がない場合でも、逆の面へ印刷することによって用紙がカールしなくなることがあります。印刷面を変えて印刷してみてください。

「通信エラーが発生しました」と表示される

プリンタに電源が入っていますか？

コンセントにプラグが差し込まれているのを確認し、プリンタの電源をオン（ I ）にします。

インターフェイスケーブルが外れていませんか？

プリンタ側のコネクタとコンピュータ側のコネクタにインターフェイスケーブルがしっかり接続されているか確認してください。またケーブルが断線していないか、変に曲っていないかを確認してください。（予備のケーブルをお持ちの場合は、差し換えてご確認ください。）

インターフェイスケーブルがコンピュータや本プリンタの仕様に合っていますか？（ローカル接続時）

インターフェイスケーブルの型番・仕様を確認し、コンピュータの種類やプリンタの仕様に合ったケーブルかどうかを確認します。

本書 195 ページ「パラレルインターフェイスケーブル」

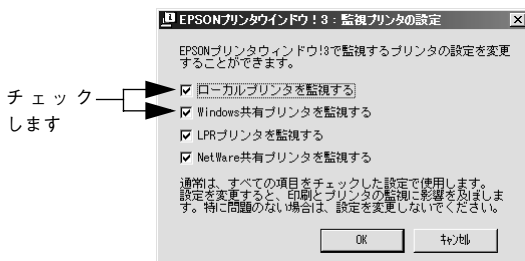
プリンタドライバの設定で双方向通信機能を選択していますか？（ローカル接続時）

本機は双方向通信機能が有効になっていないと使用できません。

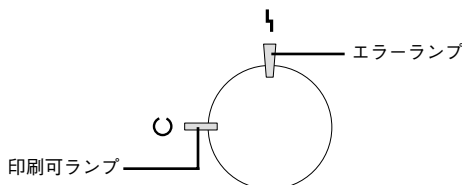
- Windows 95/98/Me の場合、プリンタドライバの［詳細］ダイアログで［スプールの設定］ボタンをクリックして［プリンタスプールの設定］ダイアログを開き、［このプリンタで双方向通信機能をサポートする］が選択されているか確認してください。
- Windows NT4.0/2000/XP の場合、プリンタドライバの［ポート］ダイアログで［双方向サポートを有効にする］が選択されているか確認してください。

Windows 用の［監視プリンタの設定］ユーティリティで、プリンタを監視しない設定にしていませんか？

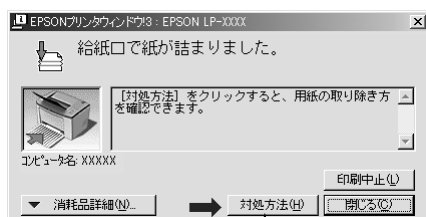
［監視プリンタの設定］ユーティリティで、［ローカルプリンタを監視する］と［Windows 共有プリンタを監視する］をチェックしないと、本機を監視することができず、正常に印刷できません。必ずチェックしてください。

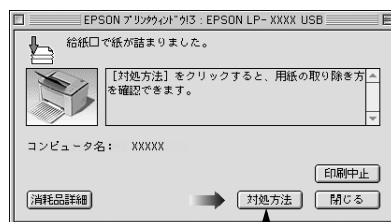
本書 67 ページ「監視プリンタの設定」

用紙が詰まったときは

用紙が詰まる主な原因と、詰まった用紙を取り除く方法を説明します。

紙詰まりが発生したときは、操作パネルの印刷可ランプが消灯し、エラーランプが点滅してお知らせします。本書の手順に従って用紙を取り除いてください。

また、EPSON プリンタウィンドウ!3 が紙詰まりをお知らせします。[対処方法］ボタンをクリックすると、詰まった用紙を取り除く手順を説明します。説明に従って作業してください。

☞ Windows：本書 59 ページ「EPSON プリンタウィンドウ !3 とは」
☞ Macintosh：本書 164 ページ「EPSON プリンタウィンドウ !3 とは」

Windows：給紙口で詰まった場合

クリックします

Macintosh：給紙口で詰まった場合

クリックします

印刷中にプリンタの電源をオフにしたりインターフェイスケーブルが外れたりした場合は、通信エラーとなります。プリンタの電源をオンにしたりケーブルを接続してもその後の印刷結果は保証されなくなります。このような場合は、次の処理を順次行ってください。

- コンピュータから印刷を中止して、再度印刷を行います。
- 上記の処理で印刷が正常に行えない場合は、プリンタを再起動して印刷します。
- それでも正常に印刷が行えない場合は、コンピュータを再起動して印刷します。

☞Windows：本書 115 ページ「印刷の中止方法」
☞Macintosh：本書 171 ページ「印刷の中止方法」

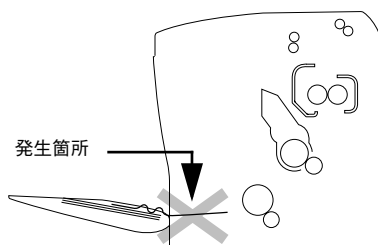
紙詰まりの原因

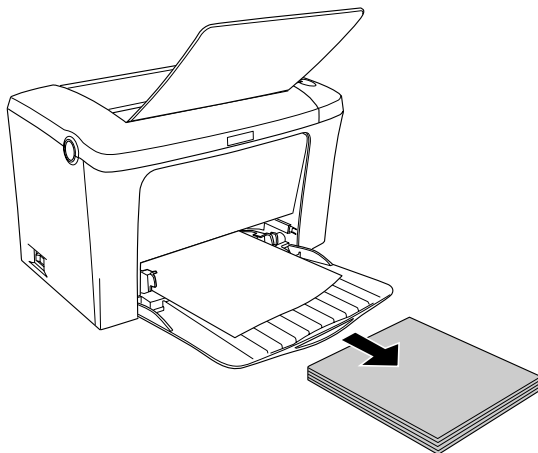
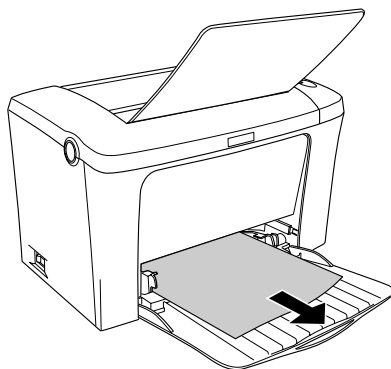
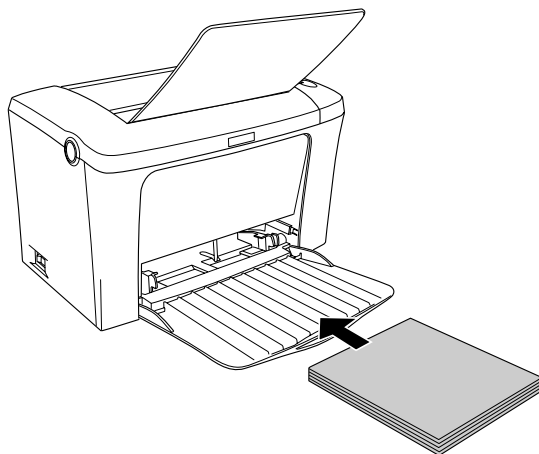
紙詰まりの主な原因は次のようなものです。紙詰まりが繰り返し発生するときは、以下の点を確認してください。

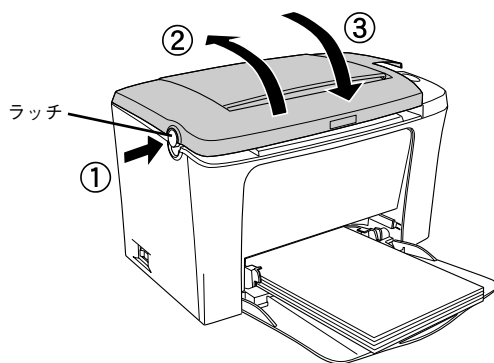
- プリンタが水平に設置されていない
- 用紙が正しくセットされていない
- 本機で使用できない用紙を使用している
  本書 10 ページ「印刷できる用紙の種類」
- 吸湿して波打ちしている用紙を使用している
- 給紙ローラが汚れている
  本書 217 ページ「給紙ローラのクリーニング」

- 用紙を取り除く際に、用紙を破かないよう注意してください。用紙が破れた場合は、破れた用紙が残らないようすべて取り除いてください。
- 印刷中に紙を継ぎ足さないでください。複数枚の紙を同時に給紙して紙詰まりの原因となる可能性があります。

給紙部で用紙が詰まった場合は

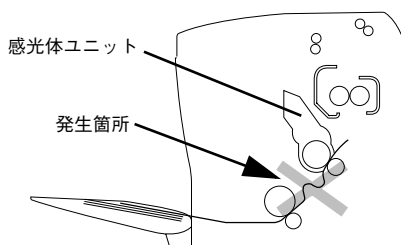
下図の箇所で発生します。

用紙を取り除いてもエラーは解除されません。上カバーを必ず一度開閉してエラーを解除してください。

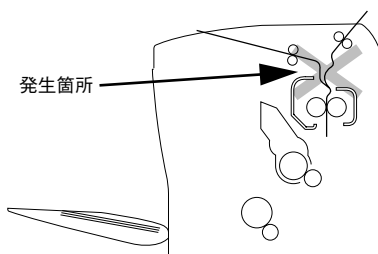
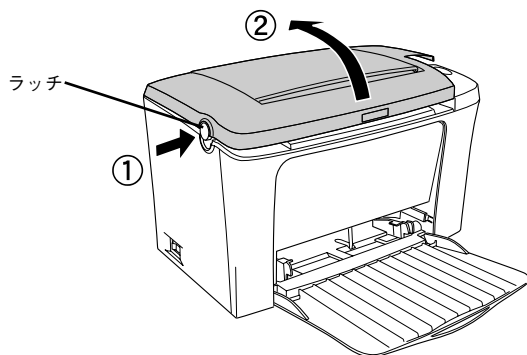
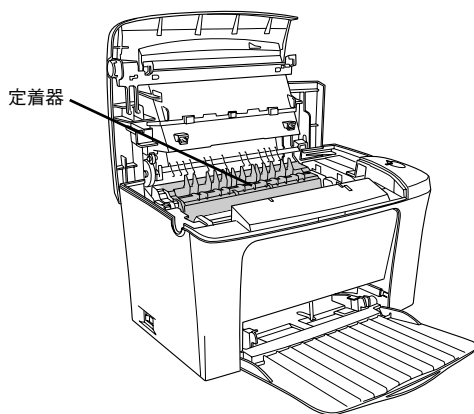
1. 用紙トレイにセットされている用紙を取り除きます。

2. 詰まっている用紙をゆっくり引き抜きます。

3. **用紙トレイに用紙をセットします。**

4. **ラッチを押して上カバーをゆっくり開けて、閉じます。**

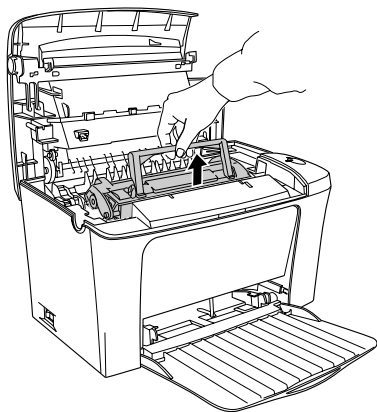
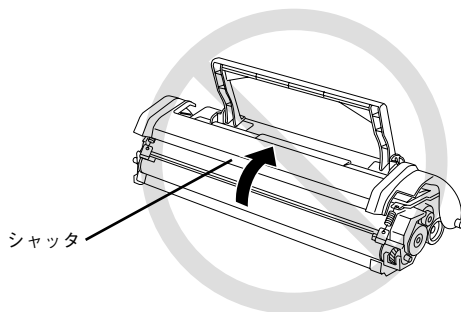
必ず上カバーを開閉してください。

プリンタ内部で用紙が詰まった場合は

プリンタの内部では、次の 2 箇所で紙詰まりが発生する可能性があります。詰まった用紙の取り出しは、次ページ以降の説明に必ず従って上カバーをゆっくり開け、ET カートリッジと感光体ユニットを取り外してから引き抜いてください。

感光体ユニットでの紙詰まり

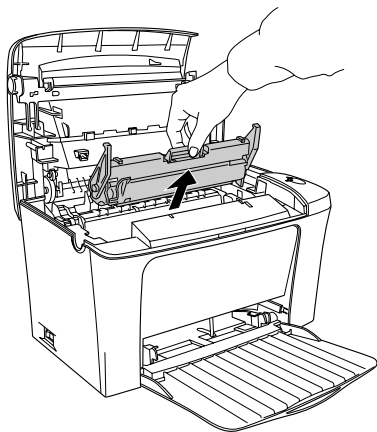
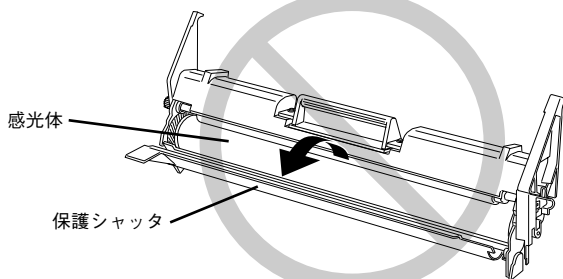
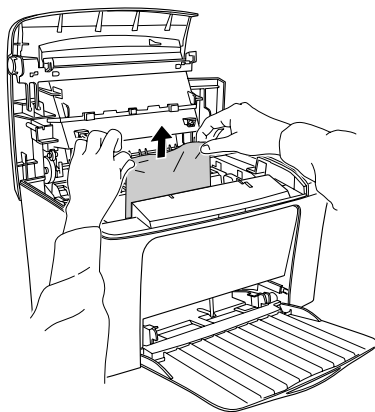
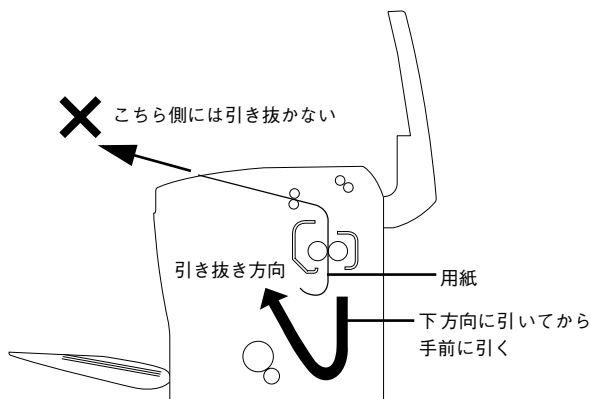
下図の箇所で発生します。

定着器部分での紙詰まり

下図の箇所で発生します。

1 ラッチを押して上カバーをゆっくり開けます。

⚠注意 カバーを開けたとき、次の部分に手を触れないようご注意ください。

- 定着器部分（内部は約 200 度と高温のため火傷の原因になります）

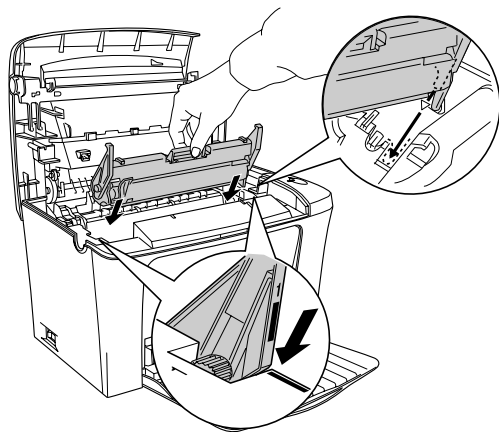
2 取っ手を持ち、ET カートリッジを引き上げます。

- ET カートリッジのシャッタは開けないでください。印刷品質が低下します。

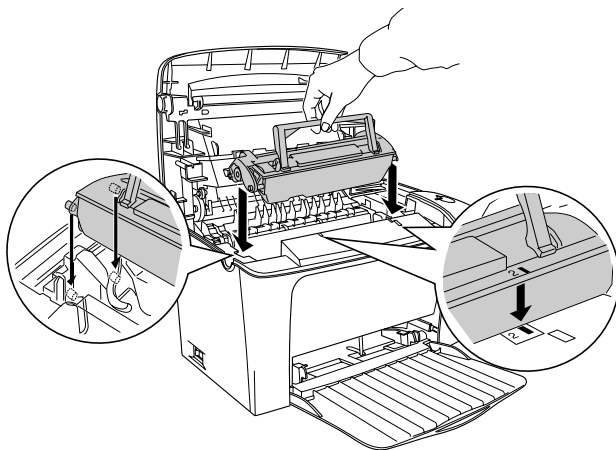
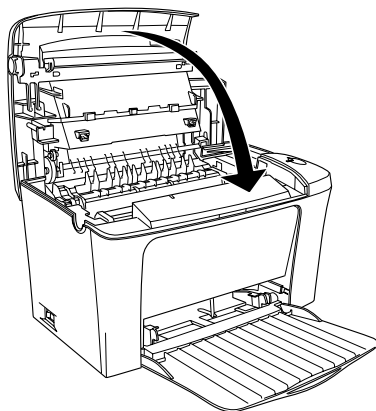
- 取り出した ET カートリッジは、トナーがこぼれないよう、水平な場所へ置いてください。トナーは人体に無害ですが、こぼれたトナーが体や衣服に付着したときはすぐに水で洗い流してください。プリンタ内部にトナーがこぼれた場合は、きれいに拭き取ってください。

3 取っ手を持ち、感光体ユニットを引き上げます。

注意

感光体保護シャッタを絶対に開けないでください。また、内部の感光体（緑色の部分）には絶対に手を触れないでください。印刷品質が低下します。

4 用紙をゆっくりと引き抜きます。

- 定着器部分で紙が詰まった場合は、下図のように下からゆっくり引き抜いてください。上から引き抜くと印刷品質が劣化します。

- 用紙はゆっくりと引き抜いてください。破れた紙片がプリンタ内に残ると故障の原因となります。
- 用紙の定着器部分に触れていた箇所は、熱くなっているため手を触れないようご注意ください。
- 詰まった紙を取り除く際に、用紙の一部がちぎれて手の届かないところに残ってしまった場合などは、無理に取り除こうとせずに、エプソンの修理窓口、または保守契約をされている場合は契約店にご連絡ください。エプソンの修理窓口の連絡先はスタートアップガイドの巻末に記載されています。

5 **感光体ユニットをプリンタに取り付けます。**

①感光体ユニットとプリンタ内部に表示している番号（1）を合わせます。
②両側のガイドを合わせながら底に突き当たるまで確実に差し込みます。

6 **ET カートリッジをプリンタに取り付けます。**

①ET カートリッジとプリンタ内部に表示している番号（2）を合わせます。
②両側のガイドを合わせながら奥に突き当たるまで確実に差し込みます。

7 上カバーを、カチッと音がするまでしっかり閉じます。

印刷品質に関するトラブル

ETカートリッジは推奨品（当社純正品）をお使いですか？

本製品は純正ETカートリッジ使用時に最高の印刷品質が得られるように設計されております。純正品以外のものをご使用になると、プリンタ本体の故障の原因となったり、印刷品質が低下するなどプリンタ本体の性能が発揮できない場合があります。ETカートリッジは純正品のご使用をお勧めします。また、必ず本製品に合った型番のものをお使いください。本製品で使用できるETカートリッジの当社純正品については、以下のページを参照してください。

本書200ページ「ETカートリッジの交換」

きれいに印刷できない

トナーセーブ機能を使用していませんか？

トナーセーブ機能は、内容確認など印刷品質を問わない印刷時にご使用ください。

Windows：本書33ページ「［詳細設定］ダイアログ」
Macintosh：本書137ページ「［詳細設定］ダイアログ」

ETカートリッジ（または感光体ユニット）が劣化または損傷している可能性があります。

新しいETカートリッジ（または感光体ユニット）に交換してください。

本書200ページ「ETカートリッジの交換」
本書208ページ「感光体ユニットの交換」

印刷の濃淡が思うように印刷できない

トナーセーブ機能を使用していませんか？

トナーセーブ機能は、内容確認など印刷品質を問わない印刷時にご使用ください。

Windows：本書33ページ「［詳細設定］ダイアログ」
Macintosh：本書137ページ「［詳細設定］ダイアログ」

プリンタドライバの［明暗］の設定を確認してください。

［グラフィック］の明暗設定を調整してください。

Windows：本書33ページ「［詳細設定］ダイアログ」
Macintosh：本書137ページ「［詳細設定］ダイアログ」

印刷濃度の設定は適切ですか？

印刷濃度を調整してみてください。

☞ Windows：本書 54 ページ「[拡張設定] ダイアログ」
☞ Macintosh：本書 139 ページ「[拡張設定] ダイアログ」

印刷が薄いまたはかすれる

用紙が湿気を含んでいる可能性があります。

新しい用紙と交換してください。

印刷濃度の設定は適切ですか？

印刷濃度を調整してください。

☞ Windows：本書 54 ページ「[拡張設定] ダイアログ」
☞ Macintosh：本書 139 ページ「[拡張設定] ダイアログ」

ET カートリッジ（または感光体ユニット）が劣化または損傷している可能性があります。

新しい ET カートリッジ（または感光体ユニット）に交換してください。

☞ 本書 200 ページ「ET カートリッジの交換」
☞ 本書 208 ページ「感光体ユニットの交換」

ET カートリッジにトナーが残っていますか？

トナー残量を確認して、新しい ET カートリッジに交換してください。

☞ Windows：本書 63 ページ「プリンタの状態を確かめるには」
☞ Macintosh：本書 166 ページ「プリンタの状態を確かめるには」
☞ 本書 200 ページ「ET カートリッジの交換」

トナーセーブ機能を使用していませんか？

トナーセーブ機能を解除してください。

☞ Windows：本書 33 ページ「[詳細設定] ダイアログ」
☞ Macintosh：本書 137 ページ「[詳細設定] ダイアログ」

プリンタドライバの［用紙種類］が正しく設定されていますか？

セットした用紙とプリンタドライバの［用紙種類］の設定が合っていないと（[普通紙］の設定で厚紙に印刷する場合など）、最適な印刷結果が得られません。使用する用紙の種類に合わせて、[用紙種類］を設定してください。

☞ Windows：本書 30 ページ「[基本設定] ダイアログ」
☞ Macintosh：本書 133 ページ「[プリント] ダイアログ」

黒点が印刷される

使用中の用紙は適切ですか？

以下のページを参照して、印刷できる用紙を使用してください。

☞ 本書 10 ページ「印刷できる用紙の種類」

ET カートリッジ（または感光体ユニット）が劣化または損傷している可能性があります。

何回か用紙を排紙しても改善されない場合は、新しい ET カートリッジ（または感光体ユニット）に交換してください。

☞ 本書 200 ページ「ET カートリッジの交換」
☞ 本書 208 ページ「感光体ユニットの交換」

周期的に汚れがある

プリンタ内の用紙経路が汚れていませんか？

用紙を数枚印刷してください。

ET カートリッジ（または感光体ユニット）が劣化または損傷している可能性があります。

何回か用紙を排紙しても改善されない場合は新しい ET カートリッジ（または感光体ユニット）に交換してください。

☞ 本書 200 ページ「ET カートリッジの交換」
☞ 本書 208 ページ「感光体ユニットの交換」

指でこするとにじむ

用紙が湿気を含んでいる可能性があります。

新しい用紙と交換してください。

使用中の用紙は適切ですか？

以下のページを参照して、印刷できる用紙を使用してください。

☞ 本書 10 ページ「印刷できる用紙の種類」

プリンタドライバの［用紙種類］が正しく設定されていますか？

セットした用紙とプリンタドライバ［用紙種類］の設定が合っていないと（[普通紙]の設定で厚紙に印刷する場合など）、最適な印刷結果が得られません。使用する用紙の種類に合わせて、[用紙種類］を設定してください。

Windows：本書 30 ページ「[基本設定］ダイアログ」
Macintosh：本書 133 ページ「[プリント］ダイアログ」

黒い部分に白点がある

使用中の用紙は適切ですか？

以下のページを参照して、印刷できる用紙を使用してください。

本書 10 ページ「印刷できる用紙の種類」

用紙の表裏が逆にセットされている場合があります。

表（印刷）面を上に向けてセットしてください。

用紙全体が黒く印刷されてしまう

ET カートリッジ（または感光体ユニット）は正しくセットされていますか？

ET カートリッジ（または感光体ユニット）を正しくセットし直してください。

本書 200 ページ「ET カートリッジの交換」
本書 208 ページ「感光体ユニットの交換」

ET カートリッジ（または感光体ユニット）が劣化または損傷している可能性があります。

新しい ET カートリッジ（または感光体ユニット）に交換してください。

本書 200 ページ「ET カートリッジの交換」
本書 208 ページ「感光体ユニットの交換」

黒線が印刷される

ET カートリッジ（または感光体ユニット）が損傷または劣化している可能性があります。

新しい ET カートリッジ（または感光体ユニット）に交換してください。

本書 200 ページ「ET カートリッジの交換」
本書 208 ページ「感光体ユニットの交換」

何も印刷されない

ETカートリッジ（または感光体ユニット）は正しくセットされていますか？
ET カートリッジ（または感光体ユニット）を正しくセットしてください。
☞ 本書 200 ページ「ET カートリッジの交換」
☞ 本書 208 ページ「感光体ユニットの交換」

一度に複数枚の用紙が搬送されている可能性があります。
用紙をよくさばいて、セットし直してください。

ETカートリッジにトナーが残っていますか？
トナー残量を確認して、新しいET カートリッジに交換してください。
☞ Windows：本書 63 ページ「プリンタの状態を確かめるには」
☞ Macintosh：本書 166 ページ「プリンタの状態を確かめるには」
☞ 本書 200 ページ「ET カートリッジの交換」

ETカートリッジ（または感光体ユニット）が劣化または損傷している可能性があります。
新しいET カートリッジ（または感光体ユニット）に交換してください。
☞ 本書 200 ページ「ET カートリッジの交換」
☞ 本書 208 ページ「感光体ユニットの交換」

白抜けがおこる

用紙が湿気を含んでいる可能性があります。
新しい用紙と交換してください。

使用中の用紙は適切ですか？
適切な用紙を使用してください。
☞ 本書 10 ページ「印刷できる用紙の種類」

印刷濃度の設定は適切ですか？
印刷濃度調整を調整してください。
☞ Windows：本書 54 ページ「[拡張設定] ダイアログ」
☞ Macintosh：本書 139 ページ「[拡張設定] ダイアログ」

プリンタドライバの［用紙種類］が正しく設定されていますか？

セットした用紙とプリンタドライバの［用紙種類］の設定が合っていないと（［普通紙］の設定で厚紙に印刷する場合など）、最適な印刷結果が得られません。使用する用紙の種類に合わせて、［用紙種類］を設定してください。

Windows：本書 30 ページ「［基本設定］ダイアログ」
Macintosh：本書 133 ページ「［プリント］ダイアログ」

裏面が汚れる

用紙経路が汚れていませんか？

用紙を数枚印刷してください。

画面表示と印刷結果が異なる

画面と異なるフォント / 文字 / グラフィックスで印刷される

プリンタの使用環境に問題はありませんか？

画面と異なるフォントや文字、グラフィックスで印刷される場合は、まず印刷を中止してください。

☞ Windows：本書 115 ページ「印刷の中止方法」
☞ Macintosh：本書 171 ページ「印刷の中止方法」

再度印刷を実行してみてください。再度同様の現象が発生する場合は、次の点を確認してください。

- 使用環境の仕様に合った推奨ケーブルが正しく接続されていますか。
- お使いのコンピュータは本機の仕様に適合していますか。
- プリンタドライバのテスト印刷やステータス印刷が正常にできますか。

ページの左右で切れて印刷される

印刷データの横幅サイズは、プリンタドライバで設定した用紙サイズに収まりますか？

WEB ブラウザでインターネットの WEB サイトを印刷すると、ページの左右で印刷が切れてしまうことがあります。原因は、プリンタドライバの［用紙サイズ］設定が WEB サイトの横幅サイズと合っていないからです。この場合は、より大きなサイズの用紙をプリンタにセットして、それに合った［用紙サイズ］を選択して印刷してください。

☞ Windows：本書 30 ページ「［基本設定］ダイアログ」
☞ Macintosh：本書 130 ページ「［用紙設定］ダイアログ」

アプリケーションソフトによっては、用紙の余白を設定できる場合があります。余白が広く設定されていることが原因で、ページの左右で印刷が切れることが考えられます。たとえば、Microsoft Internet Explorer（WEB ブラウザ）の場合は、［ファイル］メニューから［ページ設定］を選択して、［余白］の値を小さく設定して印刷してみてください。なお、本機では用紙の左右上下とも最低 5mm の余白が必要です。

より大きなサイズの用紙が利用できない場合は、プリンタドライバの［フィットページ］印刷機能を使用すると、使用する用紙サイズに合わせて自動的に拡大 / 縮小して印刷できます。

☞ Windows：本書 37 ページ「拡大 / 縮小して印刷するには」
☞ Macintosh：本書 143 ページ「拡大 / 縮小して印刷するには」

画面と異なる位置に印刷される

アプリケーションソフトで設定した用紙サイズとプリンタドライバで設定した用紙サイズが異なっていませんか？

アプリケーションとプリンタドライバの設定を合わせてください。

☞ Windows：本書 30 ページ「［基本設定］ダイアログ」
☞ Macintosh：本書 130 ページ「［用紙設定］ダイアログ」

アプリケーションソフトによっては、印刷開始位置の設定が必要になる場合があります。

プリンタドライバで［オフセット］の調整をしてください。

☞ Windows：本書 54 ページ「［拡張設定］ダイアログ」
☞ Macintosh：本書 139 ページ「［拡張設定］ダイアログ」

罫線が切れたり文字の位置がずれる

アプリケーションソフトで、お使いのプリンタの機種名を使用するプリンタに設定していますか？

各アプリケーションソフトの取扱説明書を参照して、お使いのプリンタの機種名を使用するプリンタに設定してください。

設定と異なる印刷をする

アプリケーションソフトとプリンタドライバの設定が一致していますか？

印刷条件の設定は、アプリケーションソフトとプリンタドライバそれぞれで設定できます。各設定の優先順位は、ご利用の状況により異なりますので、設定と違う印刷をプリンタが行う場合は、各設定を確認してください。

楕円のような模様が印刷される

トナー残量が残り少ない可能性があります。

トナー残量が少ないと楕円のような模様が印刷されることがあります。トナー残量を確認してトナーを交換してください。

☞ Windows：本書 63 ページ「プリンタの状態を確かめるには」
☞ Macintosh：本書 166 ページ「プリンタの状態を確かめるには」
☞ 本書 200 ページ「ET カートリッジの交換」

USB 接続時のトラブル

インストールできない（Windows）

お使いのコンピュータはWindows 98/Me/2000/XPプレインストールマシンまたはWindows 98 がプレインストールされていて Windows Me/2000/XP にアップグレードしたマシンですか？

Windows 95 からWindows 98/Me/2000へアップグレードしたコンピュータやUSBポートの動作が保証されていないコンピュータは正常に印刷できません。お使いのコンピュータについてはコンピュータメーカーへご確認ください。

☞ スタートアップガイド 14 ページ「OS およびコンピュータの条件」

印刷できない（Windows）

プリンタドライバの接続先は正しいですか？

新たにUSB 対応プリンタを接続し、ドライバをインストールすると、印刷先のポートの設定が変わることがあります。印刷先のポートの設定を確認してください。

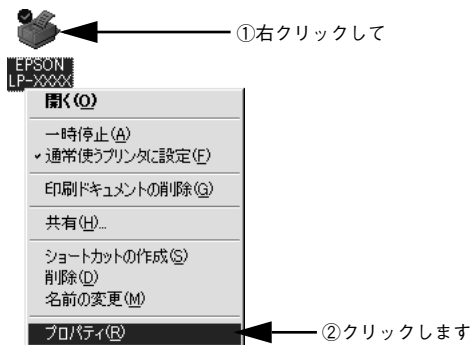
1. **Windowsの［スタート］メニューから［プリンタ］/［プリンタと FAX］を開きます。**
   - **Windows 98/Me/2000 の場合**

     ［スタート］ボタンをクリックして［設定］にカーソルを合わせ、［プリンタ］をクリックします。
   - **Windows XP の場合**

   ① ［スタート］ボタンをクリックして［コントロールパネル］をクリックします。
   ［スタート］メニューに［プリンタと FAX］が表示されている場合は、［プリンタと FAX］をクリックして、❷ へ進みます。

   ② ［プリンタとその他のハードウェア］をクリックします。

   ③ ［プリンタと FAX］をクリックします。

2 LP-1300 のアイコンを右クリックして、[プロパティ] をクリックします。

3 [詳細] / [ポート] タブをクリックして [印刷先のポート] / [印刷するポート] を確認します。

- **Windows 98/Me の場合**

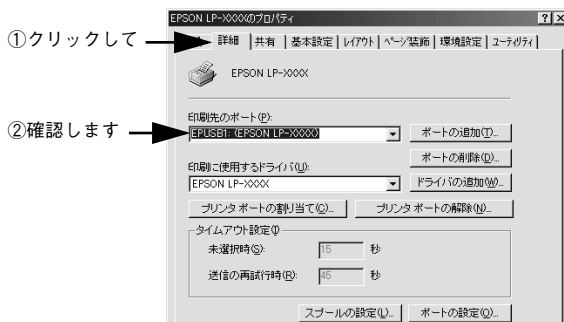
① [詳細] タブをクリックします。

② [印刷先のポート] で [EPUSBx: (EPSON LP-1300)] が選択されていることを確認します（x はポート番号を表す数字です）。

- **Windows 2000/XP の場合**

① [ポート] タブをクリックします。

② [印刷するポート] で [USBx] が選択されていることを確認します（x はポート番号を表す数字です）。

<例> Windows 98 の場合

ポイント

- パラレルケーブルでご利用の場合は、リストボックスから LPT1 を選択します。
- Windows 98/Me をお使いの場合で上記の表示がないときは、USB デバイスドライバがインストールされていないか、正常にインストールされていない可能性があります。プリンタソフトウェアを一旦削除してから再インストールしてください。
本書 117 ページ「プリンタソフトウェアの削除方法」

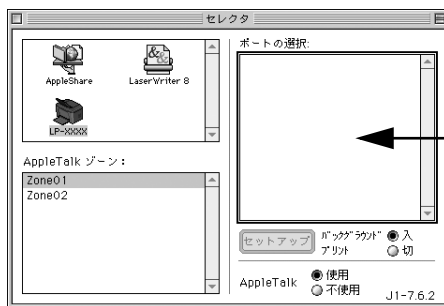
使用するプリンタ名が印刷先のポートに表示されない

プリンタの電源がオンになっていますか？

プリンタの電源がオフの状態では、コンピュータがプリンタを認識できないため、ポートが正しく表示されません。プリンタの電源をオンにして、USB ケーブルを一度抜き差ししてください。

Windows の場合

正しく表示されていない

Macintosh の場合

ポート名が表示されていない

USB ハブに接続すると正常に動作しない

本機を USB ハブの 1 段目以外に接続していますか？

USB は仕様上、USB ハブを 5 段まで縦列接続できますが、1 段目の接続を推奨します。コンピュータに直接接続された 1 段目以外の USB ハブに本機を接続していて正常に動作しない場合は、USB ハブの 1 段目に接続してお使いください。また、別のハブをお持ちの場合は、ハブを替えて接続してみてください。

Windows が USB ハブを正しく認識していますか？

Windows の [デバイスマネージャ] の＜ユニバーサルシリアルバス＞の下に、USB ハブが正しく認識されているか確認してください。

- 正しく認識されている場合は、コンピュータの USB ポートから、USB ハブをすべて外してから、本機の USB コネクタをコンピュータの USB ポートに直接接続してみてください。
- USB ハブの動作に関しては、ハブのメーカーにお問い合せください。

その他のトラブル

漏洩電流について

多数の周辺機器を接続している環境下では、本機に触れた際に電気を感じることがあります。このようなときには、本機または本機を接続しているコンピュータなどからアース（接地）を取ることをお勧めいたします。本機からアースを取る場合には、エプソンの修理窓口までお問い合わせください。

印刷に時間がかかる

Macintoshをお使いの場合、アプリケーションソフトへのメモリの割り当ては十分ですか？

アプリケーションソフトへのメモリの割り当て量を増やしてください。

Macintoshをお使いの場合、[バックグラウンドプリント]を[入]にしていませんか？

ご利用のMacintoshによっては、[バックグラウンドプリント]を[入]にしておくと印刷に時間がかかることがあります。[バックグラウンドプリント]を[切]に設定して印刷してください。

☞ 本書169ページ「バックグラウンドプリントを行う」

割り付け / 部単位印刷を同時に行うと、部単位で用紙を分けられない

アプリケーションソフトの部単位印刷を指定していませんか？

アプリケーションソフトで部単位印刷の指定を行わないで、プリンタドライバで部単位印刷を指定してください。

☞ Windows：本書30ページ「[基本設定]ダイアログ」
☞ Windows：本書36ページ「[レイアウト]ダイアログ」
☞ Macintosh：本書133ページ「[プリント]ダイアログ」
☞ Macintosh：本書141ページ「[レイアウト]ダイアログ」

どうしても解決しないときは

症状が改善されない場合は、まずプリンタ本体の故障か、ソフトウェアのトラブルかを判断します。

プリンタのステータス（状態）が取得されているかを画面に表示させて確認します。ステータス情報を画面表示できますか？

Windows：本書63 ページ「プリンタの状態を確かめるには」
Macintosh：本書 166 ページ「プリンタの状態を確かめるには」

画面表示できる　　　画面表示できない

プリンタドライバ上からステータスシートが印刷できますか？

プリンタ本体に問題はありません。

Windows：本書 49 ページ「［環境設定］ダイアログ」
Macintosh：本書 152 ページ「［プリンタセットアップ］ダイアログ」

印刷できる　　　印刷できない

以下の項目を確認してください。

- コンピュータ：双方向通信に対応していますか？
- 接続ケーブル：仕様に合ったケーブルですか？
  スタートアップガイド 13 ページ「コンピュータと接続する」
- システム条件：条件を満たしていますか？
  Windows：スタートアップガイド 16 ページ「システム条件の確認」
  Macintosh：スタートアップガイド 26 ページ「システム条件の確認」
- プリンタドライバの設定（Windows）：プリンタドライバのプロパティで双方向通信が可能な状態に設定されていますか？
  Windows 95/98/Me：プロパティの［詳細］ダイアログを開いて、［スプールの設定］ボタンをクリックします。［このプリンタで双方向通信機能をサポートする］がチェックされていることを確認します。
  Windows NT4.0/2000/XP：プロパティの［ポート］ダイアログの［双方向サポートを有効にする］がチェックされていることを確認します。

問題なし　　　問題あり

お使いのソフトウェアのトラブルが考えられます。エプソンインフォメーションセンターにご相談ください。ご相談先はスタートアップガイドの巻末に記載されています。

ドライバの設定、接続ケーブルの仕様や状態を再確認してください。

以下のページを参照してステータス情報が取得できるか確認してください。

本書 230 ページ「ステータス（状態）が画面表示できない」

仕様に適合した環境に設定してください。

次ページへ

前ページより

取得できる	取得できない
プリンタドライバ上からステータスシートが印刷できますか？ プリンタ本体に問題はありません。 ☞ Windows：本書 49 ページ「[環境設定] ダイアログ」 ☞ Macintosh：本書 152 ページ「[プリンタセットアップ] ダイアログ」 印刷できる　　印刷できない	ステータスが取得できない場合は、プリンタ本体のトラブルです。以下のページをご覧ください。 ☞ 本書 271 ページ「保守サービス」 ご相談先はスタートアップガイドの巻末に記載されています。

印刷できる	印刷できない
お使いのソフトウェアのトラブルが考えられます。エプソンインフォメーションセンターにご相談ください。ご相談先はスタートアップガイドの巻末に記載されています。	ドライバの設定、接続ケーブルの仕様や状態を再確認してください。

お問い合わせの際は、ご使用の環境（コンピュータの型番、使用アプリケーションとそのバージョン、その他の周辺機器の型番など）と、本機の名称をご確認のうえ、ご連絡ください。

付録

サービス・サポートのご案内

弊社が行っている各種サービス・サポートは次の通りです。

インターネットサービス

EPSON 製品に関する最新情報などをできるだけ早くお知らせするために、インターネットによる情報の提供を行っています。

アドレス	http://www.i-love-epson.co.jp

「MyEPSON」

「MyEPSON」とは、EPSON の会員制情報提供サービスです。「MyEPSON」にご登録いただくと、お客様の登録内容に合わせた専用ホームページを開設 *1 してお役に立つ情報をどこよりも早く、また、さまざまなサービスを提供いたします。

*1 「MyEPSON」へのユーザー登録には、インターネット接続環境（プロバイダ契約が済んでおり、かつメールアドレスを保有）が必要となります。

例えば、ご登録いただいたお客様にはこのようなサービスを提供しています。

- お客様にピッタリのおすすめ最新情報のお届け
- ご愛用の製品をもっと活用していただくためのお手伝い
- お客様の「困った！」に安心＆充実のサポートでお応え
- 会員限定のお得なキャンペーンが盛りだくさん
- 他にもいろいろ便利な情報が満載

すでに「MyEPSON」に登録されているお客様へ

「MyEPSON」登録がお済みで、「MyEPSON」ID とパスワードをお持ちのお客様は、本製品の「MyEPSON」への機種追加登録をお願いいたします。追加登録していただくことで、よりお客様の環境に合ったホームページとサービスの提供が可能となります。

「MyEPSON」への新規登録、「MyEPSON」への機種追加登録は、どちらも同梱の『プリンタソフトウェア CD-ROM』から簡単にご登録いただけます。*2

*2 インターネット接続環境をお持ちでない場合には、同梱のお客様情報カード（ハガキ）にてユーザー登録をお願いいたします。ハガキでの登録情報は弊社および関連会社からお客様へのご連絡、ご案内を差し上げる際の資料とさせていただきます。（上記「専用ホームページ」の特典は反映されません。）今回ハガキにてご登録いただき、将来インターネット接続環境を備えられた場合には、インターネット上から再登録していただくことで上記「専用ホームページ」の特典が提供可能となります。

エプソンインフォメーションセンター

EPSON プリンタに関するご質問やご相談に電話でお答えします。

受付時間	スタートアップガイド巻末の一覧表をご覧ください。
電話番号	スタートアップガイド巻末の一覧表をご覧ください。

ショールーム

EPSON 製品を見て、触れて、操作できるショールームです。（東京・大阪）

受付時間	スタートアップガイド巻末の一覧表をご覧ください。
所在地	スタートアップガイド巻末の一覧表をご覧ください。

パソコンスクール

エプソン製品の使い方、活用の仕方を講習会形式で説明する初心者向けのスクールです。カラリオユーザーには“より楽しく”、ビジネスユーザーには“経費削減”を目的に趣味にも仕事にもエプソン製品を活かしていただけるようにお手伝いします。お問い合わせはスタートアップガイド巻末の一覧をご覧ください。

最新プリンタドライバの入手方法とインストール方法

弊社プリンタドライバは、アプリケーションソフトのバージョンアップなどに伴い、バージョンアップを行うことがあります。必要に応じて新しいプリンタドライバをご使用ください。プリンタドライバのバージョンは数字が大きいものほど新しいバージョンとなります。

最新のプリンタドライバ入手方法

最新のプリンタドライバは、下記の方法で入手してください。

- インターネットの場合は、次のホームページの［ダウンロード］から入手できます。

アドレス	http://www.i-love-epson.co.jp
サービス名	ダウンロードサービス

- CD-ROM での郵送をご希望の場合は、「エプソンディスクサービス」で実費にて承っております。

各種ドライバの最新バージョンについては、エプソン販売（株）のホームページにてご確認ください。ホームページの詳細については、スタートアップガイドの巻末にてご案内しております。

ダウンロード・インストール手順

ホームページに掲載されているプリンタドライバは圧縮[*1] ファイルとなっていますので､次の手順でファイルをダウンロードし､解凍[*2]してからインストールしてください。

*1 圧縮：1つ、または複数のデータをまとめて、データ容量を小さくすること。

*2 解凍：圧縮されたデータを展開して、元のファイルに復元すること。

ポイント

インストールを実行する前に、旧バージョンのプリンタドライバを削除（アンインストール）する必要があります。

Windows：本書 117 ページ「プリンタソフトウェアの削除方法」

Macintosh：本書 172 ページ「プリンタソフトウェアの削除方法」

1. **ホームページ上のダウンロードサービスから対象の機種を選択します。**

2. **プリンタドライバをハードディスク内の任意のディレクトリへダウンロードし、解凍してからインストールを実行します。**

   手順については、ホームページ上の［ダウンロード方法・インストール方法はこちら］をクリックしてください。

画面はインターネットエクスプローラを使用してエプソン販売のホームページへ接続した場合です。

保守サービス

「故障かな？」と思ったときは、あわてずに、まず本書「困ったときは」をお読みください。そして、接続や設定に間違いがないことを必ず確認してください。

保証書について

保証期間中に、万一故障した場合には、保証書の記載内容に基づき保守サービスを行います。ご購入後は、保証書の記載事項をよくお読みください。保証書は、製品の「保証期間」を証明するものです。「お買い上げ年月日」「販売店名」に記入もれがないかご確認ください。これらの記載がない場合は、保証期間内であっても、保証期間内と認められないことがございます。記載もれがあった場合は、お買い求めいただいた販売店までお申し出ください。保証書は大切に保管してください。保証期間、保証事項については、保証書をご覧ください。

保守サービスの受け付け窓口

保守サービスに関してのご相談、お申し込みは、次のいずれかで承ります。

- お買い求めいただいた販売店
- エプソンサービスコールセンターまたはエプソン修理センター
  （スタートアップガイド巻末の一覧表をご覧ください）
  受付日時：月曜日～金曜日（土日祝祭日・弊社指定の休日を除く）
  受付時間：9:00 ～ 17:30

保守サービスの種類

エプソン製品を万全の状態でお使いいただくために、以下の保守サービスを用意しております。使用頻度や使用目的に合せてお選びください。詳細については、お買い求めの販売店、最寄りのエプソンサービスコールセンターまたはエプソン修理センターまでお問い合わせください。

<table>
<tr><th colspan="2" rowspan="2">種類</th><th rowspan="2">概要</th><th colspan="2">修理代金と支払方法</th></tr>
<tr><th>保証期間内</th><th>保証期間外</th></tr>
<tr><td rowspan="2">年間保守契約</td><td>出張保守</td><td>• 製品が故障した場合､最優先で技術者が製品の設置場所に出向き､現地で修理を行います。
• 修理のつど発生する修理代･部品代* が無償になるため予算化ができて便利です。
• 定期点検（別途料金）で、故障を未然に防ぐことができます。
* 消耗品（トナー、用紙など）は保守対象外となります。</td><td colspan="2">年間一定の保守料金</td></tr>
<tr><td>持込保守</td><td>• 製品が故障した場合､お客様に修理品をお持ち込みまたは送付いただき､一旦お預りして修理をいたします。
• 修理のつど発生する修理代･部品代* が無償になるため予算化ができて便利です。
• 持込保守契約締結時に【保守契約登録票】を製品に貼付していただきます。
* 消耗品（トナー、用紙など）は保守対象外となります。</td><td colspan="2">年間一定の保守料金</td></tr>
<tr><td colspan="2">スポット出張修理</td><td>• お客様からご連絡いただいて数日以内に製品の設置場所に技術者が出向き､現地で修理を行います。
• 故障した製品をお持ち込みできない場合に、ご利用ください。</td><td>有償
（出張料のみ）</td><td>出張料+技術料+部品代
修理完了後そのつどお支払いください</td></tr>
<tr><td colspan="2">持込 / 送付修理</td><td>• 故障が発生した場合､お客様に修理品をお持ち込みまたは送付いただき､一旦お預りして修理いたします。</td><td>無償</td><td>基本料+技術料+部品代
修理完了品をお届けしたときにお支払いください</td></tr>
<tr><td colspan="2">ドア to ドアサービス</td><td>• 指定の運送会社がご指定の場所に修理品を引き取りにお伺いするサービスです。
• 保証期間外の場合は､ドアto ドアサービス料金とは別に修理代金が必要となります。</td><td>有償
（ドア toドアサービス料金のみ）</td><td>有償
（ドアto ドアサービス料金 + 修理代）</td></tr>
</table>

プリンタの仕様

基本仕様

プリント方式	半導体レーザービーム走査十乾式一成分電子写真方式
解像度	600dpi dpi：25.4mm（1インチ）あたりのドット数 （Dots Per Inch）
プリント速度	16.0PPM（A4） PPM ＝枚 / 分（Pages Per Minute）
ウォームアップ時間	21秒以下（室温23度、定格電圧にて）
ファーストプリント	12秒（A4）
稼働音	待機時 ： 約 30.0dB（A） 稼働時 ： 約 54.0dB（A）

用紙関係

用紙を大量に購入する場合、購入前に通紙印字品質チェックをしてください。

使用できる用紙	容量[*1]	用紙サイズ （ ）内は、プリンタドライバでの表記です。
普通紙	180枚[*2]	A4、A5、B5、Letter（LT）、Half-Letter（HLT）、Legal（LGL）、Executive（EXE）、Government Legal（GLG）、Government Letter（GLT）、F4、不定形紙
厚紙	10枚[*3]	
ラベル紙	10枚	
OHPシート	5枚	
封筒	10枚	洋形0号、洋形4号、洋形6号、長形3号、長形4号、角形3号
官製ハガキ	50枚[*4]	100mm × 148mm
官製往復ハガキ		148mm × 200mm

*1 用紙トレイにセットできる用紙の高さは用紙ガイドの最大枚数（三角マーク表示）までです。三角マークを超えてセットした場合は、給紙不良などの原因となります。

*2 64g/m² の場合です。

*3 90 ～ 163g/m² の場合です。

*4 190g/m² の場合です。四面連刷ハガキは使用できません。

排紙容量	フェイスダウントレイ（標準） ：最大100枚（普通紙64g/m²） フェイスアップトレイ（オプション） ：最大20枚（普通紙64g/m²）
用紙の種類	普通紙 • 60 ～ 90g/m² • 一般に適用しているコピー用紙、再生紙、色つき、レターヘッド 特殊紙 • ラベル紙、官製ハガキ（往復ハガキ）、封筒、OHPシート、厚紙（90 ～ 163g/m²）、不定形紙

用紙サイズと給紙 / 排紙方法

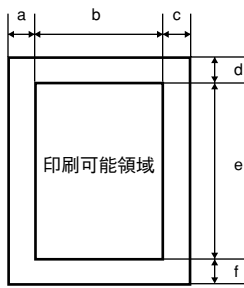
用紙サイズ			用紙トレイ	フェイス アップトレイ [*1]
A4		210 × 297mm	○	○
A5		148 × 210mm	○	○
B5		182 × 257mm	○	○
Letter（LT）		8.5 × 11 インチ（215.9 × 279.4mm）	○	○
Half-Letter（HLT）		5.5 × 8.5 インチ（139.7 × 215.9mm）	○	○
Legal（LGL）		8.5 × 14 インチ（215.9 × 355.6mm）	○	○
Executive（EXE）		7.25 × 10.5 インチ（184.15 × 266.7mm）	○	○
Government Legal（GLG）		8.5 × 13 インチ（215.9 × 330.2mm）	○	○
Government Letter（GLT）		8 × 10.5 インチ（203.2 × 266.7mm）	○	○
F4		210 × 330mm	○	○
不定形紙		用紙幅 90 ～ 216mm 用紙長 148 ～ 356mm	○ [*2]	○
官製ハガキ		100 × 148mm	○	○
官製往復ハガキ		148 × 200mm	○	○
封筒	洋形 0 号	120 × 235mm	○	○
	洋形 4 号	105 × 235mm	○	○
	洋形 6 号	98 × 190mm	○	○
	長形 3 号	120 × 235mm	○	○
	長形 4 号	90 × 205mm	○	○
	角形 3 号	216 × 277mm	○	○

○：使用可能

*1 オプションのフェイスアップトレイ（LPA4FUT3）に排紙できるかどうかを表します。

*2 アプリケーションソフトで任意の用紙サイズを指定できない場合は印刷できません。

印刷可能領域

用紙の各端面から 5mm を除く領域に印刷可能

定形紙 （単位：ドット、600dpi）

名　称		a	b	c	d	e	f
A4		120	4720	120	120	6776	120
A5		120	3256	120	120	4720	120
B5		120	4060	120	120	5832	120
Letter（LT）		120	4860	120	120	6360	120
Half Letter（HLT）		120	3060	120	120	4860	120
Legal（LGL）		120	4860	120	120	8160	120
Executive（EXE）		120	4110	120	120	6060	120
Government Legal（GLG）		120	4860	120	120	7560	120
Government Letter（GLT）		120	4560	120	120	6060	120
F4		120	4720	120	120	7556	120
官製ハガキ		120	2122	120	120	3256	120
官製往復ハガキ		120	3256	120	120	4484	120
封筒	洋形 0 号	120	2594	120	120	5310	120
	洋形 4 号	120	2240	120	120	5310	120
	洋形 6 号	120	2074	120	120	4248	120
	長形 3 号	120	2594	120	120	5310	120
	長形 4 号	120	1886	120	120	4602	120
	角形 3 号	120	4862	120	120	6304	120

不定形紙

名称	a	b	c	d	e	f
最小サイズ	120	1886	120	120	3256	120
最大サイズ	120	4852	120	120	8170	120

アプリケーションソフトで任意の用紙長を指定できない場合は、不定形紙への印刷はできません。

電気関係

定格電圧	AC100V ± 10%	
定格電流	8.6A	
周波数	50/60Hz ± 3Hz（国内向）	
消費電力	最大	：700W
	印刷時平均	：350Wh
	待機時平均	：45Wh（ヒータオン時）
	低電力モード時	：7Wh（ヒータオフ時）

環境使用条件

動作時	温度	：10 ～ 35 度
	湿度	：15 ～ 85%（ただし結露しないこと）
	気圧（高度）	：76.0 ～ 101.0kpa（2500m 以下）
	水平度	：傾き 1 度以下
	照度	：3000lx 以下（ただし直射日光を照射させないこと）
	周囲スペース	：上方 300mm、左側方 100mm、右側方 100mm、 前方 150mm、後方 150mm（表記寸法以上を保つこと）
保存・輸送時	温度	：0 ～ 35 度
	湿度	：30 ～ 85%（ただし結露しないこと）

コントローラ基本仕様

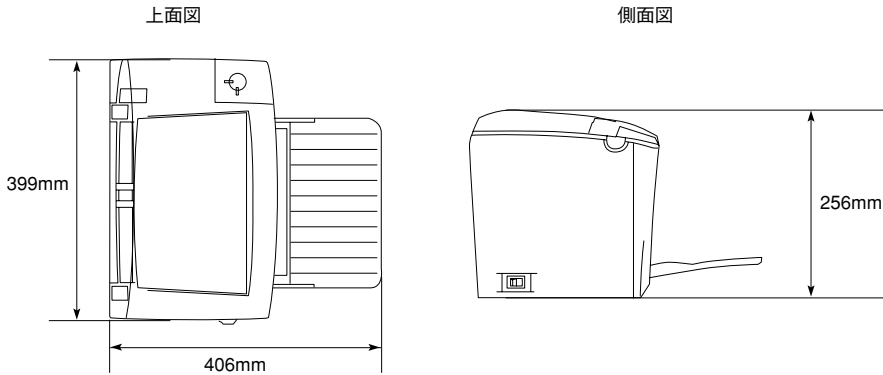
RAM	標準	：2MB
インターフェイス	標準	：パラレル IEEE1284 準拠双方向 （ECP モード、ニブルモード） USB（Rev. 1.1）

外観仕様

外形寸法	幅399mm ×奥行き 263mm ×高さ 256mm （用紙トレイを閉じた状態。小数点以下は四捨五入）
重量	約7.1kg （消耗品、オプション類は含まない）

寸法図（小数点以下四捨五入）

上面図

側面図

オプション装着時（小数点以下四捨五入）

フェイスアップトレイ（LPA4FUT3）使用時	幅 399mm ×奥行き 540mm ×高さ 418mm （用紙トレイを開いた状態）

索引

数字

C

D

E

I

J

N

O

T

U

あ

い

う

え

お

か

き

く

こ

さ

し

す

せ

そ

た

ち

つ

て

と

に

ね

は

ふ

へ

ほ

め

も

ゆ

よ

ら

れ

わ

版	改版月	改版ページ	改版内容
00	2002/08	－	新版